

管内概要

平成26年版

● 東京都三宅支庁

目 次

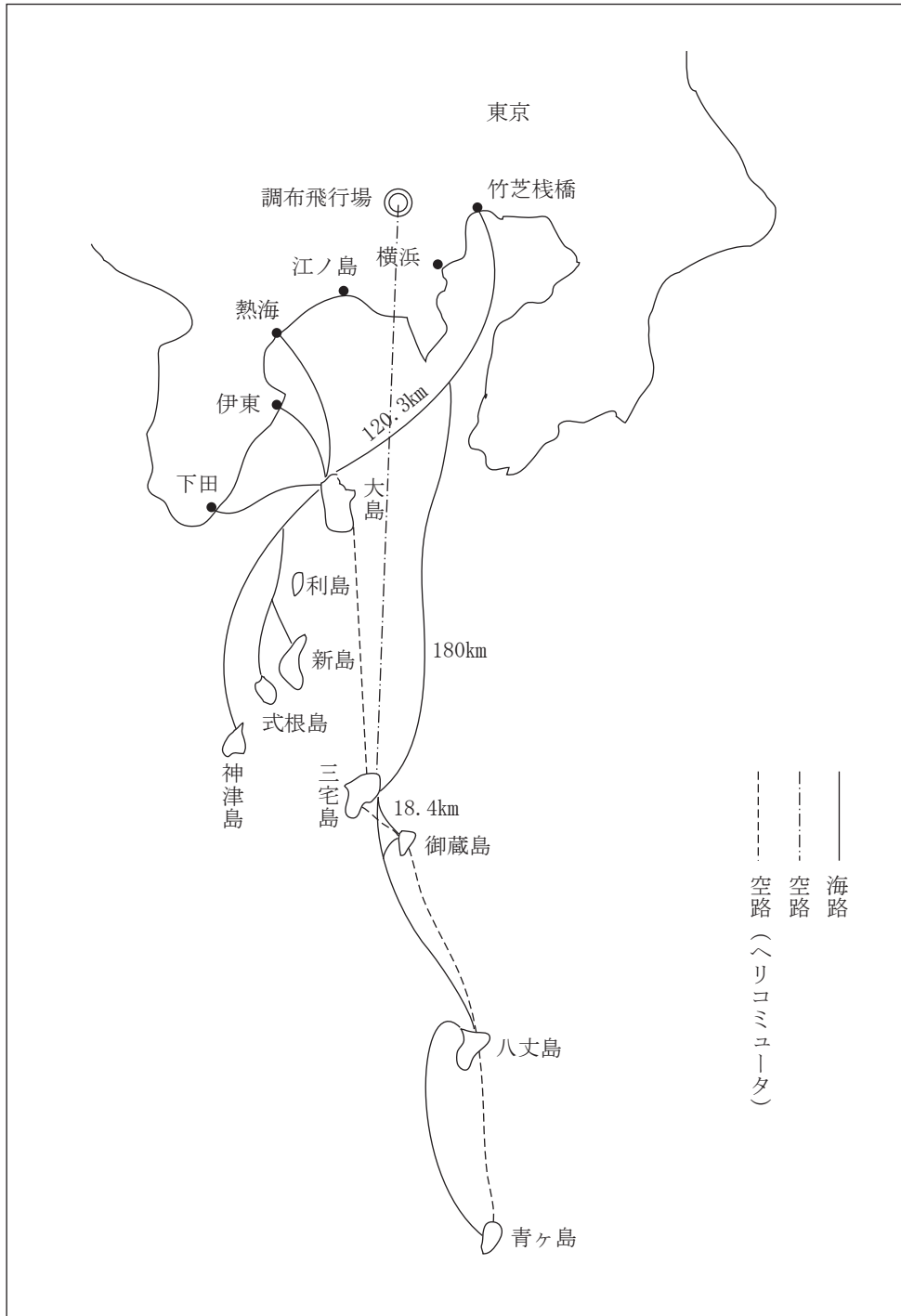
三宅島・御蔵島位置図	1
三宅島・御蔵島要図	2
第1 概 要	3
1. 位置・地勢	5
2. 生 物	6
3. 気象と火山	8
4. 三宅島災害対策	14
5. 人 口	19
6. 沿 革	24
7. 交 通 機 関	24
第2 支 庁	27
1. 沿 革	29
2. 庁舎の経緯	29
3. 組織の経緯	29
4. 機 構	32
5. 職員配置状況	32
6. 都有財産	33
7. 支庁関係予算	34
8. 都 税	35
9. 防 災 対 策	36
10. 救急への運航	37
11. 平成25年度 支庁管内主要行事等	38
第3 村 行 財 政	39
1. 行 政	41
2. 財 政	44
3. 選 挙 関 係	48
4. 消防の現況	49
5. 外国人住民数	49

第4 離島振興事業	51
離島振興事業計画	54
第5 社会福祉	59
1. 組織及び特殊性	61
2. 生活保護	61
3. 東京都三宅島災害被災者帰島生活再建支援金	65
4. 児童福祉	66
5. ひとり親家庭福祉	66
6. 女性福祉	67
7. 心身障害者福祉	67
8. 高齢者福祉	69
9. 民生委員（児童委員）数	71
10. 三宅児童厚生施設（仮称）	71
11. 社会福祉協議会	72
第6 産業経済	75
1. 農業	77
2. 林業	82
3. 水産業	93
4. 商工業	100
5. 観光	103
第7 土木・港湾・空港	107
1. 概況	109
2. 平成24年度主要事業一覧	111
3. 道路	114
4. 砂防及び海岸	116
5. 自然公園	119
6. 用地取得補償関係	121
7. 港湾空港関係	121
第8 教育	127
1. 教育庁三宅出張所の概要	129

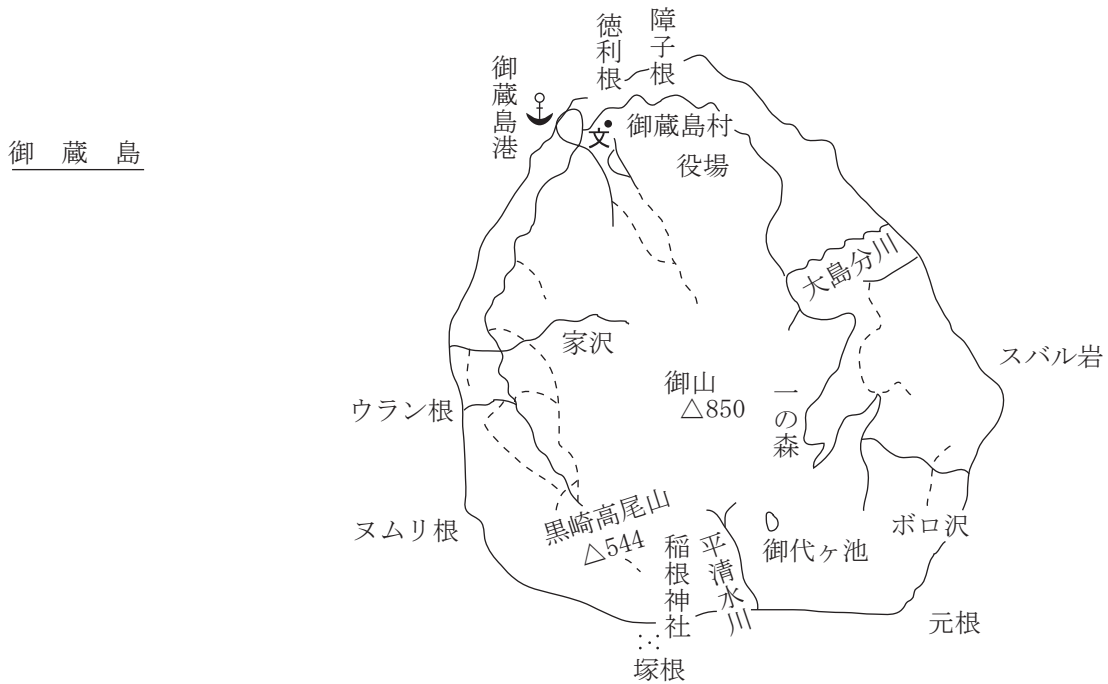
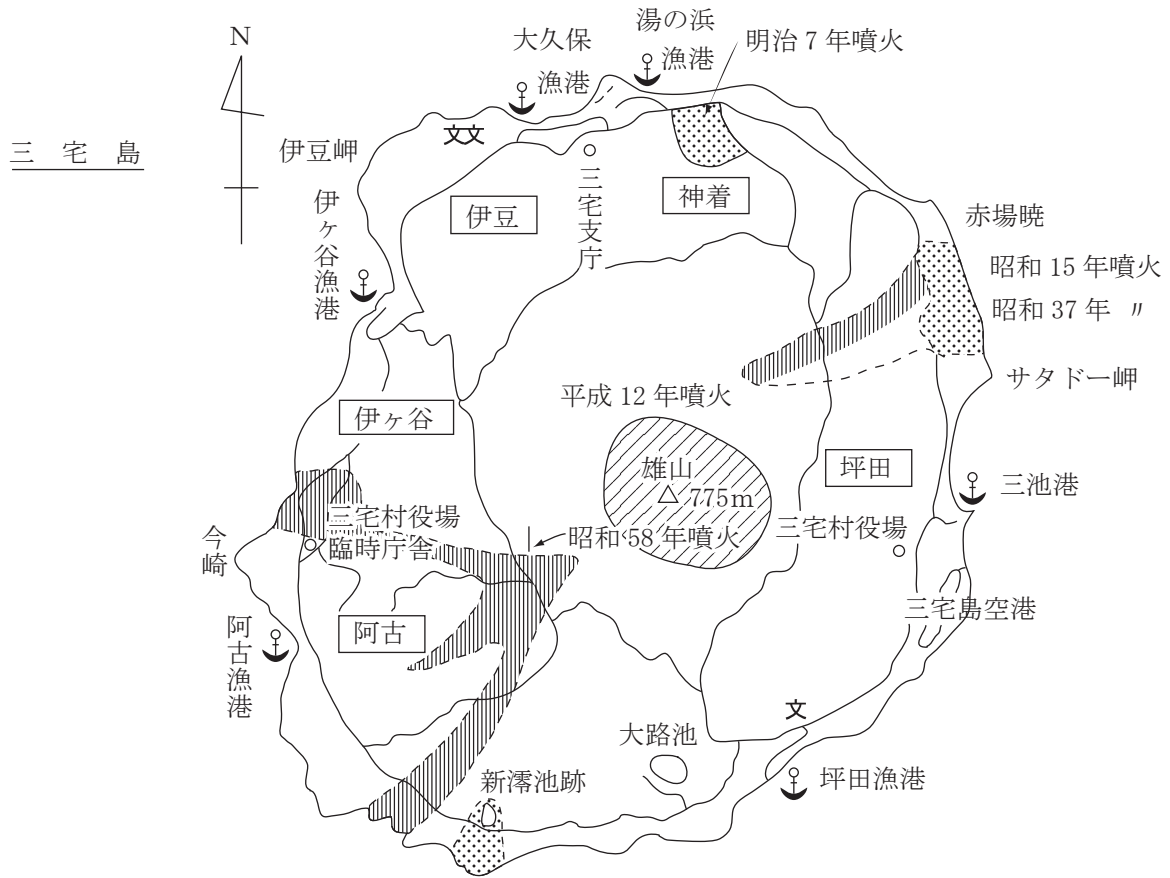
2. 村教育委員会	130
3. 学校教育	132
4. 中学卒業者の動向	136
5. 都立三宅高等学校	136
6. 社会教育	137
7. 文化財	138
第9 保健衛生	141
1. 島しょ保健所三宅出張所の概要	143
2. 医療	146
3. 環境衛生	146
4. 予防関係	148
5. 保健師業務	150
第10 東京都三宅農林合同庁舎	151
1. 東京都三宅農林合同庁舎の機構	153
2. 東京都島しょ農林水産総合センター三宅事業所	154
3. 東京都家畜保健衛生所三宅支所	155
第11 警察関係	157
1. 管轄区域	159
2. 拾得物の取扱件数	159
3. 交通事故発生件数	159
4. 免許証更新件数	159
5. 110番受理件数	159
6. 犯罪発生状況	159
7. 質屋・古物関係	159
8. 風俗営業関係	159
第12 電力関係	161
1. 事業所	163
2. 発電設備	163
3. 東京電力及び全国の発電設備	163
4. 三宅島発電所沿革 (その1)	164

5.	〃	(その2)	165
6.	御蔵島発電所沿革		165
第13	通信連絡施設		167
	通信連絡施設		169
第14	下田海上保安部(交通課)		173
1.	概	要	175
2.	沿	革	175
第15	官公署その他		177
	官公署その他		179

三宅島・御蔵島位置図



三宅島・御蔵島要図



第 1 概 要

第 1 概 要

1. 位置・地勢

三宅島

東京から南へ約180kmに位置し、面積55.50km²、周囲38.3kmでほぼ円形をなし中央に雄山（噴火活動前標高814m、噴火後最高標高775m）がある。

本島は、玄武岩質と塩基性溶岩と抛出物との互層からなる複式火山で、頂上及び山腹に数多くの爆発火口を残し、わが国火山中無比と言われている。

雄山は外輪山と中央火口丘からなり、外輪山の側面にある側火山は、島の中央から輻射線上に並立し、いわゆる裂砕噴出をなしその都度流出した溶岩は、流動性に富み海岸まで流出している。最近では昭和15年7月、昭和37年8月、島の東側赤場暁付近、昭和58年10月には西側中腹から爆発、溶岩を海中まで流出し生々しい景観を呈している。

河川は無いが各所に清水の湧出を見る。また大久保浜、三池浜、錆ヶ浜のように延長700mにも及ぶ砂浜も有するが、海岸沿いは断崖が多くわん曲部に乏しい。

集落は島内一円に点在し、大きくは5集落から形成されている。

平成12年6月26日から火山活動の活発化がみられ、7月8日には17年振りに山頂噴火が発生した。それ以降断続的に噴火は続き、9月4日の全島民島外避難（9月2日全島民避難指示）、4年5ヶ月を経た平成17年2月1日に避難指示が解除され、現在に至っている。

御蔵島

三宅島南方18km、東京から南約200kmに位置し、面積20.58km²、周囲16.4kmで、中央に御山（850m）がありほぼ円形をなした鐘状の火山島である。

御山の周囲には高峰が重畳し、傾斜が強く、中央御山に源を発する平清水川、大島分川の2河川と東側に小河川を有する。また御山東南の中腹には周囲400mの火口湖「御代ヶ池」がある。

地質は、安山岩に溶岩の互層から成り、海岸沿いは海蝕による直立した断崖が多く、高さ400mにも及ぶ大海蝕崖もあり雄大な景観を成している。

集落は島の北側比較的平坦な里地区1カ所に集中している。南側南郷地区も島内では比較的平坦な地区である。

三宅島および御蔵島

種別 区分	北 緯	東 経	位 比 置 較	東 京 距 都 都 離	面 積	周 囲	東 西 の 距 離	南 北 の 距 離	面 積 比 較
三宅島	34° 03′ 33 34° 07′	139° 28′ 33 139° 34′	徳島県徳島市とほぼ同位置	東京から 180km	55.50km ²	38.30km	7.5km	8.6km	東京都足立区より僅かに大
御蔵島	33° 51′ 33 35° 54′	139° 35′ 33 139° 38′	福岡県小倉とほぼ同位置	三宅島坪田から 18.4km	20.58km ²	16.4km	5.0km	5.15km	港区より僅かに大
大野原島	34° 03′	139° 23′	徳島県徳島市とほぼ同位置	三宅島阿古から 9.6km	0.02km ²				
イナバ島	33° 39′	139° 18′	高知県高知市とほぼ同位置	// 55km	0.01km ²				

2. 生 物

(植物の概要)

三宅島の潜在植生は、スタジイやヤブツバキ等の常緑広葉樹が優先種となる照葉樹林であるが、度重なる噴火や切替畑農業（焼畑農業の1種）が営まれてきたことから、照葉樹林の極相的な景観は少なく、大路池や満願寺周辺にその面影をとどめている。

主要な樹木としては、伊豆諸島に共通するスタジイ、タブノキ、ヒメユズリハ、ホルトノキ、ヤブニッケイ、ヤブツバキ、イヌマキ等の常緑高木、ハチジョウグワ、オオバエゴ、オオバヤシャブシ、オオシマザクラ等の落葉高木、また中低木にはヒサカキ、ハチジョウイボタ、ハチジョウキブシ、オオムラサキシキブ、ハコネウツギ、ガクアジサイ等があげられる。

草本では野菜としても利用されるアシタバやツワブキを代表に、ハチジョウイタドリ、ハチジョウススキ、イズノシマダイモンジソウ等の地域性植物の群生が見られる。

また、シダ類の宝庫と言われた三宅島には、タマシダやオオタニワタリ、コモチシダ等約70種のシダの自生が確認され、中でも南方系大型シダのリュウビンタイは三宅島が自生の北限とされている。

しかし、平成12年の噴火と継続する火山ガスの影響で雄山山頂から中腹部、さらに火山ガスの高濃度地域については、ヒサカキやオオシマカンスゲ、サルトリイバラ等、火山ガスに強い植物を除き壊滅的な被害を受けている。一方、火山ガスに耐性を示すユノミネシダは、他のシダ類が大きな被害を受けるなか、高濃度地域の下層植生として一大群落を形成している。

御蔵島は、断崖とそれに続く急傾斜の火山島にありながら数千年にわたり噴火の歴史がなく、御山山頂周辺を除き全島がスタジイやタブノキ、ホルトノキ等を中心とする照葉樹林からなり、特にスタジイについては幹周が3mを超える巨樹が島内各所に点在している。

また、特産品として知られるツゲやハチジョウグワについては、天然物に加え古くから植林がなされ、今なお同島の主要産品となっている。

草本では、御蔵島の代名詞ともなっているニオイエビネランを始め、標高の高い鈴原一帯は高層

湿原の様相を呈し、固有種であるミクラコザサやハコネコメツツジ、マイヅルソウやノギラン、コイワザクラ、ヤマブキショウマ等々、数多くの高山植物が自生している。

植 物

神着の大桜（旧名 霊社の桜）（昭11. 3. 4 指定都天然記念物）

樹齢500年以上におよぶもの、勤労福祉会館跡地庭にある。

ビャクシン（イブキ）（昭11. 3. 4 指定都天然記念物）

旧地役人壬生家の庭前にある大樹（御笏神社前）

堂山のシイ（昭11. 3. 4 指定）

三宅村伊豆、御祭神社境内にある、樹齢数百年に及ぶもの。

タイロモ（三宅村坪田大路池）

伊豆諸島中唯一の種で、日本としても特産種であるが58年噴火で埋没し、その後確認されていない。

御蔵島鈴原の湿原植物群落（昭32. 2. 21指定）

御山の北面、標高600～800m附近は湿原状をなし、主としてミクラコザサでおおわれ、ハコネコメツツジ、モウセンゴケ等を混え、植物分布上注目すべきものである。鈴原はその代表的地域である。

イヌマキ（御蔵島稲根神社前）

目通り約3.5m、推定樹齢数百年、自生品、伊豆諸島中他にこれ程の大木を見ない。

ビャクシン（イブキ）（御蔵島稲根神社前）

目通り約2.5m、樹高約20m、移植品、御笏神社のビャクシンに次ぐ大木である。

ツゲ（御蔵島御代ヶ池西方の山）

目通り幹まわり約1.8m、樹高約10m、名産ツゲの中の巨木である。このツゲを中心とした附近のツゲの原生林一帯。

ハチジョウグワ（御蔵島御山あまもんが沢）

目通り約2.5m、樹高約9m、ハチジョウグワの中の巨木である。ツゲとハチジョウグワとはこの島の名産である。

スダジイ（御蔵島南郷）

目通り13.8m、平成9年「巨樹の会」により、日本一のスダジイと確認された。

魚鳥類その他

魚 類

（魚類等の概要）

三宅島、御蔵島は温帯にありながら、周囲を流れる世界でも有数の暖流である黒潮の影響を大きく受け、カツオ、マグロなどが回遊してくる他、温帯と熱帯の両方の生物相が見られる。

また、海底も岩礁、転石、砂地などにより複雑な地形を形成しており、根付きの魚やイセエビ等の甲殻類、トコブシ等の貝類の他、三宅島の特産品であるテングサをはじめとする藻類など多様な生物が生息している。

- 回遊する主な種類
トビウオ、カツオ、キハダマグロ、ムロアジ、ヒラマサ、カジキマグロ、メジマグロ、ソウダカツオ、カンパチ、サバ、サワラ他
- 根付の主な種類
タカベ、イサキ、アオダイ、メダイ、ヒメダイ、ハマダイ、ウメイロ、アカハタ、メジナ、キンメダイ、ニザダイ、ブダイ、イシダイ、イシガキダイ、フエフキダイ他
- その他の魚類および水産動物
シマアジ、マアジ、オアカムロ、イワシ、サメ、シイラ、ケンサキイカ、ヤリイカ、アオリイカ、イセエビ、タコ、アサヒガニ他

貝 類

トコブシ、ギンタカハマ、クボガイ、ヒザラガイ他

藻 類

テングサ類、イワノリ、トサカ、ハバノリ、ツノマタ、サイミ、ヒジキ他

鳥 類

(鳥類の概要)

平成12年の噴火以前の三宅島で確認されていた野鳥は、一年中いる留鳥、春から秋にかけて南方から渡ってくる夏鳥、秋から春にかけて北方から渡ってくる冬鳥、渡りの途中に羽を休める旅鳥で、230種程であった。野鳥の種数が多かったのは、スタジイ・タブノキ等で覆われた昼でも暗い照葉樹林、オオバヤシャブシ・ガクアジサイを中心とした明るい二次林等、多様で豊富な森林植生があったためである。

噴火により森林植生は、壊滅的な被害を受け、野鳥の種数も激減してしまった。しかし、森林植生の回復に相関するように野鳥の種数も増えてきた。

アカコッコ、イイジマムシクイ、カラスバト、カンムリウミスズメ (以上天然記念物)

シチトウメジロ、オーストンヤマガラ、モスケミソサザイ、ヤマシギ、ウチヤマセンニユウ、ミヤケコゲラ、タネコマドリ、トラツグミ、オオコノハズク、アオバズク、スズメ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハクセキレイ、アマサギ、オシドリ他。

3. 気象と火山

(1) 気 象

ア 年間の概況

平成25年の全国的な天候の特徴は次のとおりである。

冬は、周期的に強い寒気が南下したため、北日本から新潟県の山沿いにかけて降雪量が多くなり、酸ヶ湯（青森県青森市）では2月26日に積雪の深さ566cmを記録するなど、アメダス12地点で年最深積雪の大きい記録を更新した。春は、4月中旬から5月上旬にかけて寒気の影響で全国的に低温となったが、その他の時期は、東・西日本を中心に高温となり、気温の変動が大きかった。夏は、日本の南海上から西日本にかけて太平洋高気圧の勢力が強かったため全国的に高温となり、江川崎（高知県四万十市）では8月12日に歴代全国1位の日最高気温41.0℃を記録した。秋は、台風や秋雨前線の影響で北日本から西日本にかけて降水量が多くなった。

9月中旬に上陸した台風第18号の影響により福井県、滋賀県、京都府で、10月中旬に接近した台風第26号の影響により大島（東京都）で記録的な豪雨となった。年平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美で高かった。北日本は平年並だった。年間日照時間は、東・西日本ではかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、北日本では少なかった。年降水量は、北・東日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。東日本太平洋側、西日本は平年並だった。三宅島の年平均気温は17.8℃（平年値17.7℃）で平年並、年間日照時間は1884.0時間（平年値1706.8時間）でかなり多く、年降水量は2459.0mm（平年値2953.6mm）で少なくなった。

イ 各月の概況（観測値、統計値は三宅島特別地域気象観測所の値）

- 1月：西高東低の冬型の気圧配置となる日や高気圧におおわれる日が多く、晴れの日が多かったが、14日は日本の南岸を急速に発達しながら通過した低気圧の影響で日降水量が61.0ミリとなる大雨となった。月平均気温は低く、月間日照時間は多く、月降水量は少なくなった。
- 2月：西高東低の冬型の気圧配置となる日や高気圧におおわれる日が多く、晴れの日が多かったが、数日の周期で低気圧が通過したため曇りや雨の日もあった。2日から5日にかけて日本海を発達しながら通過した低気圧の影響で、暖かい空気が流れ込み気温がかなり高くなる日があった。月平均気温、月間日照時間、月降水量はいずれも平年並となった。
- 3月：短い周期で天気に変化したが、移動性高気圧におおわれることが多く晴れの日が多かった。また、南から暖かい空気が流れ込んで気温が高くなる日が多く、特に20日は日最高気温が22.5℃となり、3月の日最高気温の高い方からの1位を更新した。また、月平均気温は14.2℃となり、3月の月平均気温の高い方からの1位を更新した。なお、1日は日本海の低気圧が発達しながら北東に進んだため、関東地方で「春一番」が吹いた。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は多く、月降水量は少なくなった。
- 4月：日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過したため、天気は数日の周期で変化した。2日から3日と6日から7日にかけては、低気圧や上空の寒気の影響で荒れた天気となり、7日は日最大瞬間風速35.7メートル毎秒を観測した。また、11日から13日と20日から22日にかけては寒気の影響で気温が低くなった。月平均気温は高く、月間日照時間は平年並、月降水量は多くなった。
- 5月：高気圧におおわれて概ね晴れる日が多かったが、上空の寒気や前線の影響で雨となった日もあった。11日は日本の南岸を通過した低気圧と前線の影響で日降水量が55.5ミリとなる大雨となった。月平均気温は平年並、月間日照時間はかなり多く、月降水量はかなり少なくなった。
- 6月：台風や梅雨前線および低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなり、20日は日降水量131.0ミリ、26日は日降水量126.0ミリの大雨となった。なお関東甲信地方は10日ごろ、平年よりも2日遅く、昨年よりも1日遅く梅雨入りした。月平均気温は低く、月間日照時間は少なく、月降水量は多くなった。
- 7月：上旬の前半は日本海や北陸沿岸に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、

6日から14日にかけて高気圧におおわれたため晴れて気温がかなり高くなった。中旬の中頃からは、東北地方に停滞した梅雨前線や低気圧および南からの湿った空気が流れ込んだ影響で曇りや雨の日が多くなり、27日は1時間降水量44.5ミリの激しい雨を観測した。なお、関東甲信地方は6日ごろ、平年よりも15日早く、昨年よりも19日早く梅雨明けした。月平均気温は平年並、月間日照時間は多く、月降水量は少なくなった。

8月：日本の南海上から西日本付近にかけて太平洋高気圧の勢力が強まり、晴れの日が多く気温も高くなった。11日の日最低気温は28.4℃となり、年間の日最低気温の高い方からの1位を更新した。また、18日の日最高気温は32.6℃となり、年間の日最高気温の高い方からの1位を更新した。月平均気温はかなり高く、月間日照時間は多く、月降水量は少なかった。

9月：高気圧におおわれて晴れる日が多かったが、上空の寒気や前線および台風の影響で曇りや雨となった日もあった。15日から16日にかけては台風第18号の影響で荒れた天気となり、15日は日降水量106.0ミリの大雨となった。月平均気温は高く、月間日照時間は多く、月降水量は少なくなった。

10月：台風や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。15日から16日にかけては、大型で強い台風第26号が関東地方に接近した影響で荒れた天気となり、15日は日降水量92.5ミリ、16日は日降水量96.0ミリと日最大瞬間風速36.6メートル毎秒を観測した。また、16日の日最低海面気圧は953.0ヘクトパスカルとなり、年間の日最低海面気圧の1位を更新した。20日は低気圧の影響で日降水量が122.5ミリの大雨となった。月平均気温は高く、月間日照時間は平年並、月降水量は多くなった。

11月：前半は高気圧と低気圧が交互に通過したため天気は数日の周期で変化した。後半は西高東低の冬型の気圧配置や移動性高気圧におおわれて概ね晴れたが、25日から26日にかけては日本海の低気圧からのびる寒冷前線の影響で雨となった。なお、中旬前半は強い寒気の影響で気温が低くなり、11日には東京地方で「木枯らし1号」が吹いた。月平均気温は低く、月間日照時間はかなり多く、月降水量は少なかった。

12月：本州付近は西高東低の冬型の気圧配置となったが、三宅島では上空の気圧の谷や関東の南岸を東進した低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。月平均気温は低く、月間日照時間と月降水量はともに平年並となった。

ウ 平成25年度の気象観測結果

以下に、平成25年度の気象年報と周辺各地との気象状況の比較を示す。

三宅島特別地域気象観測所気象年報

2013年（平成25年）

要素		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
海面気圧 +1000hPa			16.9	17.0	13.7	10.9	12.7	09.3	09.2	07.7	13.5	15.7	15.9	13.6	13.0
気温	平均気温		8.4	9.5	14.2	16.1	18.8	21.0	25.3	27.6	25.0	21.3	15.5	11.1	17.8
	最高	平均℃	10.9	12.2	16.9	19.0	21.9	23.3	27.9	30.3	27.2	23.3	18.0	13.1	20.3
		極値℃	16.5	18.2	22.5	23.2	24.9	26.7	31.3	32.6	31.1	28.4	22.7	18.8	32.6
		その起日	22	4	20	17	24	19*	26	18	2	10	3	10	8月18日
	最低	平均℃	5.0	6.0	11.0	12.6	15.2	19.1	22.9	25.3	22.7	19.3	12.4	8.4	15.0
		極値℃	0.5	2.0	4.7	7.4	10.3	14.3	17.2	21.9	19.6	13.9	7.3	3.4	0.5
その起日		5	17	3	23	7	4	2	27	27	27	13	25	1月5日	
湿度	平均湿度%	64	67	70	68	75	87	84	82	80	81	67	64	74	
	最小	極値%	35	34	31	29	20	57	56	49	44	40	38	32	20
		その起日	28	24	16	12	10	8	3	18	27	12	22	29	5月10日
風速	平均風速m/s	6.5	6.5	6.0	6.6	4.5	4.8	5.4	4.6	6.0	7.3	6.3	7.4	6.0	
	最大風速m/s	21.9	20.9	18.9	21.6	15.7	17.0	12.9	16.8	18.9	23.1	16.7	21.2	23.1	
		風向	NNE	W	W	WSW	NNE	NNE	SW	NNE	NE	NNW	S	NNE	NNW
	その起日	14	24	21	7	16	2	5	27	23	16	25	18	10月16日	
	最大瞬間風速m/s	32.4	29.4	29.6	35.7	26.0	25.3	23.9	20.2	33.9	36.6	29.1	30.0	36.6	
		風向	NNE	W	W	SW	S	SSW	SSW	NNE	SSW	NNW	S	WNW	NNW
その起日	14	24	21	7	11	19	5	27	16	16	25	20	10月16日		
日照	日照時間hr	150.5	117.2	152.1	162.0	203.4	98.4	226.2	251.5	151.1)	110.6	138.2	122.8	1884.0	
	日照率%	48	38	41	42	47	23	52	61	41)	32	44	40	43	
降水	降水総量mm	94.0	163.5	174.0	330.0	144.0	445.0	75.0	54.5	233.5	496.5	120.0	129.0	2459.0	
	最大日量mm	61.0	61.0	51.5	78.5	55.5	131.0	46.0	25.5	106.0	122.5	22.0	40.0	131.0	
		とその起日	14	27	19	6	11	20	27	26	15	20	26	18	6月20日
	日数	≥ 0.0	14	19	25	18	15	21	15	11	20	22	20	16	216
		≥ 0.5	7	12	18	14	8	13	5	5	18	18	15	11	144
		≥ 1.0	5	11	17	14	7	13	5	5	12	18	13	11	131
≥ 10.0		2	5	5	7	4	7	2	2	5	8	6	3	56	
≥ 30.0		1	2	1	6	2	5	1	0	2	4	0	1	25	
天気日数	雨(≥0.5mm)	7	12	18	14	8	13	5	5	18	18	15	11	144	
	雪	1	2	0	0)	0)	0)	0	0)	0	0)	0)	0]	3	
	霧	0	0	0	0)	0)	1)	1	0)	0	2)	0)	0]	4]	
	不照	1	5	5	3	1	9	1	0	5	9	4	4	47	
	日最大風速 10m/s以上	24	19	23	21	14	10	13	5	14	19	23	23	208	

注1) 三宅島測候所は平成21年10月1日から三宅島特別地域気象観測所に移行している。このため、これ以降は天気日数のうちの平均雲量、積雪、ひょう、雷についての統計はない。

注2) 「*」は1つの極値に対して、期間内に起日が2日以上ある場合。起日の新しい方を掲載し、日の欄に*を付加している。

注3) 「)」の付いた値は準正常値（統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている値）である。

注4) 「]」の付いた値は資料不足値（統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている値）である。

平成25年 各地の気象状況比較表

要素		月												年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
平均気温 ℃	東京	5.5	6.2	12.1	15.2	19.8	22.9	27.3	29.2	25.2	19.8	13.5	8.3	17.1
	大島	6.3	7.2	12.5	14.9	18.3	20.8	24.9	27.3	23.8	19.6	13.6	9.2	16.5
	三宅島	8.4	9.5	14.2	16.1	18.8	21.0	25.3	27.6	25.0	21.3	15.5	11.1	17.8
	八丈島	8.8	10.1	14.5	15.9	18.4	20.5	25.1	27.4	24.8	21.9	15.9	11.0	17.9
降水量 mm	東京	70.0	30.0	44.5	283.0	56.0	159.0	115.5	99.0	231.5	440.0	26.0	59.5	1614.0
	大島	132.5	152.5	74.5	423.5	109.0	503.0	133.5	42.5	280.0	1255.0	133.5	126.0	3365.5
	三宅島	94.0	163.5	174.0	330.0	144.0	445.0	75.0	54.5	233.5	496.5	120.0	129.0	2459.0
	八丈島	191.0	153.0	214.0	180.0	119.0	491.5)	40.0	112.5	122.0	240.5	173.0	154.5	2191.0
日照時間 h	東京	212.5	173.7	190.1	196.0	227.1)	123.9	163.4	210.6	164.2	110.4	177.4	181.8	2131.1
	大島	180.7	116.4	170.7	193.2	231.3	112.5	171.5	226.4	168.9	106.0	159.5	166.9	2004.0
	三宅島	150.5	117.2	152.1	162.0	203.4	98.4	226.2	251.5	151.1)	110.6	138.2	122.8	1884.0
	八丈島	109.6	78.2)	131.7	145.0	202.9	78.3	155.6	206.7	168.1	138.3	111.8	103.9	1630.1
平均風速 m/s	東京	2.9	3.3	3.6)	3.9	3.4	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	2.6	2.5	3.1
	大島	5.1	5.1	5.6	6.1	4.5	4.3	4.0	4.0	4.8	5.6	5.4	5.6	5.0
	三宅島	6.5	6.5	6.0	6.6	4.5	4.8	5.4	4.6	6.0	7.3	6.3	7.4	6.0
	八丈島	4.9	5.0	5.0	5.5	4.0	5.0	4.1	3.7	5.4	6.0	4.8	5.4	4.9
平均湿度 %	東京	47	48	55	55	61	74	73	70	69	72	55	52	61
	大島	65	67	71	70	76	87	86	84	81	82	70	66	75
	三宅島	64	67	70	68	75	87	84	82	80	81	67	64	74
	八丈島	65	67	73	72	76	91	87	83	82	82	67	66	76

注) 「)」の付いた値は準正常値（統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている値）である。

(2) 火 山

ア 概 況

平成25年は、1月22日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生した。

4月17日から6月頃にかけて、三宅島の西方沖約10km付近で地震活動が活発化した。4月17日17時57分にはマグニチュード6.2の地震が発生し、三宅村役場臨時庁舎で最大震度5強を観測した。地震活動期間中、震度1以上の地震が53回（うち最大震度5強が1回、最大震度3が7回、最大震度2が11回、最大震度1が34回）発生。この地震活動に関係して、三宅島の火山活動に

特段の変化はなかった。

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2月以降はやや少量で経過した。山頂火口直下を震源とする火山性地震は、全般的にやや少ない状態で経過した。全磁力連続観測では火山体内部の熱の状態に特段の変化はなかった。GNSS（GPS）連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞している。島内の長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続している。

2月及び9月の上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）では、山頂火口南側内壁の主火孔及びその周辺で引き続き地熱域が認められた。

イ 火山観測の概要

気象庁では、地震計、空振計、GNSS（GPS）、全磁力計、傾斜計、火山ガス観測装置、遠望監視カメラおよび火口監視カメラによる観測を行った。

ウ 平成25年の火山観測結果

平成25年の状況は、上記「概況」のとおりである。震動観測による地震活動の結果は以下の各表のとおりである。

平成25年 火山性地震回数表（三宅島島内を震源とする地震）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
回数	481	118	185	116	84	64	40	32	17	27	26	21	1211
震度1未満	480	118	184	116	84	64	40	32	17	27	26	21	1209
震度1以上	1		1										2

平成25年 地震の震度別回数表

観測点（三宅村神着）

震度 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
震度1	1	3	1	18	1	1	1	1	1	1	3	4	36
震度2			1	8					1	1	1	0	12
震度3				3									3
震度4													0
震度5弱				1									1
震度5強													0

観測点（三宅村役場臨時庁舎）

震度 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
震度1	1		1	33		1		1		1	3		41
震度2				11					1				12
震度3				7									7
震度4													0
震度5弱													0
震度5強				1									1

4. 三宅島災害対策

(1) 災害対応の主な経過

平成12年

- 6月26日 緊急火山情報「三宅島で噴火の恐れ、厳重に警戒」
- 6月27日 東京都災害対策本部設置、三宅島に現地災害対策本部設置
- 6月29日 火山噴火予知連絡会「火山活動低下、今後、陸域及び海面に影響を及ぼす噴火の可能性ほとんどなし」
- 6月29日 東京都災害対策本部及び三宅島現地災害対策本部廃止
- 7月8日 雄山噴火（噴煙の高さは火口から800m）
- 8月18日 最大規模の噴火（白色噴煙の高さ約14,000m、うち、黒灰色噴煙8,000m以上）
- 8月29日 低温火砕流発生
東京都災害対策本部設置、三宅島に現地災害対策本部設置
- 8月31日 火山噴火予知連絡会「噴火が断続的に発生。18日や29日の規模を上回る噴火や火砕流の発生の可能性あり。火山ガスに対する警戒が必要」
- 9月2日～4日 三宅島全島避難
- 9月5日 ホテルシップで災害対応開始、船内に現地災害対策本部を移設
- 10月7日 神津島に現地災害対策本部を移設、船舶による渡船作業開始

平成13年

- 5月4日 三宅支庁による夜間滞在の試行の開始
- 5月28日 火山噴火予知連絡会「小規模な噴火が発生する可能性があるが、大規模な噴火の可能性は低い。火山ガスの放出量は現在も依然として高く、引き続き火山ガスに対する警戒が必要」
- 7月9日 工事関係者を含めた夜間滞在の開始
- 9月21日 三宅島に現地災害対策本部を移設
- 10月22日 火山噴火予知連絡会「地下のマグマの状態に大きな変化はなく、火山ガスの放出を含めて、火山の活動は全体として低下途上にある。火山ガスの放出量は、今後ともゆるやかに低下していくと予想されるが、現在も高い値を保持している。引き続き火山ガスに対する警戒が必要」

平成14年

- 2月1日 火山噴火予知連絡会「三宅島の火山活動は全体としては低下傾向にある。火山ガスの放出量は、長期的には減少傾向にあるが、現在も高い値を保持している。引き続き風下にあたる地区での火山ガスに対する警戒が必要」
- 5月23日 火山噴火予知連絡会「二酸化硫黄の放出量は、長期的には減少傾向が続いている。火山活動は全体としては依然として低下途上にあると考えられる。風下に当たる地域では引き続き火山ガスによる警戒が必要」
- 7月5日 活動火山対策特別措置法に基づき、三宅島を避難施設緊急整備地域に指定
- 8月23日 都の三宅島の避難施設緊急整備計画に対し、内閣総理大臣が同意。三宅村が交付申請していた「消防防災等施設整備費補助金」が総務省消防庁より交付決定。

- 9月11日 三宅島雄山火口へ火山ガス採取用パイプを敷設
- 10月15日 火山噴火予知連絡会「二酸化硫黄の放出量も、最近数ヶ月では1日当たり4千～1万数千トン程度となり、平成12年10月頃的最盛期と比べると1/6程度になっている。火山ガスの放出量は大局的には低下していくものと考えられる。風下に当たる地域では引き続き火山ガスによる警戒が必要」

平成15年

- 1月6日 東海汽船(株)の定期船が、東京～八丈島航路の三宅島への寄港を開始
- 1月21日 火山噴火予知連絡会「二酸化硫黄の放出量も、最近数ヶ月では1日当たり3千～1万トン程度となっている。山麓での二酸化硫黄濃度（1時間値）も最盛期は10ppmを越す値が観測されていたが、最近数ヶ月は最大で数ppmとなっている。火山ガスの放出量は大局的には低下を続けていくものと考えられる。風下に当たる地区では引き続き火山ガスによる警戒が必要」
- 3月7日 「平成12年から平成14年までの間の火山現象による東京都三宅村の区域に係る激甚災害の指定およびこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」が閣議決定
- 3月28日 三宅村火山ガス安全対策検討委員会設置
- 5月13日 火山噴火予知連絡会「二酸化硫黄も放出量はゆっくりと減少し、最近数ヶ月では1日当たり3千～1万トン程度と概ね横ばい傾向となっている。局所的に高い二酸化硫黄濃度が観測されることもあるので、風下に当たる地区では引き続き火山ガスによる警戒が必要」
- 10月16日 三宅島帰島プログラム準備検討会設置
- 10月28日 火山噴火予知連絡会「二酸化硫黄も放出量はゆっくりと減少してきているが、最近1年程度は1日当たり3千～1万トン程度と概ね横ばい傾向となっている。局所的に高い二酸化硫黄濃度が観測されることもあるので、風下に当たる地区では引き続き火山ガスによる警戒が必要」
- 12月16日 三宅島島内の旅館・民宿を防災関係者が宿泊施設として活用し、12月20日より運用を開始
- 12月25日 三宅島帰島プログラム準備検討会中間報告発表

平成16年

- 1月27日 火山噴火予知連絡会「三宅島の火山活動は、全体としてゆっくりと低下してきているが、三宅島の収縮傾向に一時的な変動がみられるなど短期的には揺らぎがある。また、最近1年あまり火山ガスの放出量は、ほぼ横ばいとなっている。
今後も局所的に高い二酸化硫黄濃度が観測されることもあるので、風下に当たる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要」
- 2月3日 第6回火山活動検討委員会開催（総合防災部）
- 3月30日 三宅島帰島プログラム準備検討会最終報告
- 6月30日 火山噴火予知連絡会「三宅島の火山活動は、全体として最近1年半以上大きな変化はなく、現在程度の火山ガスの放出は当分継続する可能性があると考えられるが、現段階で、火山活動が活発化する兆候は見られない。ただし、これまで同様、小規

模な火山灰の噴出などの可能性がある。

三宅島では、今後も局所的に高い二酸化硫黄濃度が観測されることもあるので、風下に当たる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要」

7月1日 三宅村安全確保対策専門家会議開催

7月20日 帰島に関する基本方針発表

7月21日 東京都三宅島帰島支援連絡会議開催

三宅村帰島対策本部開設

東京都三宅島帰島支援対策本部開設

三宅村全島民帰島プロセス検討会開催

7月27日 三宅村現地帰島対策本部開設

東京都三宅島帰島支援現地対策本部開設

10月26日 火山噴火予知連絡会「火山活動は、全体として最近約2年間大きな変化はなく、現段階で火山活動が活発化する兆候はみられない。ただし、これまで同様、小規模な火山灰の噴出などの可能性はあると考えられる。また、現在程度の火山ガスの放出は当分継続すると考えられる。今後も局所的に高い二酸化硫黄濃度が観測されることもあるので、風下に当たる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要」

平成17年

2月1日 避難指示解除・高濃度地区公示

2月23日 火山噴火予知連絡会「平成16年11月末から4回の小噴火が発生し、空振を伴う低周波地震も時折発生するようになった。

火山活動は、全体として大きな変化はなく、今後も山麓に降灰をもたらす程度の小規模な噴火の可能性はあるが、現段階で大規模な噴火につながる兆候は認められない。また、二酸化硫黄を含む多量の火山ガスの放出はしばらく継続すると考えられる。今後も局所的に高い二酸化硫黄が観測されることがあるので、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要」

3月31日 東京都災害対策本部廃止、東京都現地災害対策本部廃止

平成21年

4月1日 阿古高濃度地区解除

平成22年

8月1日 坪田高濃度地区一部解除（御子敷地区）

平成23年

4月1日 坪田高濃度地区の特例措置による継続滞在実施、薄木・栗辺地区の準居住地区規制解除

平成24年

8月10日 レベル1及びレベル2の火山ガス発令・解除の夜間放送（午後8時から翌日午前6時まで）取りやめ

「坪田高濃度地区」の呼称を「三池・沖ヶ平地区」に変更

12月14日 御子敷地区の準居住地区の設定を解除

平成25年

7月1日 三池・沖ヶ平地区の高濃度地区を解除（準居住地区に設定）

ガスマスクの常時携帯義務を緩和

12月19日 「三池・沖ヶ平地区」を「三池地区」、「沖ヶ平地区」と分割し「三池地区」の準居住地区の規制を解除。

(2) 第129回火山噴火予知連絡会（平成26年6月3日） 三宅島の火山活動の評価 気象庁

今期間（平成26年2月25日～6月3日）、噴火は発生しませんでした。噴火は2013年1月22日を最後に発生していません。

山頂浅部を震源とする地震は、3月22日に一時増加しましたが、その他の期間は概ね少ない状態です。3月22日の地震の増加に伴い傾斜計にわずかに山体膨張を示す変動が観測されましたが、地震回数の減少に伴い収まりました。

GNSSによる観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞しています。一方、島の南北を挟む長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

二酸化硫黄の放出量は長期的には緩やかな減少傾向にあり、期間中は1日あたり200トンと、やや少量の火山ガス放出が続きました。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺（雄山環状線内側）では引き続き噴火に警戒してください。風下にあたる地区では火山ガスに警戒してください。

(3) 火山噴火警報・噴火警戒レベル

噴火警報は、居住地域や火口周辺に影響が及ぶ噴火の発生が予想された場合に、予想される影響範囲を付した名称で気象庁が発表する。また、噴火警報を解除する場合や、火山活動が静穏（平常）な状態が続くことを知らせる場合には噴火予報を発表する。

噴火警戒レベルとは、火山活動の状況を噴火時等の危険範囲や必要な防災対応を踏まえてレベル5から1までの5段階に区分したもので、各区分にそれぞれ「避難」「避難準備」「入山規制」「火口周辺規制」「平常」のキーワードをつけて警戒を呼びかけるものである。噴火警戒レベルは噴火警報及び噴火予報の中で発表する。

平成25年10月現在、三宅島は火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）である。

(4) 災害復旧等の進捗状況（平成26年3月31日現在）

ア 砂防

現在までに41溪流でえん堤59基、流路工4.7kmが完成。

砂防堰堤整備の恒久対策として整備目標の土砂整備率60%をおおむね達成。

イ 治山

火山治山激甚災害対策特別緊急工事等により治山ダム（谷止工、床固工）197基完成。

復旧治山工事等により治山ダム23基完成。

ウ 都 道

平成15年度に被災全16箇所の本復旧工事が完了し、交通開放済み。
引き続き道路施設の点検を適時行い、維持管理を実施している。

エ 村 道

10路線工事完了（平成17年3月完了済）。

オ 林 道

10路線（都管理8、村管理2）中、2路線で全線通行止（危険区域）、1路線で一部通行止。

カ 村営住宅

住宅210戸工事完了（平成17年6月完了済）。

キ 港湾・漁港

被災箇所（3漁港、1港湾、1海岸）のうち3漁港（阿古・伊ヶ谷・坪田）1港湾（三池）、1海岸（三池）復旧完了。

ク 水 道

島内全域で給水可能。

ケ 電 気（東京電力）

島内全域で電力供給可能。

コ 電 話

島内全域で電話接続可能。

携帯電話については、NTT Docomoとauが使用可能（一部不通あり）。SoftBankも阿古・神着の一部で使用可能。

サ L P ガス

島内全域で供給可能。

シ 漁業基盤

被災施設の復旧、水産物鮮度保持施設の整備完了。

漁場を4箇所造成。

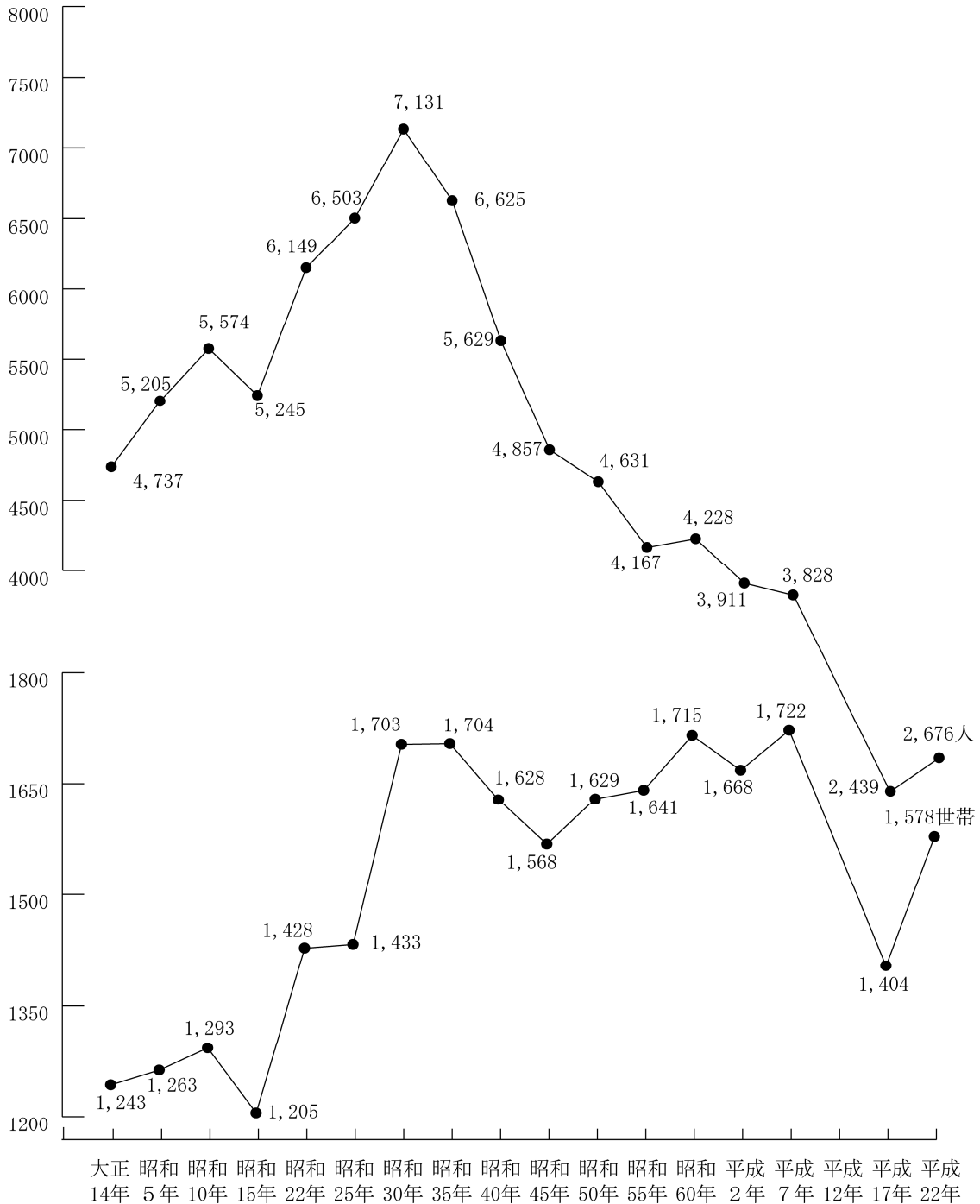
ス 農地災害

被災農地については、復旧工事が完了（約89.0ha）し、営農が再開されている。

5. 人 口

(1) 国勢調査人口・世帯の推移

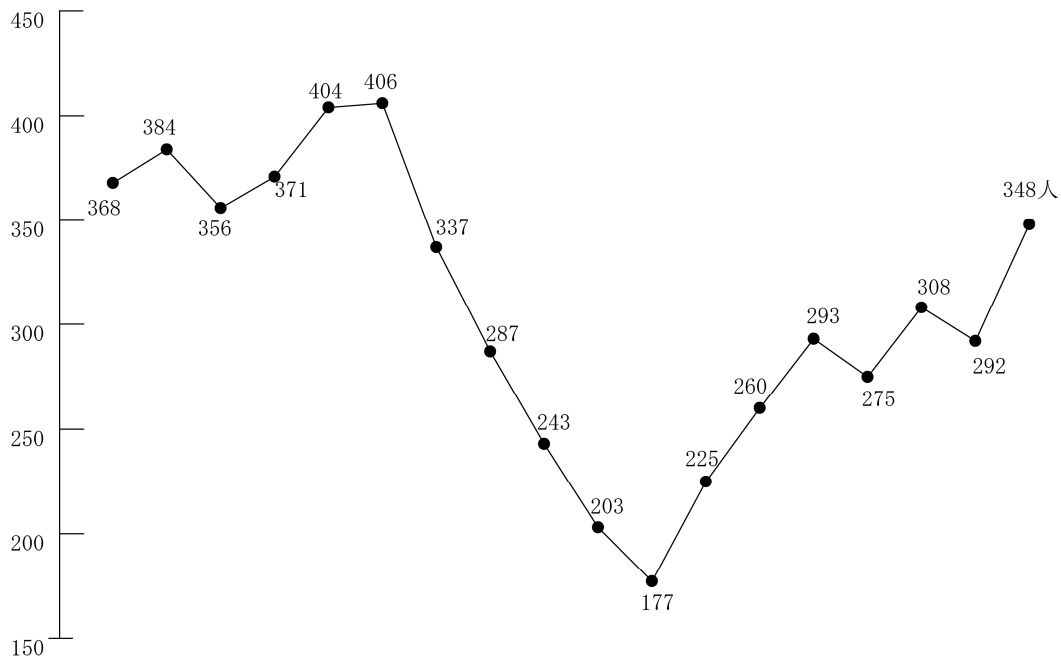
三 宅 村



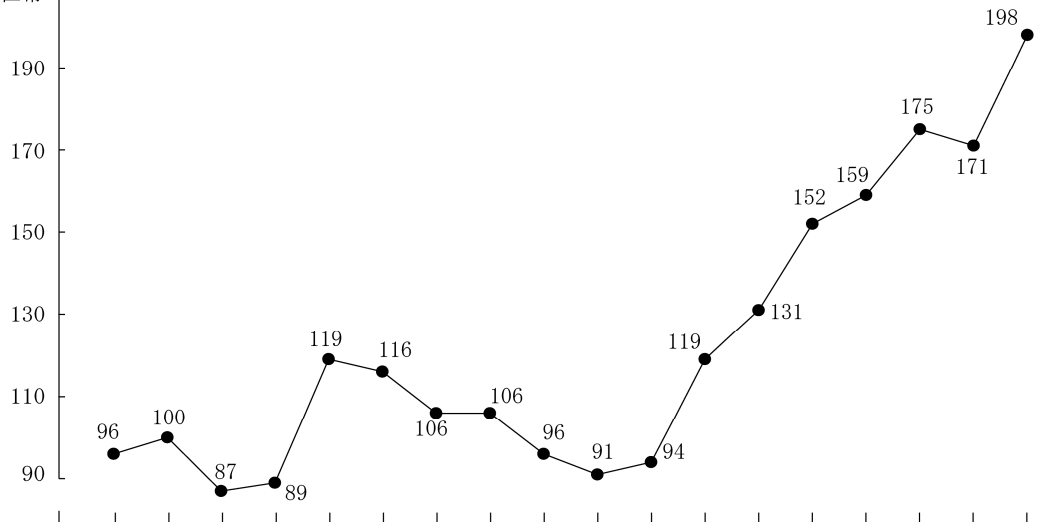
注 平成12年は全島避難のため国勢調査を行えず、調査値が存在しない。

御蔵島村

人口



世帯



大正 昭和 昭和 昭和 昭和 昭和 昭和 昭和 昭和 昭和 昭和 昭和 平成 平成 平成 平成 平成
 14年 5年 10年 15年 22年 25年 30年 35年 40年 45年 50年 55年 60年 2年 7年 12年 17年 22年

(2) 性別年齢別人口構成図（住民基本台帳による東京都の世帯と人口）

<三宅村>

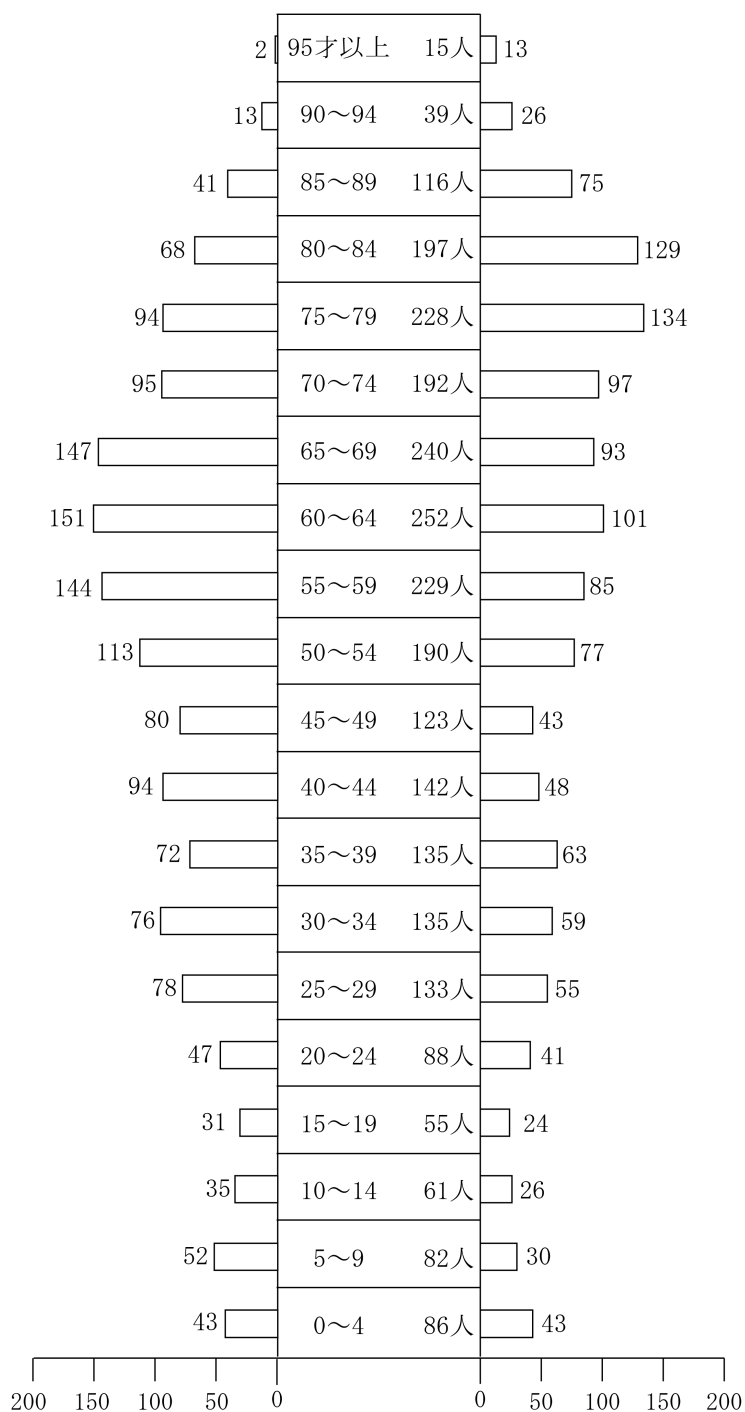
(平成26年1月1日現在)

人口 2,738人

世帯数 1,750戸

男 1,476人

女 1,262人



<御蔵島村>

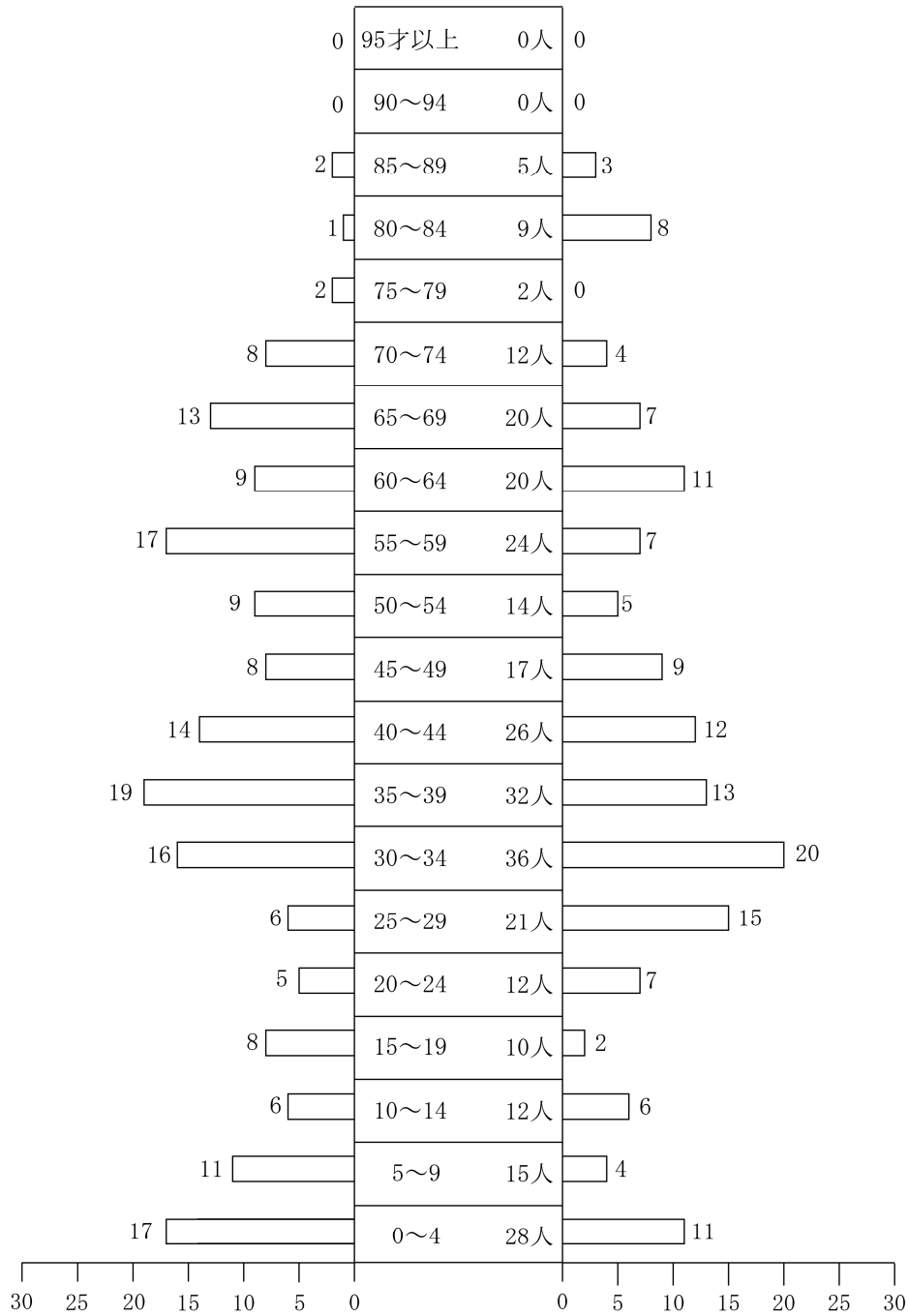
(平成26年1月1日現在)

人 口 315人

世帯数 173戸

男 171人

女 144人



(3) 産業別就業人口

年次	区分	総人口	就業者総数	第一次産業	第二次産業	第三次産業	完全失業人口
	村別						
30	三宅村	7,131	3,396	2,335	181	880	61
	御蔵島村	337	139	64	11	64	0
40	三宅村	5,629	2,246	849	460	937	23
	御蔵島村	243	121	2	65	54	0
45	三宅村	4,857	(7) 2,184	654	343	1,180	42
	御蔵島村	203	109	1	39	69	0
50	三宅村	4,631	(12) 2,186	459	369	1,346	42
	御蔵島村	177	102	6	35	61	1
55	三宅村	4,228	2,115	349	388	1,378	41
	御蔵島村	225	132	22	49	61	2
60	三宅村	4,167	(1) 2,155	307	501	1,346	23
	御蔵島村	260	133	16	38	78	4
02	三宅村	3,911	(1) 1,993	324	387	1,281	21
	御蔵島村	293	162	4	69	89	3
07	三宅村	3,828	(10) 2,042	305	440	1,287	37
	御蔵島村	275	167	0	66	101	1
12	三宅村	—	—	—	—	—	—
	御蔵島村	308	181	20	66	95	0
17	三宅村	2,439	(3) 1,289	80	320	886	80
	御蔵島村	292	184	3	46	135	0
22	三宅村	2,676	(40) 1,499	105	317	1,037	42
	御蔵島村	348	(10) 234	6	69	149	0

注1 総人口及び就業者数は国調、15才以上の数による。

注2 () は、「分類不能の産業」を内書した。

注3 三宅村については平成12年国調は全島避難のため実施していない。

(4) 産業（大分類）及び15才以上就業者数

(平成22年国勢調査)

	産業（大分類）	三宅村	御蔵島村
第1次産業	農業	63	1
	林業・狩猟業	11	0
	漁業・水産養殖業	31	5
第2次産業	鉱業	—	—
	建設業	294	64
	製造業	23	5
第3次産業	電気ガス水道業	21	6
	運輸・通信業	98	19
	卸売業・小売業	130	9
	金融・保険・不動産業	20	—
	サービス業	562	87
	公務	206	28
分類不能の産業		40	10
合計		1,499	234

6. 沿革

- 明治2年 ○ 蕪山県に属する。
- 〃 4年11月4日 ○ 足柄県の管下となる。
- 〃 9年4月18日 ○ 静岡県に移管される。
- 〃 11年1月11日 ○ 太政官布告1号により、東京府に属す。
- 〃 14年 ○ 伊豆七島制の下に、地役人、名主、一式引受人、年寄、書役を置く。
- 大正9年10月 ○ 東京府大島島庁三宅島出張所設置
- 〃 12年10月 ○ 島嶼町村制施行（議会、村長、収入役、書記設置）
- 〃 15年 ○ 普通町村制施行
- 〃 15年7月 ○ 島庁廃止、大島支庁三宅出張所開設
- 昭和18年4月1日 ○ 東京府三宅支庁開設
- 〃 18年7月1日 ○ 東京都制施行
- 〃 21年10月1日 ○ 神着村、伊豆村、伊ヶ谷村三ヶ村合併、三宅村設置
- 〃 31年2月1日 ○ 三宅村、阿古村、坪田村三ヶ村合併、三宅村設置

7. 交通機関

(1) 航路

三宅島、御蔵島への交通機関としては、船舶と航空機とがあるが、経済性、輸送力の面から海上交通が主たるものとなっている。

海上交通としては、東海汽船による東京竹芝桟橋—三宅島—御蔵島—八丈島を往復する便が運航されており、東京竹芝桟橋から三宅島への所要時間は約6時間30分、御蔵島への所要時間は約7時間30分である。

(2) 空路

空の交通としては、新中央航空による空路と東邦航空によるヘリコプターがある。

平成26年4月より空路がANA（1日1便）から新中央航空（1日3便）に切り替わり、90%程度の高い就航率を記録している。

また、島しょ間空路として東邦航空のヘリコプター東京愛らんどシャトル（9人乗りヘリコプター）が毎日運航され、青ヶ島－八丈島－御蔵島－三宅島－大島－利島を往復している。

(3) 島内交通

三宅島の陸上交通機関は、島内を1周する村営の路線バスが運行され、他に貸切バス、タクシーが営業しており、レンタカー、レンタサイクル等もある。

御蔵島では民宿等の自家用車が主な交通手段となっている。

第 2 支 序

第2 支 庁

1. 沿 革

伊豆諸島は、明治維新後（明治2年）菰山県の所管となり、次いで同4年足柄県に属し、9年静岡県
の管下に入り、明治11年太政官布告第1号をもって東京府の所管する所となった。

明治14年伊豆七島の制度を定め、島役所を大島、新島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島に設置し、
地役人、名主、一式引受人、年寄、書役が置かれた（利島は地役人を置かず、名主がこれにあたった）。
明治33年4月大島役所を廃し、大島島庁を設け島司を置いたが、他諸島は島役所を存した。明治41年4月
島しょ町村制施行、大正9年10月八丈島を除く他諸島を一般に大島島庁の管下に編入し、島役所、地役
人を廃するとともに、新島、三宅島に島庁出張所を置いた。大正15年7月1日、郡役所廃止に伴い、島
庁を廃し、更に東京府大島支庁の設置となり、同時に新島、三宅島には出張所を置き、大島、利島は支
庁の直轄に属し、新島、神津島は新島出張所、三宅島、御蔵島は三宅出張所の管轄となった。

昭和18年4月1日、東京府三宅支庁を開設、同年7月1日東京都制施行により、東京都三宅支庁とし
て現在に至っている。

2. 庁舎の経緯

江戸時代伊豆代官の支配する時より、明治14年の島役人、大正9年の大島島庁出張所として、神着の
現存する島役所（地役人壬生家の住居で、天文3年の伊豆諸島中最古の建物）にて諸政を掌り、その後
大正15年郡制廃止とともに東京府大島支庁三宅出張所を同神着（現在神着老人福祉会館下の空地に木造
平屋建30.75坪）に開設、昭和24年11月26日、伊豆字友地（現在の庁舎敷地内に木造平屋建96坪）に移
転、昭和47年12月20日旧庁舎（鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、1,928.70㎡）に移り、これ
とあわせて、教育庁三宅出張所が経済局所管建物から移転した。平成24年3月には新庁舎（鉄筋コンク
リート造、地上2階、1,936.86㎡）が完成、同年3月19日より新庁舎での業務を開始している。また、
平成6年2月に完成した第二庁舎は、鉄筋コンクリート造2階建（572.77㎡）で災害用備蓄倉庫、大小
会議室及び職員の休養室が置かれている。平成12年に発生した噴火災害に伴い現地災害対策本部が設け
られ、平成12年10月に一時神津島へ移転されたが、平成17年2月の避難指示解除により、三宅支庁での
通常業務を再開し、同年3月末に現地災害対策本部は廃止された。

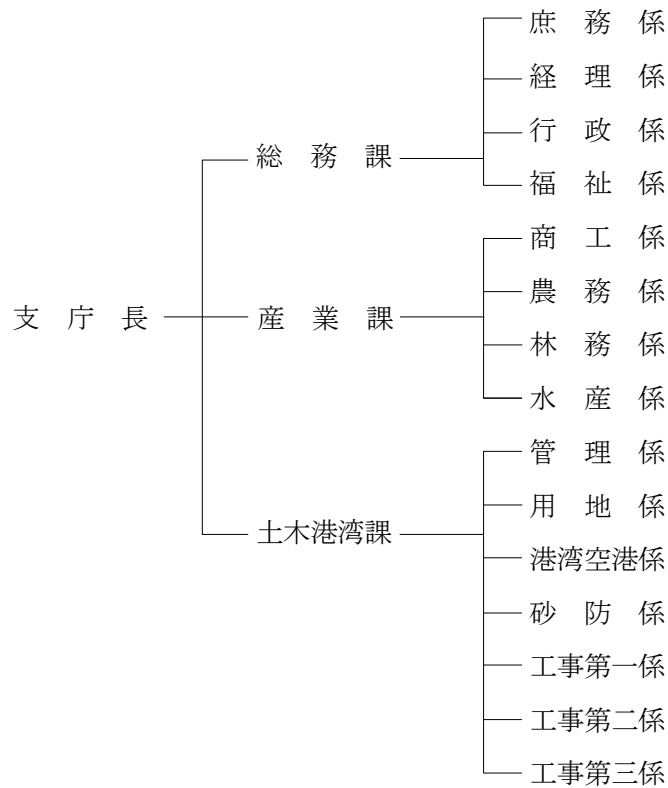
3. 組織の経緯

昭和25年	5 課（総務、厚生、産業、土木、林務）	11係	(59名)
昭和26年	6 課（同上に経理課設置）	15係	(59名)
昭和26年10月	三宅福祉事務所開設に伴い、厚生課が廃止され	5 課（同上に厚生課廃止）	11係
昭和27年12月31日	三宅福祉事務所廃止により	6 課（同上に福祉課設置）	14係 (61名)

昭和30年7月	機構改革があり3課（総務、産業、土木）	9係	(60名)
昭和40年7月1日	総務課に港湾空港係設置により3課（同上）	10係	(88名)
昭和46年4月1日	産業課に商工係設置により3課（総務・産業・土木）	11係	(81名)
昭和48年4月1日	土木課に用地主査、同年11月28日総務課に勤労福祉会館設置により3課（同上）	12係1主査	(84名)
昭和56年4月1日	土木課工事係を工事第1係、工事第2係に組織改正し、産業課農務係に係内主査設置により3課（同上）	13係1主査	(81名)
昭和58年10月14日	東京都三宅島復興対策推進本部が設置され、当庁に復興対策推進現地本部が置かれ、応援職員18名が派遣された。		(98名)
昭和59年9月7日	東京都三宅島復興対策推進本部の廃止に伴い、当庁の復興対策推進現地本部も廃止		
9月8日	三宅島現地復興対策推進本部を設置		
昭和60年7月1日	三宅勤労福祉会館の(財)東京都勤労福祉協会へ移管により3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(80名)
昭和61年3月31日	三宅島現地復興対策推進本部を廃止		
昭和61年4月1日	3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(72名)
昭和62年4月1日	3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(72名)
昭和63年4月1日	3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(70名)
平成元年4月1日	3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(64名)
平成2年4月1日	3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(63名)
平成3年4月1日	3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(62名)
平成4年4月1日	3課（総務、産業、土木）	12係1主査	(61名)
平成5年4月1日	土木課用地主査を廃止し、用地係設置により3課（総務、産業、土木）	13係	(59名)
平成6年4月1日	3課（総務、産業、土木）	13係	(59名)
平成7年4月1日	3課（総務、産業、土木）	13係	(58名)
平成8年4月1日	3課（総務、産業、土木）	13係	(58名)
平成9年4月1日	3課（総務、産業、土木）	13係	(58名)
平成10年4月1日	3課（総務、産業、土木）	13係	(56名)
平成11年4月1日	3課（総務、産業、土木）	13係	(55名)
平成12年4月1日	3課（総務、産業、土木）	13係	(55名)
6月27日	東京都現地災害対策本部設置		
6月30日	東京都現地災害対策本部廃止		
8月29日	東京都現地災害対策本部再設置		

	9月6日	東京都庁第一本庁舎に三宅支庁臨時連絡所を設置	
	10月7日	東京都現地災害対策本部を神津島に移設	
平成13年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(83名)
	9月21日	東京都現地災害対策本部を三宅島に移設	
平成14年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(101名)
平成15年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(102名)
平成16年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(92名)
	7月27日	東京都三宅島帰島支援現地対策本部設置	
平成17年	2月1日	避難指示解除に伴い、島内での三宅支庁業務再開。	
	3月31日	東京都現地災害対策本部廃止	
	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(81名)
平成18年	3月31日	三宅支庁臨時連絡所、東京都三宅島帰島支援現地対策本部廃止	
	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(73名)
平成19年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(67名)
平成20年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(64名)
平成21年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(64名)
平成22年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(66名)
平成23年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(65名)
平成24年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(61名)
平成25年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(62名)
平成26年	4月1日	3課（総務、産業、土木港湾） 15係	(61名)

4. 機 構 (平成26年 8 月 1 日現在)



5. 職員配置状況 (平成26年10月 1 日現在)

各課別配置状況

課別	識別		係長級			一般		技能	合計
	事務	技術	事務	福祉	技術	事務	技術		
総務課	2	0	3	1	0	11	0	0	17
産業課	1	0	1	0	3	3	6	0	14
土木港湾課	0	1	4	0	4	6	12	2	29
合計	3	1	7	1	7	21	18	3	61

(注) 海区職員(1)は除く。

6. 都有財産

(平成26年9月30日現在)

種類	分類	種 目	数 量	価 格 (単位：千円)
土 地	行 政 財 産	三宅支庁 職 員 公 舎 敷 地	6ヶ所 13,199.97㎡	61,667
		三宅支庁 庁 舎 敷 地	2ヶ所 11,379.78㎡	12,374
	普 通 財 産	三宅支庁 職 員 公 舎 敷 地	1ヶ所 1,067.12㎡	500
小 計			9ヶ所 25,646.87㎡	74,541
建 物	行 政 財 産	事 務 所 建	2棟 2,512.63㎡	735,910
		住 宅 建	9棟 4,292.54㎡	880,986
		車 庫 建	2棟 422.20㎡	249,308
		倉 庫 建	4棟 58.84㎡	8,688
		雑 屋 建	1棟 108.00㎡	47,266
小 計			18棟 7,394.21㎡	1,922,158
工 作 物	行 政 財 産	か こ い	1ヶ所 20.00m	283
		鉄 塔 や ぐ ら	1基 25.65m	34,395
小 計				34,678
合 計				2,031,377

※価格については、百位の値を四捨五入処理している。

7. 支庁関係予算

(1) 歳入

(ア) 一般会計

平成26年9月30日作成

(単位：円)

科目	年度 区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		決算額	構成比 (%)	指数 (%)	決算額	構成比 (%)	指数 (%)	決算額	構成比 (%)	指数 (%)
都 税		134,195,909	87.4	100.0	157,888,187	88.9	117.7	127,226,062	86.00	94.8
分担金及び負担金		0	—	—	0	—	—	0	—	—
使用料手数料		12,367,908	8.1	100.0	11,949,682	6.7	96.6	12,240,044	8.27	99.0
財産収入		4,168,800	2.7	100.0	4,251,600	2.4	102.0	4,308,200	2.91	103.3
諸収入		2,838,295	1.8	100.0	3,514,228	2.0	123.8	4,165,173	2.82	146.7
計		153,570,912	100.0	100.0	177,603,697	100.0	115.6	147,939,479	100.0	96.3

(イ) 母子福祉貸付資金会計

返 還 金	637,724	—	100.0	221,668	—	34.8	124,432	—	19.5
-------	---------	---	-------	---------	---	------	---------	---	------

※指数は平成23年度を100.0とする

(2) 歳出

(ア) 一般会計

平成26年9月30日作成

(単位：円)

科目	年度 区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		決算額	構成比 (%)	指数 (%)	決算額	構成比 (%)	指数 (%)	決算額	構成比 (%)	指数 (%)
総 務 費		70,512,052	2.51	100.0	38,550,717	1.45	54.7	46,895,731	1.73	66.5
徴 税 費		6,476,524	0.23	100.0	6,230,809	0.23	96.2	6,016,433	0.22	92.9
都市整備費		0	—	—	0	—	—	37,480	0.01	皆増
環 境 費		65,746,982	2.34	100.0	31,306,367	1.18	47.6	49,783,958	1.84	75.7
福祉保健費		61,697,319	2.20	100.0	66,795,232	2.51	108.3	68,377,643	2.52	110.8
産業労働費		416,242,511	14.82	100.0	437,930,636	16.47	105.2	502,032,207	18.51	120.6
土 木 費		2,021,744,516	71.96	100.0	1,853,726,507	69.71	91.7	1,798,772,635	66.32	89.0
港 湾 費		167,168,765	5.95	100.0	224,543,990	8.44	134.3	240,163,643	8.86	143.7
諸支出金		0	—	—	0	—	—	0	—	—
計		2,809,588,669	100.0	100.0	2,659,084,258	100.00	94.6	2,712,079,730	100.00	96.5

(イ) 母子福祉貸付資金会計

貸 付 金	0	—	100.0	83,450	100.00	皆増	36,020	100.00	皆増
-------	---	---	-------	--------	--------	----	--------	--------	----

※指数は平成23年度を100.0とする

8. 都 税

(1) 調定収入額調 (平成25年度決算分)

(単位：円、%)

区 分 税 目		調 定 額				収 入 額				収 入 歩 合			
		現年課税分	件数	滞納繰越分	件数	現年課税分	件数	滞納繰越分	件数	現年	件数	滞納	件数
都 民 税	個 人	111,275,620	9,898	25,881,966	2,892	106,949,421	2,629	9,362,902	391	96.1	26.6	36.2	13.5
	法 人	3,200,500	118	98,600	4	3,200,500	118	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
	小 計	114,476,120	10,016	25,980,566	2,896	110,149,921	2,747	9,362,902	391	96.2	27.4	36.0	13.5
事 業 税	個 人	1,274,200	28	29,800	2	1,269,200	27	29,800	2	99.6	96.4	100.0	100.0
	法 人	3,480,400	28	25,500	1	3,480,400	28	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
	小 計	4,754,600	56	55,300	3	4,749,600	55	29,800	2	99.9	98.2	53.9	66.7
不動産取得税		410,700	11	0	0	410,700	11	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
自 動 車 税		1,673,700	48	3,185,900	81	1,306,200	37	1,197,165	31	78.0	77.1	37.6	38.3
軽油引取税		3,274	1	0	0	3,274	1	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
狩 猟 税		16,500	1	0	0	16,500	1	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
合 計		121,334,894	10,133	29,221,766	2,980	116,636,195	2,852	10,589,867	424	96.1	28.1	36.2	14.2

9. 防災対策

当支庁管内は、毎年夏から秋にかけて台風の通路にあたることが多く、また、火山・地震・津波等による自然災害が多く発生する地域である。平成12年9月4日以降、噴火による降灰や泥流災害、火山ガスからの危険を回避するため、全島民に対して出されていた避難指示は平成17年2月1日に解除された。

災害の発生予知及び発生時における防災対策として、東京都災害対策本部条例等に基づき、三宅地方隊を設置し、村及び防災関係機関と協力し管内住民の安全と財産保全に努めることとされている。

特に、三宅島は伊豆諸島の中でも噴火回数の多い火山島であり、昭和15年7月、昭和37年8月、島の東側赤場暁付近で噴火、昭和58年10月には雄山中腹の割れ目噴火による溶岩流で、阿古地区の集落埋没という大きな被害を蒙った。そして、今回の雄山の火山活動は、島全体に甚大な被害をもたらし、今も活発な活動を続け多量の火山ガスを放出し続けている。このような噴火及び台風災害等の自然災害に対する防災対策は、支庁はもちろん、三宅村が抱える最重要な課題である。

三宅村及び三宅支庁はこれらの教訓を踏まえ、四者連絡会（三宅支庁、三宅村、三宅島警察署、三宅島火山防災連絡事務所）の協力のもとに、平成6年度より噴火災害を想定した防災訓練を3地区に分けて毎年実施してきた（平成6年度…神着・伊豆・伊ヶ谷地区、7年度…坪田地区、8年度…阿古地区）ところである。そして、平成12年度には、東京都と協力して大規模防災訓練を計画したが、今回の雄山の火山活動により中止を余儀なくされた。

情報連絡体制の強化としては、平成9・10年度に四者連絡会の構成機関をはじめ防災関係機関の協力を得て災害対策本部・地方隊設置運営及び情報連絡（通信）訓練を重点に実施した。

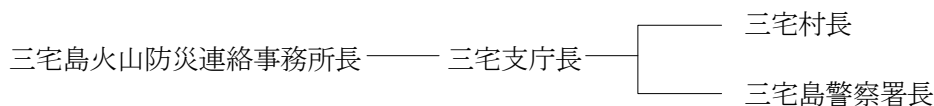
また、三宅村では予想される伊豆諸島海域及び東海沖地震による津波災害を含むあらゆる大規模自然災害や、弾道ミサイル攻撃等の緊急情報を通信衛星ネットワークに接続された防災行政無線を利用して、住民に瞬時に伝達することが出来る全国瞬時警報システム（J-ALERT）を導入し、平成20年4月1日より運用を開始している。

参 考

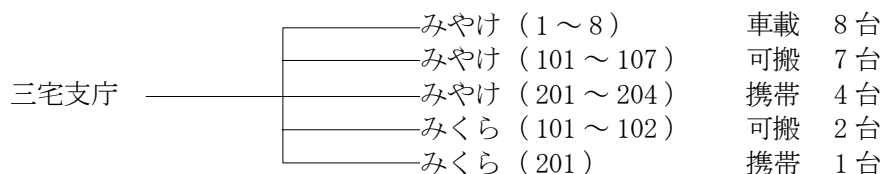
1 四者連絡会

目 的 火山活動・台風等に関する各種情報の収集を円滑にし、発災時に於ける関係機関の諸機能及び協力体制を効果的に発揮させる。

連絡網



2 防災行政無線陸上移動局



11. 平成26年度 支庁管内主要行事等

(11～3月は予定)

月	村関係・台風等	行事関係 (都・支庁後援)	都・支庁関係	汚職防止、安全衛生、互助会イベント等
4月	4/7 御蔵島小・中学校入学式 4/9 三宅小・中学校入学式 4/9 三宅高校入学式		4/3 支庁赴任職員研修 4/3 リスクコミュニケーション研修 支庁組織目標策定・各課組織目標策定	4/11 春の交通安全講習会 4/11 汚職等非行防止研修 4/11 第1回安全衛生委員会
5月	5/13 第2回臨時会(三宅) (第1回は1/17に開催) 5/31 御蔵小中学校運動会		幹部職員自己申告(当初申告) 5/25 管理職試験	
6月	村議会定例会(6/26三宅、6/10御蔵)	6/7～6/29(の土日) メガネ岩ダイビング	6/3 管内事業説明会(御蔵島村) 6/6 管内事業説明会(三宅村) 6/10 四支庁総務課長会(都庁) 6/10 組織ヒアリング(都庁) 一般職員自己申告(当初申告) 6/20 支庁防災訓練①	6/10～13 X線撮影 6/10～13 一般検診 6/26 正・副安全運転管理者講習会 6/27 第2回安全衛生委員会
7月	7/8 第1回臨時会(御蔵)	7/19～20 牛頭天王祭	7/14～16 四支庁港湾課長会(三宅支庁) 7/25 四支庁長会(都庁)	7/22 第1回汚職等非行防止委員会 7/28 第3回安全衛生委員会 第1回破傷風予防接種
8月		8/2～3 マリンスコーレ21 8/9～11 WIRIDE親子サマーキャンプ 8/17 第1回島市	8/27 支庁防災訓練②	8/23 互助会浜遊び 8/24 第4回安全衛生委員会 第2回破傷風予防接種
9月	村議会定例会(9/18三宅、9/11御蔵) 9/28 御蔵島敬老祝賀会 9/28 三宅高校文化祭		9/28 主任級選考試験	9/6 互助会ソフトボール大会 9/16 汚職等非行防止研修 9/17 第2回汚職等非行防止委員会 9/25 秋の交通安全講習会
10月	10/5 三宅小中学校運動会 10/15 島しょ総合防災訓練 10/25 三宅村敬老の集い	10/4～10/26(の土日) メガネ岩ダイビング		10/17 第3回汚職等非行防止委員会 10/31・11/1 「こころとからだの健康づくり」支援事業
11月	11/2 三宅中学校学校祭	11/15 第2回島市 11/15・16 WERIDEエンデューロレース 11/22 産業祭	自己申告(中間)	11/8 互助会文化部イベント
12月	村議会定例会(三宅、御蔵)		12/4・5 四支庁土木課長会(三宅支庁) 12/10・11 第2回四支庁総務課長会(三宅支庁)	12/6 互助会ソフトバレー大会 第4回汚職等非行防止委員会
1月	1/3 成人式 御蔵・三宅村消防出初式	1/2 船祝い 鏡開き(柔剣道連盟) 三宅島警察署武道始め 商工会賀詞交歓会	三宅島空港消火救難訓練	普通救命講習I 支庁消火訓練
2月	2/1 村民の日(三宅)	各地区・初午祭	2/9～10 四支庁長会(三宅支庁) 幹部職員自己申告(最終申告) 赴任予定者説明会	第5回汚職等非行防止委員会
3月	村議会定例会(三宅、御蔵) 3/3 三宅高校卒業式 3/19 三宅中学校卒業式 3/20 御蔵島小中学校卒業式 3/24 三宅小学校卒業式	3/7 レディースラン 3/8 第4回島市	一般職員自己申告(最終申告) 職員住宅入居者選定委員会	

第 3 村 行 財 政

第3 村 行 財 政

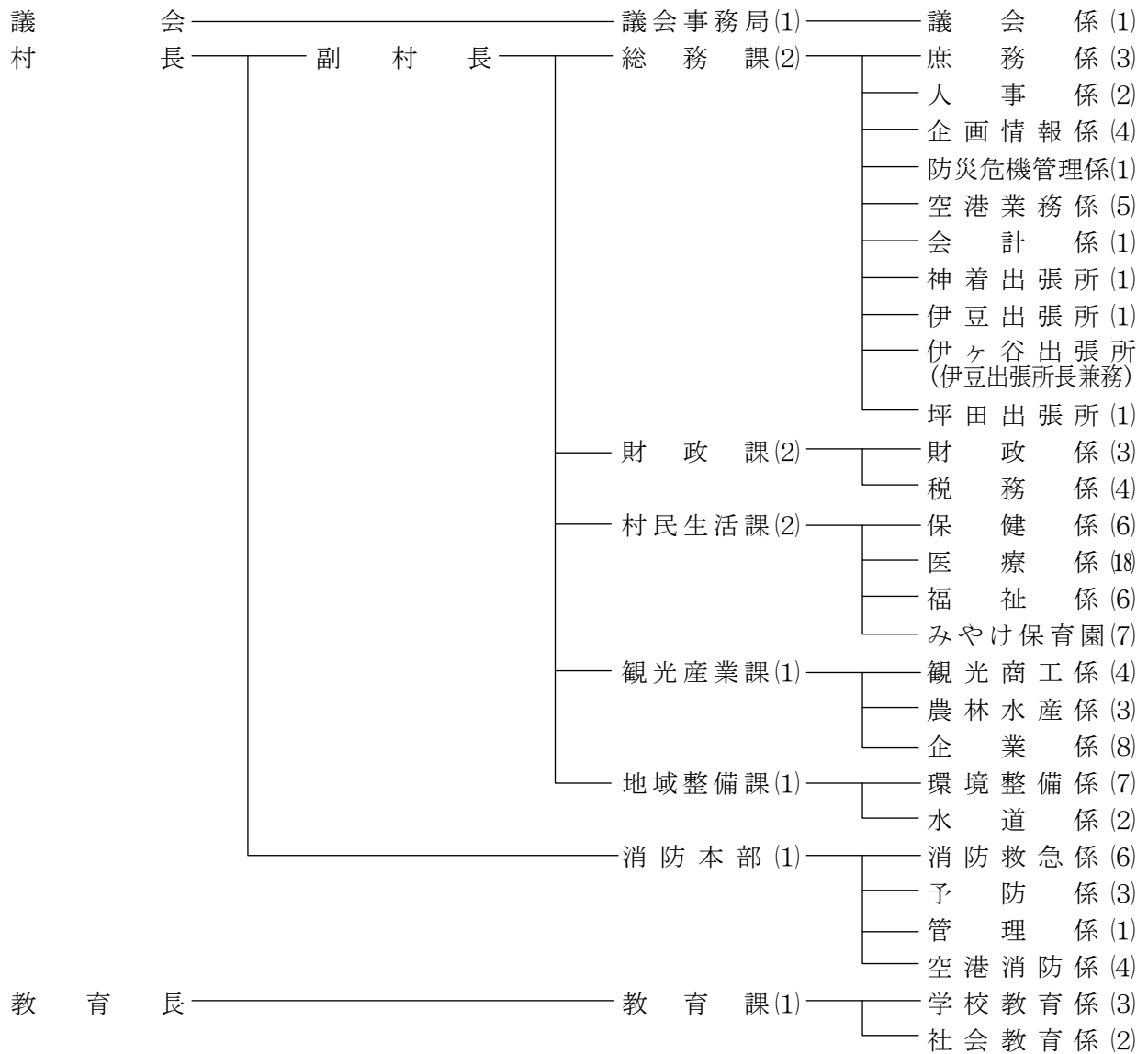
1. 行 政

(1) 議 会 (平成26年10月1日現在)

区 分	三 宅 村	御 蔵 島 村
法 定 数	14	12
条 例 定 数	8	6
現 員	8	5

(2) 行政機関 (平成26年10月1日現在)

ア 三宅村職員数：116名（3役除く）



2. 財 政

(1) 平成25年度一般会計決算（普通会計）の状況

ア 三宅村

(ア) 歳入の状況

(単位：千円、%)

科 目	区 分	25年度		24年度		対前年度増減額		増 減 率	
		決算額	構成比	決算額	構成比	25年度	24年度	25年度	24年度
地 方 税		333,789	8.4	348,808	9.1	△15,019	20,670	△4.5	5.6
地 方 譲 与 税		18,572	0.5	19,543	0.5	△971	△513	△5.2	△2.5
利 子 割 交 付 金		2,682	0.1	2,141	0.1	541	△232	20.2	△10.3
配 当 割 交 付 金		1,826	0.0	1,074	0.0	752	96	41.2	9.5
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		2,382	0.1	273	0.0	2,109	△55	88.5	△24.4
地 方 消 費 税 交 付 金		30,500	0.8	30,762	0.8	△262	827	△0.9	2.8
自 動 車 取 得 税 交 付 金		11,395	0.3	11,721	0.3	△326	△2,253	△2.9	△21.7
地 方 特 例 交 付 金		119	0.0	167	0.0	△48	428	△40.3	6.0
地 方 交 付 税		1,389,074	35.0	1,366,830	35.7	22,244	△19,832	1.6	△1.4
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		1,372	0.0	1,480	0.0	△108	△37	△7.9	2.4
分 担 金 及 び 負 担 金		277	0.0		0.0	277	△571	100.0	△4.8
使 用 料		65,180	1.6	62,591	1.6	2,589	△34,790	4.0	△69.5
手 数 料		61,751	1.6	171,691	4.5	△109,940	85,073	△178.0	96.5
国 庫 支 出 金		71,004	1.8	81,223	2.1	△10,219	△718,166	△14.4	△629.4
都 支 出 金		1,252,761	31.6	1,295,935	33.9	△43,174	95,761	△3.4	6.6
財 産 収 入		20,997	0.5	14,266	0.4	6,731	10,150	32.1	48.1
寄 附 金		200	0.0	2,030	0.1	△1,830	△112,441	△915.0	△73490.8
繰 入 金		516,915	13.0	64,256	1.7	452,659	△357,134	87.6	△93.5
繰 越 金		49,639	1.3	84,247	2.2	△34,608	△293,097	△69.7	△593.0
諸 収 入		49,403	1.2	179,988	4.7	△130,585	783,855	△264.3	95.7
村 債		84,243	2.1	85,852	2.2	△1,609	△154,968	△1.9	△145.6
合 計		3,964,081	100.0	3,824,878	100.0	139,203	△697,229	3.5	△14.2

(イ) 歳出の状況

目的別内訳

(単位：千円、%)

科 目	区 分	25年度		24年度		対前年度増減額		増 減 率	
		決算額	構成比	決算額	構成比	25年度	24年度	25年度	24年度
議 会 費		50,678	1.3	52,434	1.4	△1,756	14,684	△3.5	22.5
総 務 費		623,605	16.3	700,941	19.1	△77,336	△153,996	△12.4	△11.3
民 生 費		458,528	12.0	512,259	13.9	△53,731	△19,648	△11.7	△3.9
衛 生 費		644,012	16.9	514,891	14.0	129,121	△735,339	20.0	△166.4
労 働 費		46,560	1.2	0	0.0	46,560	0	0.0	0.0
農 林 水 産 業 費		272,176	7.1	211,431	5.8	60,745	△4,228	22.3	△2.1
商 工 費		265,512	6.9	364,279	9.9	△98,767	△72,696	△37.2	△21.4
土 木 費		316,041	8.3	307,450	8.4	8,591	37,752	2.7	10.4
消 防 費		282,064	7.4	341,242	9.3	△59,178	137,302	△21.0	31.0
教 育 費		430,237	11.3	304,005	8.3	126,232	104,813	29.3	27.0
災 害 復 旧 費		65,652	1.7	17,675	0.5	47,977	△146,226	73.1	△91.9
公 債 費		313,320	8.2	305,728	8.3	7,592	△1,765	2.4	△0.6
諸 支 出 金		52,876	1.4	42,904	1.2	9,972	117	18.9	0.3
合 計		3,821,261	100.0	3,675,239	100.0	146,022	△839,230	3.8	△18.2

イ 御蔵島村

(7) 歳入の状況

(単位：千円、%)

科目	25年度		24年度		対前年度増減額		増減率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	25年度	24年度	25年度	24年度
地方税	50,201	4.1	56,769	4.6	△6,568	1,426	△11.6	2.6
地方譲与税	1,495	0.1	1,573	0.1	△78	△113	△5.0	△6.7
利子割交付金	340	0.0	257	0.0	83	1	32.3	0.4
地方消費税交付金	4,486	0.4	4,524	0.4	△38	181	△0.8	4.2
配当割交付金	235	0.0	130	0.0	105	16	80.8	14.0
株式等譲渡所得割交付金	312	0.0	33	0.0	279	7	845.5	26.9
地方特例交付金	0	0.0	49	0.0	△49	△2,706	△100.0	△98.2
地方交付税	469,327	38.0	476,450	39.0	△7,123	99,708	△1.5	26.5
自動車取得税交付金	917	0.1	943	0.1	△26	107	△2.8	12.8
使用料	18,340	1.5	48,739	4.0	△30,399	△4,276	△62.4	△8.1
手数料	195	0.0	254	0.0	△59	42	△23.2	19.8
国庫支出金	13,613	1.1	10,956	0.9	2,657	213	24.3	2.0
都道府県支出金	378,731	30.7	366,310	30.0	12,421	△58,756	3.4	△13.8
財産収入	2,188	0.2	2,177	0.2	11	1,311	0.5	151.4
分担金及び負担金	1,195	0.1	1,195	0.1	0	0	0.0	0.0
繰入金	133,000	10.8	112,000	9.2	21,000	△8,000	18.8	△6.7
繰越金	23,005	1.9	19,100	1.6	3,905	△4,967	20.4	△20.6
諸収入	113,742	9.2	93,228	7.6	20,514	1,681	22.0	1.8
地方債	23,000	1.9	28,200	1.9	△5,200	△800	△18.4	△2.8
合計	1,234,322	100.0	1,222,887	100.0	11,435	25,075	0.9	2.1

(イ) 歳出の状況

科目	25年度		24年度		対前年度増減額		増減率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	25年度	24年度	25年度	24年度
議会費	17,300	1.4	18,127	1.5	△827	△1,988	△4.6	△9.9
総務費	627,057	52.0	631,776	52.7	△4,719	111,141	△0.7	21.3
民生費	112,464	9.3	111,167	9.3	1,297	△2,536	1.2	△2.2
衛生費	65,421	5.4	70,464	5.9	△5,043	△56,803	△7.2	△44.6
労働費	0	0.0	0	0.0	0	0		
農林水産業費	108,111	9.0	77,816	6.5	30,295	12,480	38.9	19.1
商工費	60,507	5.0	70,896	5.9	△10,389	△3,330	△14.7	△4.5
土木費	72,221	6.0	70,030	5.8	2,191	△36,412	3.1	△34.2
消防費	18,590	1.5	15,827	1.3	2,763	5,178	17.5	48.6
教育費	79,113	6.6	87,295	7.3	△8,182	△5,497	△9.4	△5.9
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0		
公債費	44,731	3.7	46,484	3.9	△1,753	△1,063	△3.8	△2.2
諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	0		
合計	1,205,515	100.0	1,199,882	100.0	5,633	21,170	0.5	1.8

(2) 村税賦課徴収等の状況 (平成26年5月現在)

ア 三宅村

(単位：千円、%)

税 目			区 分		調 定 額		収 入 額		収入歩合	
			現年課税分	滞納繰越分	現年課税分	滞納繰越分	現 年	滞 納		
普 税	村 民 税	個 人	148,783	31,394	141,041	3,688	94.8	11.7		
		法 人	9,529	4,220	9,529	656	100.0	15.5		
	計	158,312	35,614	150,570	4,344	95.1	12.2			
通 定 税	固 資 産 税	純固定資産税	115,758	34,194	110,984	1,494	95.9	4.4		
		交 付 金	18,612	0	18,612	0	100.0	—		
		計	134,370	34,194	129,596	1,494	96.4	4.4		
税	軽 自 動 車 税		8,497	7,525	7,957	164	93.6	2.2		
	た ば こ 税		36,362	0	36,362	0	100.0	—		
	特 別 土 地 保 有 税		0	0	0	0	—	—		
	入 湯 税		3,302	0	3,302	0	100.0	—		
	合 計		340,843	77,333	327,787	6,002	96.2	7.8		
	国 民 健 康 保 険 税		52,902	97,865	47,673	10,855	90.1	11.1		

イ 御蔵島村

(単位：千円、%)

税 目			区 分		調 定 額		収 入 額		収入歩合	
			現年課税分	滞納繰越分	現年課税分	滞納繰越分	現 年	滞 納		
普 税	村 民 税	個 人	20,370	888	20,092	155	98.6	17.5		
		法 人	1,824	0	1,824	0	100.0			
	計	22,194	888	21,916	155	98.7	17.5			
通 定 税	固 資 産 税	純固定資産税	23,859	0	23,859	0	100.0			
		交 付 金	515	0	515	0	100.0			
		計	24,374	0	24,374	0	100.0			
税	軽 自 動 車 税		753	37	753	0	100.0			
	た ば こ 税		3,003	0	3,003	0	100.0			
	特 別 土 地 保 有 税		0	0	0	0				
	入 湯 税		0	0	0	0				
	合 計		50,324	925	50,046	155	99.4	16.8		
	国 民 健 康 保 険 税		10,241	156	10,080	78	98.4			

平成25年度 主要建設事業一覧表（三宅村）

（単位：千円）

補助 単独別	事業名	事業量	事業費	財源内訳				
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源
単独	火葬場改修工事	施設全体大規模改修工事	59,092		48,890			10,202
単独	クリーンセンター施設設備整備	バーナ、炉内耐火物補修、ガス冷却室及び減温塔、ろ過式集じん装置整備他	37,060		31,936		1,575	3,549
補助	カヤバ線農道改修工事	施工延長 L=340m	19,422		18,110			1,312
補助	笠地ストックマネジメント事業	パイプライン敷設 L=2,383m	41,545		38,967			2,578
単独	緑化対策植栽事業	種苗確保・伐採・植栽	20,726		16,511		1,500	2,715
単独	橋の平線農道整備	施工延長 L=316m	15,044		13,116			1,928
単独	阿古畜養施設改修工事	屋根・壁ストレート改修、電気設備改修、ポンプ設備改修他	15,594		14,333			1,261
単独	火山観光事業	休憩所、野鳥観察小屋、野鳥池、野鳥観察壁等整備	40,703		36,652			4,051
単独	三宅村レクリエーションセンター屋根改修	屋根改修工事一式	32,899		28,350			4,549
補助	下原団地1号棟2号棟改修工事	給湯設備取替、浴槽取替、屋根防水改修等	22,373	4,833	11,329		6,211	
単独	旧建材工場副産物処理事業	アスファルト、コンクリート建設副産物処理一式	39,478				39,478	
単独	伊豆海岸線改修工事	施工延長 L=79m	30,871		27,693			3,178
単独	村道大沢線改修工事	施工延長 L=94m	46,765		40,300			6,465
単独	阿古幹線1号線排水施設整備事業	排水施設整備	16,465		14,555			1,910
単独	排水施設整備事業	排水施設整備	13,455		11,596			1,859
補助	防火水槽(林野分)整備	防火水槽40m ³ 3基	16,246	5,517	9,450			1,279
単独	中学校グラウンド駐車場整備工事	中学校グラウンド駐車場整備工事一式	73,254		63,127			10,127
単独	坪田グラウンド補修工事	坪田グラウンド補修、付帯施設(ベース等)設置等	52,419		45,171			7,248

3. 選挙関係

(1) 有権者数

区分 投票所名	選挙人名簿 (平成26年9月2日)			東京海区漁業調整委員会委員 選挙人名簿 (平成25年9月1日)			農業委員会委員選挙人名簿 (平成26年7月31日)				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	世帯数	
三宅村	神着投票区	317	256	573	31	3	34	36	59	95	65
	伊豆投票区	136	142	278	12	0	12	29	50	79	59
	伊ヶ谷投票区	83	60	143	8	0	8	27	33	60	43
	阿古投票区	455	382	837	35	1	36	78	109	187	140
	坪田投票区	307	257	564	23	0	23	61	80	141	96
合	1,298	1,097	2,395	109	4	113	231	331	562	403	
御蔵島村	127	113	240	56	0	56	33	8	41	40	

4. 消防の現況

消防団及び消防装備、施設の状況（平成26年4月1日現在）

区分	分団別	三宅村							御蔵島村	合計		
		消防本部	消防団本部	神着分団	伊豆分団	伊ヶ谷分団	阿古分団	坪田分団			計	
団員数			3	29	13	17	32	26	(150) 120	(35) 33	(185) 153	
消防吏員		(15) 13							(15) 13		(15) 13	
ポンプ数	ガンリンポンプ	消防ポンプ自動車	0		1	1	0	1	1	4	0	4
		小型動力ポンプ	0		4	1	3	4	4	16	5	21
		小型動力ポンプ付積載車	0		1	1	1	1	1	5	2	7
		水槽付ポンプ自動車	1		0	0	0	0	0	1	0	1
		化学消防車	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1		6	3	4	6	6	26	7	33	
消火設備	消防栓	0		0	0	0	0	0	0	29	29	
	防火水槽			24	14	11	30	30	109	6	115	
	計			24	14	11	30	30	109	35	144	

※ 団員数欄の（ ）内は条例定数である。

5. 外国人住民数

（平成26年7月1日現在）

村別	性別		
	男	女	合計
三宅村	8	38	46
御蔵島村	0	1	1
合計	8	39	47

第 4 離 島 振 興 事 業

第 4 離島振興事業

離島振興事業計画（実施計画）個表（一括計上事業）

島名	事業項目	事業細目	箇所名	施工地又は 受益地	事業 主体	着工 年度	完了 年度	全体計画		
								事業費	国費	
三宅島	砂防	火山砂防	姉川	三宅村	都	H15	H30	1,178,000	647,900	
			ようが沢	三宅村	都	H15	H30	538,000	295,900	
			釜の尻沢	三宅村	都	H12	H30	2,126,000	1,169,300	
			筑穴ヶ沢	三宅村	都	H13	H30	2,602,000	1,431,100	
			鉄砲沢・夕景沢	三宅村阿古	都	H18	H28	2,840,000	1,562,000	
			田ヶ沢	三宅村坪田	都	H22	H29	1,528,000	840,400	
			西川西支川	三宅村	都	H25	H28	110,000	60,500	
			タデノ沢北支川	三宅村	都	H25	H28	120,000	66,000	
			厚木沢北支川	三宅村	都	H25	H28	310,000	170,500	
			三宅島一円	三宅村	都	H20	H29	2,580,000	1,419,000	
	砂 防 計								13,932,000	7,662,600
	港湾	地方港湾	三池港	三宅村沖ヶ平	都	S55	H31	14,257,399	10,924,479	
	水産基盤	水産生産	阿古漁港	三宅村阿古	都	S26	H33	3,931,000	3,222,616	
			坪田漁港	三宅村坪田	都	S28	H29	1,171,796	937,436	
			伊ヶ谷漁港	三宅村伊ヶ谷	都	S33	H29	6,620,937	4,615,789	
			大久保漁港	三宅村伊豆	都	S29	H29	1,241,715	993,372	
	水産基盤計								12,965,448	9,769,213
	海岸・港湾 海岸	港湾改修	三池港	三宅村沖ヶ平	都	H24	H30	750,044	375,022	
		浸食対策	三池港	三宅村坪田	都	H13	H30	2,010,000	1,105,500	
			三池港	三宅村坪田	都	H25	H27	170,000	93,500	
	港湾海岸計								2,930,044	1,574,022
	水道施設	生活基盤近代化	三宅村	三宅村	村	H26	H35	151,630	40,030	
			三宅村	三宅村	村	H26	H35	222,480	57,732	
	治山	復旧治山	三池	坪田	都	H24	H28	344,164	189,290	
	道路	道路	三池島循環	三宅村坪田	都	H22	H29	1,282,000	705,100	
			三池島循環	三宅村坪田	都	H25	H31	980,000	539,000	
			三池島循環	三宅村伊ヶ谷	都	H23	H26	259,000	142,450	
三池島循環			三宅村神着～三宅村神着	都	H26	H30	65,000	35,750		
道路計								2,586,000	1,422,300	
農業農村整備	震災対策農業水利施設設備事業	三宅村	三宅村	都	H26	H26	741	741		
農業農村整備	水利施設整備事業	笠地	三宅村阿古他	村	H23	H27	168,000	92,400		
漁港海岸	浸食対策	阿古漁港	三宅村阿古	都	H26	H30	592,858	326,071		
三宅島合計								48,150,764	32,058,878	
御蔵島	港湾	地方港湾	御蔵島港	御蔵島村里浜	都	H6	H43	26,813,417	19,835,119	
	港湾	港湾改修	御蔵島港	御蔵島村里浜	都	H21	H29	363,896	181,948	
	道路	道路	御蔵島循環線	御蔵島港～御蔵島村	都	H26	H30	72,000	39,600	
	廃棄物処理	浄化槽設置整備	御蔵島村	御蔵島村	村	H22	H27	6,000	3,000	
御蔵島合計								27,255,313	20,059,667	

(千円)

残事業		25年度				26年度事業計画（実施計画）					備考
事業費	国費	当初		補正後		事業費	国費	都費	町村費	その他	
		事業費	国費	事業費	国費						
1,076,000	591,800	0	0			102,000	56,100	45,900			
315,000	173,250	0	0			119,000	65,450	53,550			
1,924,000	1,058,200	0	0			167,000	91,850	75,150			
2,404,000	1,322,200	0	0			119,000	65,450	53,550			
1,126,800	619,740	160,000	88,000			56,000	30,800	25,200			
1,288,000	708,400	140,000	77,000			0	0	0			
108,000	59,400	0	0			2,000	1,100	900			
118,000	64,900	0	0			2,000	1,100	900			
252,000	138,600	0	0			2,000	1,100	900			
1,574,000	865,700	130,000	71,500			120,000	66,000	54,000			
10,185,800	5,602,190	430,000	236,500	0	0	689,000	378,950	310,050	0	0	
1,336,183	1,068,946	550,000	440,000			520,000	416,000	104,000			
1,571,500	1,154,614	1,163,500	986,700			111,001	74,000	37,001			
150,000	120,000	5,000	4,000			138,750	111,000	27,750			
500,000	400,000	0	0			290,000	232,000	58,000			
171,000	136,800	0	0			160,000	128,000	32,000			
2,392,500	1,811,414	1,168,500	990,700	0	0	699,751	545,000	154,751	0	0	
487,448	243,724	50,000	25,000			120,000	60,000	60,000			
386,136	212,374	200,000	110,000			200,000	110,000	90,000			
44,000	24,200	20,000	11,000			10,000	5,500	4,500			
917,584	480,298	270,000	146,000	0	0	330,000	175,500	154,500	0	0	
121,304	32,024					15,163	4,003	7,369	3,791		
177,984	46,986					22,248	4,873	11,813	5,562		
55,000	30,250	65,000	35,750			85,000	46,750	38,250			
344,000	189,200	34,910	19,200			12,000	6,600	5,400			
536,000	294,800	3,000	1,650			6,000	3,300	2,700			
50,000	27,500	50,000	27,500			20,000	11,000	9,000			
35,000	11,000					0	0	0			
965,000	522,500	87,910	48,350	0	0	38,000	20,900	17,100	0	0	
						741	741				
56,172	30,894	40,000	22,000			34,000	18,700	6,800	8,500		
282,858	155,571					10,000	5,500	4,500			
16,490,385	9,781,073	2,611,410	1,919,300	0	0	2,443,903	1,616,917	809,133	17,853	0	
15,748,800	11,935,440	700,000	560,000			578,000	450,800	127,200			
190,000	95,000	15,000	7,500			10,000	5,000	5,000			
52,000	17,050					20,000	11,000	9,000			
0	0	1,800	0			450	0	225	225		
15,990,800	12,047,490	716,800	567,500	0	0	608,450	466,800	141,425	225	0	

離島振興事業計画（実施計画）個表（一括計上外事業）

島名	事業項目	箇所名	施工地又は 受益地	事業 主体	着工 年度	完了 年度	全体計画		
							事業費	国費	
三 宅 島	離島活性化交付金（流通効率化事業含む）	三宅村	三宅村	協議会	H25	H28	11,958	2,940	
	医療施設等 設備整備費	国民健康保険直営診療施設等施設整備助成	三宅村	村					
		へき地診療所施設等整備費補助	三宅村	村					
	医療施設等整備整備費計							0	0
	消防	三宅村	坪田	村	H26	H26	3,256		
		三宅村	阿古	村	H26	H26	18,174	5,676	
	消防計							21,430	5,676
	へき地児童生徒 援助費補助金	三宅村	三宅村	村	H26	H26	2,924	1,949	
農業・林業・水産 業関係交付金(指 定事業を除く)	水産業強化対策事業	三宅村阿古	都	H26	H26	164,000	82,000		
三宅島合計							200,312	92,565	
御 蔵 島	離島漁業再生 支援交付金	御蔵島村	御蔵島村	村	H26	H26	3,264	1,632	
	医療施設等設 備整備費	へき地診療所施設等 整備費補助	御蔵島村	村					
	へき地児童生徒 援助費等補助金 のうち離島高校 生修学支援事業	御蔵島村	内地及び八丈島	村	H26	H26	1,200	600	
	へき地児童生徒 援助費等補助金	御蔵島村	御蔵島村	村	H26	H26	700	466	
御蔵島合計							5,164	2,698	

(千円)

残事業		25年度				26年度事業計画（実施計画）					備考
事業費	国費	当初		補正後		事業費	国費	都費	町村費	その他	
		事業費	国費	事業費	国費						
9,000	1,966	3,000	983			3,000	983	0	2,017		
		3,150	1,050			1,490	496	496	498		
						445	297	148	0		
0	0	3,150	1,050	0	0	1,935	793	644	498	0	
						3,756	0	600	3,156		
						15,618	5,676	3,441	6,501		
						19,374	5,676	4,041	9,657	0	
						2,924	1,949		975		
						164,000	82,000	82,000			
9,000	1,966	6,150	2,033			191,233	91,401	86,685	13,147		
						3,264	1,632	816	816		
						5,499	3,666	1,833			
						1,200	600		600		
						700	466		234		
0	0	0	0	0	0	10,663	6,364	2,649	1,650	0	

第5 社 会 福 祉

第5 社会福祉

1. 組織及び特殊性

昭和26年10月社会福祉事業法の施行により、三宅福祉事務所が設置された。

昭和28年三宅支庁福祉課に統合、さらに昭和30年三宅支庁総務課福祉係となり、現在に至っている。なお、当係は「東京都の福祉に関する事務所設置条例」に規定する福祉事務所である。

当福祉事務所の対象地区は三宅村及び御蔵島村で、人口は平成26年4月1日現在、三宅村2,686人、御蔵島村289人、合計2,973人が生活している。離島という地理的条件から都内の社会資源の活用が困難であり、福祉需要への対応が制限される状況が続いている。

管内は生活保護の基準でいう3級地-1で、産業は農林水産業を基調に、観光に関連した第3次産業が中心で独自の地場産業比重が小さく、内地の景気変動・観光産業の影響を受けやすく、就労も不安定で住民の生活基盤は脆弱である。

平成5年4月に老人福祉法及び身体障害者福祉法に関する事務、また、平成15年4月に知的障害者福祉法に関する事務が町村に移譲され、当福祉事務所は、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法に係る事務を所掌し、併せて両村に対する指導・助言を行っている。

平成12年の介護保険制度の創設、平成18年の「障害者自立支援法」の施行等、大きな制度改正が進行する時期にあって、三宅島の噴火災害による平成12年9月から4年6月に及ぶ全島避難は、三宅村における福祉状況に大きな影響を及ぼしている。

平成17年2月1日に避難指示が解除となったが、帰島者に占める高齢者の割合が高く、高齢化率が上昇している。特別養護老人ホームは平成19年4月に再開した。

4年余の地域福祉施策の空白期間を経て、平成17年度に村の保健福祉総合計画、介護保険事業計画が策定されたが、介護保険・自立支援制度共に、在宅サービスの充実が大きな課題となっている。

サービス提供事業者の安定確保、人材育成など小離島特有の困難を克服し、地域に密着した福祉サービスの提供体制を築いていくことが求められている。

2. 生活保護

(1) 概況

生活保護法の適用者は、平成26年4月1日現在で72世帯91人である。保護率は27.0%であり、前年27.7%とおおむね同程度で、全都の保護率（17.0%）よりも上回っている。

長期的にみると、制度発足以来全国、全都を上回る保護率で推移してきたが、昭和40年の58%を最高値として一貫して減少し、平成7年以降は全都を下回る保護率が平成12年の避難時まで続いた。避難時被保護世帯は17世帯20名であったが、生活手段を失った避難中に保護率が上がり、最高時（H15.11）は102世帯142名となった。避難指示解除時（H17.2）は96世帯131名であった。

被保護世帯の帰島状況は、1/2が帰島、1/4が帰島せずに都内区市に転居、残り1/4が島外の病院・施設に入院・入所中となっている。帰島後、一時金の収入認定等の理由により廃止となる世帯が多く、平成17年度中に世帯数は大きく減じた。（平成17年度中の保護開始件数は18件、保護廃止件数は70件。）

世帯類型別で見ると、高齢者世帯の割合が52.8%と高い。今後も高齢者世帯の傷病、介護を理由とする保護開始の増加が見込まれるが、稼働年齢層でありながら、傷病、障害による保護申請が増加する可能性も否定できない。

(注) 保護率は‰パーミル（人口1,000人当り）

(2) 地区、扶助の種類別世帯と人員

(平成26年4月月中)

区 分	三 宅 村							御蔵島村	合 計
	神 着	伊 豆	伊ヶ谷	阿 古	坪 田	島 外	計		
世 帯	8	9	2	37	7	9	72	0	72
人 員	10	9	3	51	7	11	91	0	91

区 分		生 活	教 育	住 宅	介 護	医 療	就 学
三 宅 村	世 帯	58	2	41	24	68	0
	人 員	72	2	54	24	78	0
御 蔵 島 村	世 帯	0	0	0	0	0	0
	人 員	0	0	0	0	0	0
合 計	世 帯	58	2	41	24	68	0
	人 員	72	2	54	24	78	0

※ 医療単給1世帯

(3) 施設、居宅別介護扶助人員

(平成25年4月月中)

区 分	施 設 介 護				居宅 介護	合計	比率 (%)
	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計			
介護扶助単給	0	0	0	0	0	0	0.0
併給 医療扶助併給のみ	7	1	0	8	1	9	47.4
併給 その他の併給	1	0	0	1	9	10	52.6
合 計	8	1	0	9	10	19	100
比率(%)	42.1	5.3	0	47.4	52.6	100	

(4) 入院、外来、病類別医療扶助人員

(平成25年4月月中)

区 分	単 給			併 給			合 計		
	精 神	そ の 他	計	精 神	そ の 他	計	精 神	そ の 他	計
入 院	1	1	2	1	12	13	2	13	15
外 来	0	0	0	0	63	63	0	63	63
計	1	1	2	1	75	76	2	76	78
比 率(%)	1.3	1.3	2.6	1.3	96.2	97.4	2.6	97.4	100

(5) 労働類型別被保護世帯

(平成26年4月1日現在)

区 分	合 計	単 身 世 帯				2人以上世帯					労働類型の比率(%)
		小 計	高 齢	傷病・障害	そ の 他	小 計	高 齢	母 子	傷病・障害	そ の 他	
合 計	72	60	36	20	4	12	2	2	0	8	100
世帯主が働いている世帯	5	2	1	1	0	3	0	1	0	2	6.9
世帯員だけが働いている世帯	1	—	—	—	—	1	0	0	0	1	1.4
働いている者がいない世帯	66	58	35	19	4	8	2	1	0	5	91.7
世帯類型の比率(%)	100	87.9	53.0	28.8	6.1	12.1	3.0	1.5	0.0	7.6	

(6) 保護申請の状況

(各年度中)

年 度	申 請 件 数	開 始											取 下 げ	却 下		
		傷 病				高 齢			母 子			急 迫			そ の 他	合 計
		主入院	主病気	その他	計	単 身	その他	計	夫 死	その他	計					
21	17	0	5	0	5	4	0	4	0	1	1	0	4	14	2	1
22	18	2	4	0	6	3	2	5	0	0	0	1	6	18	1	2
23	18	1	4	0	5	6	0	6	0	0	0	0	4	15	0	3
24	15	0	3	0	3	6	0	6	0	1	1	2	1	13	0	2
25	15	0	5	1	6	3	1	4	0	0	0	0	2	12	0	1

(7) 保護廃止の状況

(各年度中)

年 度	原因別	収 入 増	傷病治ゆ	扶養活用	転 出	死 亡	そ の 他	移管	計
21		4	0	0	3	4	0		11
22		6	0	0	4	2	0		12
23		3	0	0	1	3	0		7
24		1	0	0	0	3	1	3	8
25		3	0	0	0	4	1		8

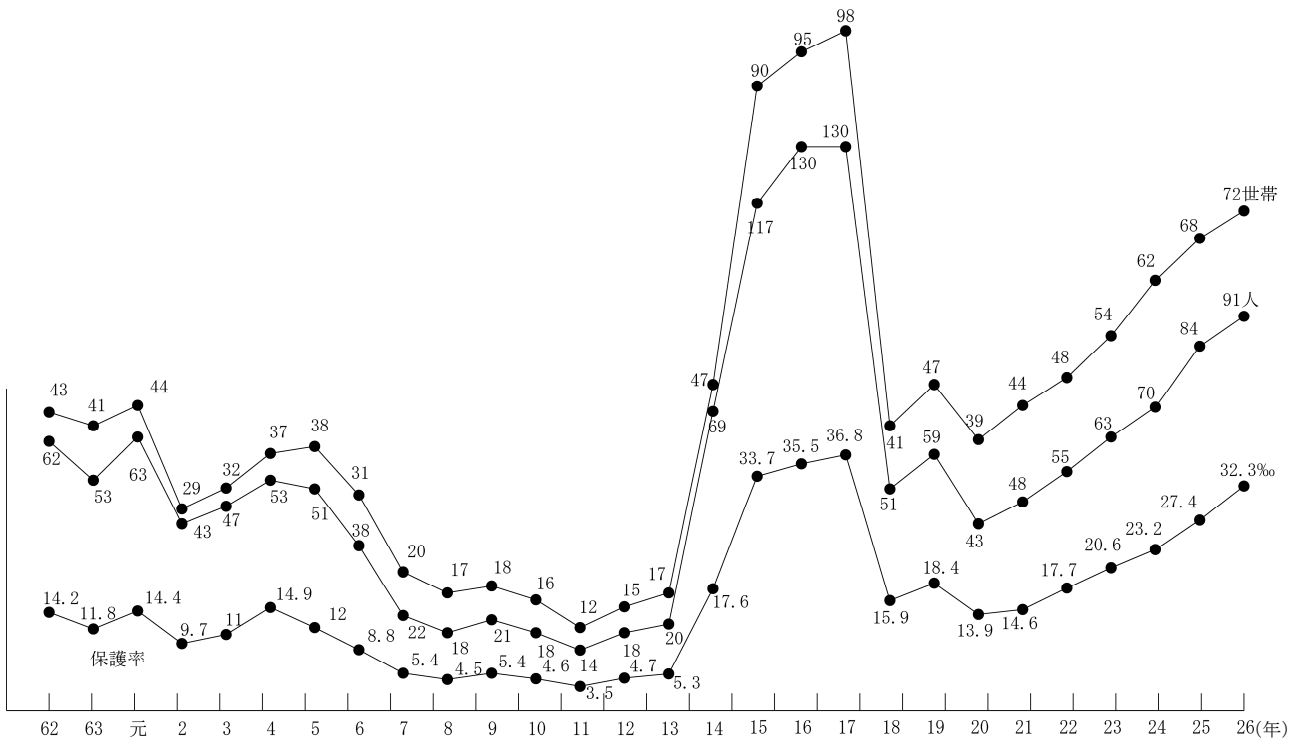
(8) 世帯類型

(各年4月1日)

年度 \ 区分		高 齢	母 子	傷病・障害	そ の 他	計
21	世 帯 数	25	0	14	5	44
	比 率 (%)	56.8	0	31.8	11.4	100
22	世 帯 数	26	0	15	7	48
	比 率 (%)	54.2	0	31.2	14.6	100
23	世 帯 数	31	0	16	7	54
	比 率 (%)	57.4	0	29.6	13.0	100
24	世 帯 数	37	1	17	7	62
	比 率 (%)	59.7	1.6	27.4	11.3	100
25	世 帯 数	36	2	20	10	68
	比 率 (%)	52.9	2.9	29.4	14.7	100
26	世 帯 数	38	2	20	12	72
	比 率 (%)	52.8	2.8	27.8	16.6	100

(9) 保護率等の推移

各年4月1日現在



(注)保護率は、保護人員を各年1月1日の住民人口で割った数値。

(10) 保護率の比較

(平成26年4月分)

区 分	人 口	被保護世帯数	被保護人員	保護率 ‰	
				26年	25年
全 国 計	127,140,000	1,600,241	2,159,847	17.0	15.8
都 計	13,321,447	226,761	292,782	22.1	22.0
区 部 計	9,095,384	171,405	217,774	23.9	23.9
市 部 計	4,141,887	54,232	74,435	18.0	17.8
郡 部 計	57,884	701	1,052	18.2	18.7
島 部 計	26,292	423	521	19.8	18.5
大 島 支 庁	12,687	166	211	16.6	16.0
三 宅 支 庁	2,852	72	92	32.3	27.5
八 丈 支 庁	7,951	165	198	24.9	22.8
小 笠 原 支 庁	2,801	19	20	7.1	8.3

(注) 人口・全国計は総務省人口統計(4/1概算) 都計以下は福祉保健局福祉行政統計、被保護世帯、人員、保護率は厚生労働省被保護者調査

3. 東京都三宅島災害被災者帰島生活再建支援金

平成12年以降の三宅島災害の継続により、村民が住宅等の生活基盤に著しい被害を受けていることから、経済的理由等によって自立して生活を再建することが困難な者に対して、帰島に際し住宅の修繕等について、150万円を上限に支援金を支給する都要綱(平成21年度まで都条例)を制定、支給事務を三宅支庁が行っている。なお、この支援金は平成26年度をもって廃止される予定となっている。

- ・平成16年度予算 6億円
- ・平成17年度予算 13億5千万円
- ・平成18年度予算 6億9千4百万円
- ・平成19年度予算 4千9百万円
- ・平成20年度予算 1千5百万円
- ・平成21年度予算 1千5百万円
- ・平成22年度予算 150万円
- ・平成23年度予算 150万円
- ・平成24年度予算 150万円
- ・平成25年度予算 150万円
- ・平成26年度予算 150万円

4. 児童福祉

児童及び妊産婦の福祉に関する実情の把握と相談事業を行っている。個別事業は妊産婦の福祉施策として、入院助産の相談受付、利用決定を行っている。

また、都児童相談センターと連携して年2回巡回相談を実施している。

(1) 児童の概要

(平成26年4月7日現在)

区分	0歳の児童 ～ 18歳まで 数 人	総児童数 に対する 比率 %	保育所入所 対象児 (三宅は1歳～5歳 (御蔵は3歳～5歳)		小学校 児童 人	中学校 生徒 人	高校 生徒 人	施設入所 (学)児 人	0歳～ 1歳まで 人
			入所児 人	未入所児 人					
三宅村	267	10.1	58	37	86	34	26	0	33
御蔵島村	52	18.1	9	1	12	8	0	0	13
計	319	10.9	67	38	98	42	26	0	46

(2) 児童福祉施設の状況

村立保育所が三宅村に1ヶ所(定員60名)、御蔵島村に1ヶ所(定員30名)ある。

5. ひとり親家庭福祉

(1) 概要

配偶者のない父母で、現に児童を扶養している者に対して身上相談に応じ、自立指導、助言を行うとともに、資金の貸付等を行ってひとり親家庭の福祉の増進に努めている。

(2) 母子福祉資金の貸付状況

(平成26年3月31日現在)

年度	資金別	修学資金	修学支度 資金	技能習得資金	就職支度 資金	計
	24	貸付件数	0件	0件	0件	0件
貸付金額		0円	0円	0円	0円	0円
25	貸付件数	0件	0件	0件	0件	0件
	貸付金額	0円	0円	0円	0円	0円

6. 女性福祉

配偶者のない女子の経済自立を促進するための福祉資金の貸付及び女性の福祉に係る相談等の事業を行っている。

(1) 女性福祉資金の貸付状況

(平成26年3月31日現在)

区 分		事業開始資金	住 宅 資 金	修 学 資 金	事業継続資金	計
24	貸 付 件 数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	貸 付 金 額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
25	貸 付 件 数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	貸 付 金 額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

7. 心身障害者福祉

(1) 現 況

身体障害者手帳、愛の手帳（知的障害者）及び精神保健福祉手帳の所持者数は、163名、30名、21名である。平成25年「障害者総合支援法」が施行され、所管は村が行っている。対象者数は少ないが、サービスの提供体制の整備を進めている。

毎年1回、東京都心身障害者福祉センターが「心身障害者（児）巡回相談」を実施し、手帳や補装具の交付・施設入所の要否判定及び年金・手当等受給のための診断等を行って、福祉の向上を図っている。

(2) 手帳の所持者の状況

(平成26年4月1日現在)

区 分	身体障害者手帳												愛の手帳					精神保健 福祉手帳	
	障害別人員（重複あり）						等級別人員（実人員）						度別人員（実人員）						
	聴 覚	視 覚	音 声 言 語	肢 体	内 部	合 計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計	1 度	2 度	3 度	4 度		合 計
三 宅 村	13	9	8	163	31	224	46	39	29	30	10	8	162	0	5	13	12	30	21
御蔵島村	2	1	0	5	1	9	4	0	1	1	1	0	7	0	0	1	0	1	1
計	15	10	8	168	32	233	50	39	30	31	11	8	169	0	5	14	12	31	22

(3) 施設入所の状況

(平成26年4月1日現在)

施設種別	三宅村	御蔵島村	合計
身体障害者授産施設	0	0	0
身体障害者療護施設	0	0	0
知的障害者更生施設	0	0	0
知的障害者通勤寮	0	0	0
知的障害者グループホーム	0	0	0
重度心身障害児施設(*)	2	0	2
旧体系サービス(計)	0	0	2
居宅介護	0	0	0
生活介護	11	0	11
自立訓練(機能訓練)	0	0	0
自立訓練(生活訓練)	0	1	1
就労移行支援	0	0	0
就労継続支援(A型)	0	0	0
就労継続支援(B型)	1	0	1
療養介護	3	0	3
児童デイサービス	0	0	0
短期入所	0	0	0
共同生活援助	7	0	3
共同生活介護	0	1	4
施設入所支援	9	0	10
新体系サービス(計)	33	2	33

(* 児童相談センター経由)

※複数利用者あり

(4) 特別障害者(児)手当等受給者

(平成26年4月1日現在)

手 当 名	人 数	摘 要
特別障害者手当	0	在宅重度心身障害者
福祉手当(経過措置分)	0	精神障害入院患者
障害児福祉手当	0	在宅重度心身障害児

8. 高齢者福祉

管内の高齢者人口の比率は34.4%（平成26年1月1日、三宅村37.5%、御蔵島村14.2%）で、都の21.9%（平成26年9月15日）及び全国の24.1%（平成26年10月1日）を大きく上回っている。高齢化率の推移でみると、昭和37年の7.0%に対し、昭和57年で14.2%、さらに平成10年では27.1%と高齢化が急速に進行していることがわかる。

平成12年4月1日から、介護保険制度が実施されたが、同制度以外に村を窓口として、健康増進法による事業、シルバーパスの交付、老人クラブ運営費の補助等の事業が行われている。なお、高齢者に適した就労の場を確保するため、平成5年10月三宅村シルバー人材センターが設立された。

平成6年4月に特別養護老人ホーム「あじさいの里」（定員50床）・高齢者在宅サービスセンターが開設され、平成11年4月より在宅介護支援センターも開設された。全島避難により、特別養護老人ホームの入所者は都内の施設に分散して入所した。

避難指示解除後、三宅村の最重要課題となっていた特別養護老人ホームは、平成19年4月1日に再開した。また、三宅村地域包括支援センターも、それに合わせて開設した。さらに、社会福祉協議会が訪問介護事業を行っているが、高齢者の帰島が進むにつれて、いずれの事業も介護職員の確保が課題となっている。

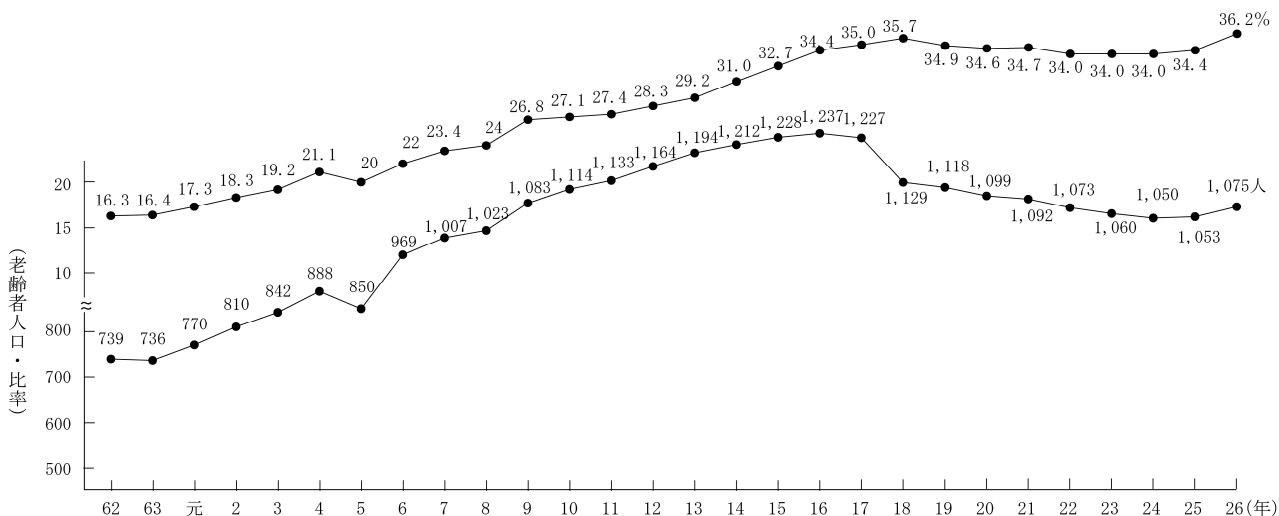
御蔵島村においては、社会福祉協議会による訪問介護事業が実施されている。さらに、平成18年7月に開設された「福祉保健センター仲里」が高齢者サービスの拠点となっている。

(1) 管内の老齢人口（65歳以上）

（平成26年1月1日現在）

区分	神着	伊豆	伊ヶ谷	阿古	坪田	三宅村(計)	御蔵島村	計
男	82	56	33	170	119	460	26	486
女	110	87	40	199	131	567	22	589
計	192	143	73	369	250	1,027	48	1,075

(2) 高齢者（65歳以上）人口の推移（各年1月1日現在）



(3) 介護保険の状況

① 第1号被保険者数（平成26年4月1日現在）

- ・三宅村 1,040人
- ・御蔵島村 45人

② 認定状況

（平成26年4月1日現在：人）

		要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
三宅村	第1号被保険者	37	39	33	33	34	19	195
	第2号被保険者	0	0	0	0	0	1	1
	合計	37	39	33	33	34	20	196
御蔵島村	第1号被保険者	8	1	0	2	0	2	13
	第2号被保険者	0	0	0	0	0	0	0
	合計	8	1	0	2	0	2	13
総合計		45	40	33	35	34	22	209

③ 介護サービス利用状況

○ 居宅介護サービス受給者数

（平成26年4月1日現在：人）

		要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
三宅村	第1号被保険者	11	28	24	10	11	5	89
	第2号被保険者	0	0	0	0	0	0	0
	合計	11	28	24	10	11	5	89
御蔵島村	第1号被保険者	0	0	0	0	0	0	0
	第2号被保険者	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0
総合計		11	28	24	10	11	5	89

○ 施設介護サービス受給者数

（平成26年4月1日現在：人）

		老人福祉施設	老人保健施設	療養型医療施設	計
三宅村	第1号被保険者	47	5	1	53
	第2号被保険者	0	0	0	0
	合計	47	5	1	53
御蔵島村	第1号被保険者	5	0	0	5
	第2号被保険者	0	0	0	0
	合計	5	0	0	5
総合計		52	5	1	58

(4) 老人クラブの現況

各地区（御蔵島村を除く。）に組織されていて、相互の親睦、健康管理、レクリエーション活動、奉仕活動を定期的に行うほか、無形文化財の保存活動にも積極的に取り組んでいる。

9. 民生委員（児童委員）数

（平成25年4月1日現在）

地区名	神着	伊豆	伊ヶ谷	阿古	坪田	御蔵島村	計
委員数	3	2(1)	1	3	4(0)	1	現員(定員) 14(16)

※委員数の（ ）内は主任児童委員の再掲（定員2）

10. 三宅児童厚生施設（仮称）

平成25年3月31日付けで三宅村へ移管した。

11. 社会福祉協議会

(1) 三宅島社会福祉協議会の概要

三宅島社会福祉協議会は昭和34年9月30日に設立され、昭和43年9月18日に法人認可となった。会員数は808人（平成25年度会員数）。地域福祉推進の中核的団体として住民との関係を深め、各種福祉サービスに取り組んでいる。

高齢者分野では、介護用ベッドなどの福祉用具の貸し出し、紙おむつ等の原価販売、車両による通院送迎、介護保険事業として訪問介護を実施し、障害者分野では、村の委託を受け、地域活動支援センターの運営や緑化事業を行っている。夏の体験ボランティアや学校ボランティア助成、高齢者会食会などボランティア活動の推進も行い、福祉まつりなどで住民の交流事業にも取り組んでいる。

また、平成24年度より、地域福祉権利擁護事業を重点事業として強化した。

① 地区別会員数

(平成26年4月1日現在)

地 区	神 着	伊 豆	伊ヶ谷	阿 古	坪 田	会 計
会員数	160	105	65	300	178	808

② 財 政

(円)

年度別	予 算		決 算	
	収 入	支 出	収 入	支 出
21 年 度	79,962,000	76,893,000	79,965,741	76,272,411
22 年 度	78,187,000	77,317,000	75,010,884	72,977,272
23 年 度	78,471,000	80,160,000	75,121,343	75,389,373
24 年 度	77,277,000	73,943,000	75,921,051	70,199,114
25 年 度	69,320,000	66,675,000	79,383,275	78,920,910

③ 活動状況（25年度）

- | | |
|----------------|---|
| (ア) 調査・研究 | 管外管内の各種研修参加 |
| (イ) 連絡調整 | 保健・医療・福祉関係機関との連絡調整 |
| (ウ) 普及宣伝 | 「社協だより」の発行・配布 |
| (エ) 高齢者福祉 | 介護保険における訪問介護
福祉用具貸与・紙おむつ等原価販売 |
| (オ) 障害者福祉 | 地域活動支援センターの運営 |
| (カ) 地域福祉 | 通院送迎サービス・福祉まつり・住民活動助成 |
| (キ) 児童福祉 | 民間奨学金紹介 |
| (ク) ボランティア活動推進 | 高齢者会食会・ボランティア保険料助成
夏の体験ボランティア・学校ボランティア助成 |
| (ケ) 生活福祉資金貸付 | 災害前及び災害中貸付の償還指導 |
| (コ) 地域福祉権利擁護事業 | 福祉サービス利用援助 |

(2) 御蔵島社会福祉協議会の概要

御蔵島社会福祉協議会は、平成元年4月1日に設立され、平成18年10月19日に法人認可となった。

法人の事業は、福祉用具の貸出、ボランティア団体の助成事業、紙おむつ費用助成事業、送迎サービス事業などのほか、生きがいデイサービス事業、訪問介護事業、通所入浴サービス事業、配食サービス事業、福祉保健センター管理運営事業（放課後児童健全育成事業を含む。）を実施している。

また、地域福祉推進事業として敬老お祝い弁当や福祉保健まつりを実施している。

会員数は、123人（平成25年度会員数）。地域福祉推進団体として住民とのよい関係を築き、ニーズに応えるべく各種福祉事業に取り組んでいる。

① 会員数（個人123人、事業所3件）

（平成26年4月1日現在）

② 財政

（円）

年度別	予 算		決 算	
	収 入	支 出	収 入	支 出
21 年 度	13,619,000	13,619,000	13,531,099	12,590,832
22 年 度	11,733,000	15,837,000	11,671,270	14,510,742
23 年 度	15,660,000	15,660,000	15,346,075	14,787,198
24 年 度	14,830,000	14,830,000	14,157,713	13,718,839
25 年 度	14,958,000	14,958,000	14,404,334	14,146,409

③ 活動状況（24年度）

- (ア) 調査・研究 各種研修参加
- (イ) 連絡調整 役場・診療所との連絡調整
- (ウ) 普及宣伝 「みくら社協だより」の発行・配布
- (エ) 高齢者福祉 紙おむつ費用助成事業、高齢者福祉用具貸出事業
- (オ) 地域福祉 福祉保健まつりの実施
敬老お祝い弁当の配布、敬老祝賀会の実施
- (カ) ボランティア活動推進 ボランティア団体等福祉活動助成事業の実施
- (キ) 共同募金運動 赤い羽根の共同募金運動の実施、歳末たすけあい運動の実施
- (ク) 御蔵島村福祉保健センター仲里
 - ・ 生きがいデイサービス事業の実施
 - ・ いきいき体操教室の実施
 - ・ 介護予防・訪問介護事業の実施
 - ・ 通所入浴サービス事業の実施
 - ・ 配食サービス事業の実施
 - ・ かつどりクラブ（学童クラブ）事業の実施
 - ・ 各サークル活動の援助

第 6 産 業 経 済

第6 産業経済

1. 農業

(1) 概要

三宅島は、平成12年の噴火災害により、農産物や家畜、農地、農道及び農業用施設等に甚大な被害を負い、平成12年9月から平成17年9月までの長期間、島外への避難生活を余儀なくされた。

避難中の間、農地は草木が繁茂し、農道や農業用貯水池は泥流や火山ガスの被害により、生産基盤としての機能を失った。

帰島後は、災害復旧事業等を導入し、一部地域（火山ガス高濃度地域）を除き、被災農地や農業基盤施設の復旧に着手し、99ヘクタール（うち自主開墾約10ヘクタール）の農地と農道等が復旧された。

現在の三宅島の農業は、農家戸数118戸と噴火の影響や高齢化、担い手不足等により減少傾向にあるが、特産のアシタバや赤芽イモ（サトイモ）、野菜等が生産され、市場への出荷や島内での販売が行われている。

また、東京都山村・離島振興施設整備事業等を活用したパイプハウスや共同利用機械等の導入により、花き類（ドラセナ、キキョウラン等の切り葉）を主とする施設園芸や果樹栽培にも取り組んでいる。

平成22年度からは、笠地貯水池や送水管の復旧に着手し、阿古地区へ農業用水を安定供給するための整備が進められている。

御蔵島村は、長軸アシタバ、ニオイエビネ、野菜等の生産普及に力を入れているが、農家戸数が34戸と少なく、農地も急峻な地形のため狭小であり農業経営は極めて零細である。このため、ほとんどの農家が他産業に従事しながら営農する副業農家である。

村では、農業振興策として冬場に不足する野菜を温室で栽培して、地産地消を推進する計画づくりを行っている。また、イルカウォッチングを中心とした観光客にも提供できる新たな特産品の開発も目指している。

ア 農家戸数、農家人口及び就業人口

(単位：戸、人)

項目 村名	農 家 戸 数						農 家 人 口 (販 売 農 家)		
	総 数	販 売 農 家	主 業	準主業	副 業	自給的 農 家	総 数	男	女
三 宅 村	118	45	6	2	37	73	83	41	42
御 蔵 島 村	34	22	-	1	21	12	49	25	24

(2010農業センサスより)

イ 農地の現況（平成25年度）

（単位：ha）

項目 村名	畑	樹園地	牧草地	計
三宅村	97	2	—	99
御蔵島村	16	0	—	16
合計	113	2	—	115

（三宅支庁調べ）

ウ 農産物の生産状況

- 三宅村の農産物の生産状況は次のとおりである。

〔農産物〕

平成12年の噴火災害以前の三宅島農業は、周年出荷の定着したアシタバが、昭和59年以降栽培面積を伸ばし、伊豆諸島最大（国内最大）の産地となっていた。また、花き観葉植物類については、レザーファンやタマシダ等の切葉が中心であり、栽培面積は年々増加していた。特に、施設でのレザーファンの栽培が増え、アシタバと並んで村の基幹作目となっていた。

しかし、平成12年の噴火後、継続する火山ガスの噴出は多くの特産農産物に深刻な影響を及ぼすことが確認され、作目転換も視野に入れた営農再開の取組が必要となっている。

現在、復旧した農地では、比較的火山ガスに強いアシタバや赤芽イモ（サトイモ）、サツマイモ等の作付けが多くなされている。さらに、火山ガスの影響の少ない地域を中心に、ドラセナやキキョウラン等の切り葉を中心とした作付けが行われている。

また、新たな特産農産物を目指してパッションフルーツの栽培にも取り組み、贈答用や商店への出荷、イベント等でも販売されている。

〔畜産〕

平成12年の噴火災害以前、畜産部門では主に島外出荷に向けた肉豚・肉用牛の飼養や、鶏卵の生産が行われていた。

また、三宅村営牧場が三宅島のほぼ中心の雄山の中腹にあり、総面積約171ヘクタールのうち牧草地約85ヘクタールを有し、都内の酪農家からの預託牛の飼養に加え、ふれあい牧場等を整備し、公益牧場としての機能充実も図っていた。

しかし、現在は継続する火山ガスの影響や高齢化などにより、牛・豚等の大家畜の飼養は行われていない。

また、村営牧場についても、今回の噴火に伴う降灰や泥流で壊滅的な被害を受けるとともに、大半が治山工事や砂防工事のエリアに入り、再建は望めない状況となっている。

当面は施設整備等が簡易なことから、採卵鶏導入による小規模養鶏の再生を図っている。

- 御蔵島村ではアシタバ、ニオイエビネ、サトイモ及び鶏卵等が自給用として栽培されていたが、近年、野菜類の生産販売に向けた取組を進めている。また、アシタバについては、そのボリュームと品質の良さから「御蔵島産長軸アシタバ」として安定出荷とブランド化を目指している。

農産物生産状況（平成24年産）

（単位：ha、千円）

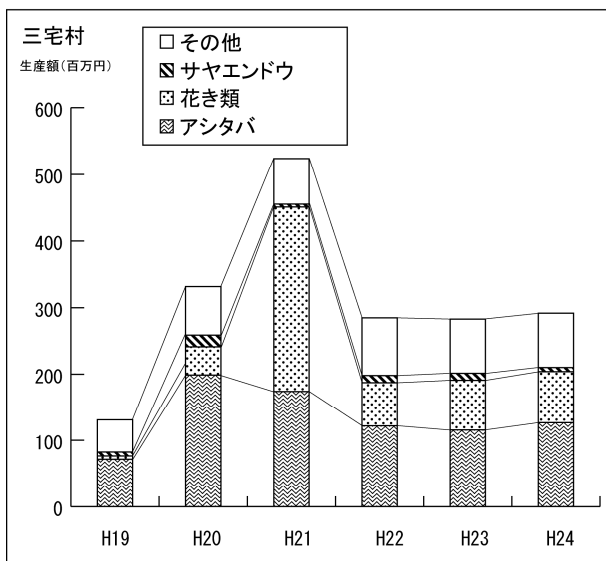
作 目		三 宅 村		御 蔵 島 村		合 計	
		作付面積	生産額	作付面積	生産額	栽培面積	生産額
野 菜 類	カ ン シ ョ	5.6	10,872	0.0	0	5.6	10,872
	バ レ イ シ ョ	1.6	2,597	0.0	0	1.6	2,597
	サ ト イ モ	5.5	9,368	0.0	0	5.5	9,368
	ア シ タ バ	22.3	126,788	3.6	22,257	25.9	149,045
	キ ヌ サ ヤ	0.8	6,449	0.0	0	0.8	6,449
	そ の 他	7.4	43,089	0.0	0	7.4	43,089
	小 計	43.2	199,163	3.6	22,257	46.8	221,420
花 き 類	レ ザ ー フ ェ ン	6.0	73,840	0.0	0	6.0	73,840
	そ の 他	0.3	3,224	3.0	1,050	3.3	4,274
	小 計	6.3	77,064	3.0	1,050	9.3	78,114
茶		—	—	—	—	0.0	0
果	樹	1.5	15,383	0.0	0	1.5	15,383
そ の 他		—	—	—	—	0.0	0
合 計		51.0	291,610	6.6	23,307	57.6	314,917

注1）生産額には自家消費分を含めている。

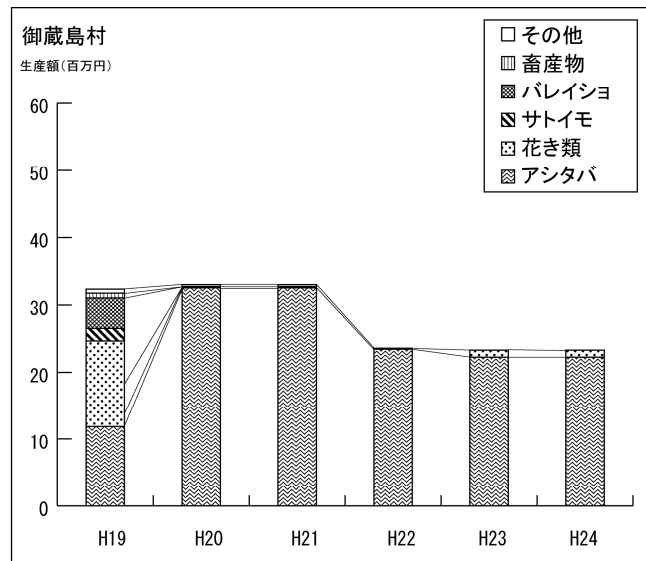
注2）東京都農産物生産状況調査による。

エ 農産物生産額の推移

(ア) 三宅村



(イ) 御蔵島村



オ 家畜の頭羽数等

家畜家さんの飼養頭羽数および飼養戸数（平成25年度）（単位：頭、羽、戸）

区分 村名	乳用牛				肉用牛		豚			採卵鶏		肉用鶏	
	経産	未經産	計	戸数	頭数	戸数	肉豚	繁殖豚	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数
三宅村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	1	0	0
御蔵島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	1	0	0

（東京都農林水産部調べ）

(2) 農地の移動並びに改廃の推移

（単位：a）

年度	所有権の移転		転用		転用のための所有権移転	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
20	8	866.9	0	0	2	36.60
21	7	258.8	2	6.64	3	11.96
22	15	569.71	3	18.25	5	48.70
23	2	1.33	1	4.79	1	19.98
24	4	132.86	1	4.50	0	0
25	2	85.42	0	0	0	0

(3) 農業団体の概要

ア 農業協同組合

（単位：人）

農協名	項目 設立（登記） 年 月 日	組合員数			役員数			職員数		
		正	准	計	理事	監事	計	参事	職員	計
東京島しょ （三宅島管内）	H13. 4. 1	440	510	950	3	1	4	0	2	2
御蔵島村	S23. 8. 7	48	5	53	3	2	5	0	2	2

（平成26年3月31日現在）

(4) 農畜産業生産基盤整備事業（平成25年度）

（単位：千円）

事業名	公単別	事業内容	事業主体	事業費	負担区分		
					国	都	村
山村・離島振興施設整備事業	単	耐風強化型ハウス等の整備	三宅村	19,742	—	14,806	1,974
		農業用ハウス機能強化	御蔵島村	22,575	—	16,931	5,644
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	公	笠地パイプライン改修	三宅村	39,966	21,981	7,993	9,992
農山漁村活性化プロジェクト交付金	公	カヤバ農道改修	三宅村	18,664	10,256	3,696	4,712
小規模土地改良事業	単	橋の平農道用地測量、実施計画	三宅村	13,807	—	6,903	6,904
農地及び農業用施設災害復旧事業	単	農地復旧	三宅村	2,730	—	2,047	683

(5) 農畜産業振興関係事業（平成25年度 ソフト事業）

（単位：千円）

事業名	公単別	事業内容	事業主体	事業費	負担区分		
					国	都	村
地域農政推進対策	単	担い手育成活動	三宅村	360	—	179	181
農業委員会交付金	公	委員会活動補助	三宅村	9,151	912	—	8,239
			御蔵島村	9,504	596	—	8,908
農業経営基盤強化事業 事務取扱交付金	公	国有農地管理事務費	三宅村	57	57	—	—

(6) 平成12年三宅島雄山噴火による農業関係施設の被害と復旧状況

施設	場所・名称	被害内容	平成25年度までの復旧状況	備考
農地	島内全域	降灰、泥流、土砂堆積、 土壌の酸性化	農地面積212ha（復旧面積 89ha）	自主開墾10ha
牧場	公共牧場 (182.6ha)	降灰、土砂堆積	H15.3 一部処分 (153.8ha)	残りについても処分予定
農道	カヤバ線	土砂堆積、擁壁崩壊	H17 復旧 L=16m H23 舗装・安全施設改修 H24 舗装・安全施設改修 H25 舗装・安全施設改修	
	上道線	橋脚基礎の洗掘	H17 復旧 L=13m	
	長坂線	土砂堆積、路面損傷	H17 復旧 L=54m	
	その他路線	土砂堆積等		
農業用水施設	西原貯水池	土砂流入、取水施設埋没	H17 復旧 V=703m ³ 安全施設（フェンス整備）	
	笠地貯水池	土砂流入、噴石	H22 貯水池復旧 H23 送水管敷設 H24 送水管改修 H25 送水管改修	
	神着貯水池	土砂流入、躯体損傷	H15.3 事業廃止	
	八重間ポンプ場	取水ポンプ等損傷、 貯水槽・配水管損傷	H17 取水ポンプ・配電盤 等改修 H20 貯水槽設置 H21 配水管復旧工事	

2. 林 業

(1) 概 要

三宅島は、一連の平成12年雄山火山活動及びその後の豪雨による泥流被害の影響により、森林植生が壊滅的な被害を受けた。現在でも噴出が続く火山ガスの影響により、植生の回復速度はゆっくりである。しかしながら、被災直後からの治山・林道の災害復旧事業、全島避難解除後に始まった枯損木の処理・先行植栽事業等、森林復旧事業に多くの力を結集して着実に取り組んでいるところである。

かつての三宅島は、シイ・タブの巨木をはじめ、緑濃いスギ・ヒノキで覆われた野鳥の宝庫であった。また、古くから薪炭生産が盛んであった。薪炭産業は、冬期にはほとんど産業活動のない島の経済を支える大きな柱であった。しかし、燃料消費構造の変化による需要の減少により、昭和38年頃から生産量は下降の一途をたどり、昭和40年代初めには最盛期の2割以下にまで生産量が激減した。さらに、島の特産としてのツゲ（柘）、クワ（桑）の生産も、資源の枯渇を招き、減産を余儀なくされた。衰退する薪炭・素材生産に相反するように昭和50年頃から始まったヒサカキ・シキミの切り枝は順調に生産量を伸ばし、林産物生産の柱となった。しかしながら、平成12年噴火後は、個人による生産活動がわずかに行われている状況である。

御蔵島では、良質なツゲ、クワの豊富な蓄積を誇っていた。豊富な蓄積量に裏付けされたツゲ・クワの素材生産が行われ、素材生産が林産業の柱をなしてきた。しかし、平成15年にツゲ・クワの素材生産量は、対前年比約2割にまで激減した。その後のツゲ・クワの素材生産量は、低めであるが安定して推移している。そして、素材生産から高付加価値木製品生産へと構造転換し、移住してきた若手デザイナーとのコラボレーションなど新たな森林資源の有効活用を図っている。

ア 所有者別林野面積

(単位：ha)

所有区分 村 別	国 有 林	民 有 林	計
三 宅 村	152	4,032	4,184
御 蔵 島 村	—	1,827	1,827
計	152	5,859	6,011

注) 民有林：伊豆諸島地域森林計画（平成24年）、国有林：伊豆諸島国有林の森林計画書（平成24年）

イ 民有林の規模別所有者数

村 別	総 数	1 ha未満	1～5 ha	5～10ha	10～50ha	50ha以上
三 宅 村	2,506人	1,945	468	67	23	3
	100%	77.6	18.7	2.7	0.9	0.1
御 蔵 島 村	85人	41	13	17	12	2
	100%	48.2	15.3	20.0	14.1	2.4
計	2,591人	1,986	481	84	35	5
	100%	76.2	18.7	4.7	0.2	0.2

(伊豆諸島地域森林計画（平成24年）)

ウ 民有林森林資源表

(単位：面積ha、材積m³)

区 分		総 数	立 木 地					
			総 数			人 工 林		
			総 数	針	広	総 数	針	広
三 宅 村	面積	4,032	3,675	789	2,886	1,309	769	540
	材積	118,463	118,463	29,408	89,055	50,601	28,522	22,079
御蔵島村	面積	1,827	1,664	14	1,649	367	11	356
	材積	215,193	215,193	6,775	208,418	44,416	5,377	39,039

区 分		立 木 地			竹 林	無 立 木 地			更 新 困 難 地	備 考
		天 然 林				総 数	伐 採 跡 地	未 立 地		
		総 数	針	広						
三 宅 村	面積	2,366	20	2,346	0	357	—	357	0	
	材積	67,862	886	66,976	—	—	—	—	—	
御蔵島村	面積	1,296	3	1,293	32	131	1	131	0	
	材積	170,777	1,398	169,379	—	—	—	—	—	

注) 国有林152haを除く。

(伊豆諸島地域森林計画(平成24年))

(2) 造林、伐採関係

三宅島において人工造林が積極的に行われたのは、昭和27年から昭和40年頃で、各地域とも競い合うようにしてスギ(杉)、ヒノキ(檜)の造林を行った。その後労働力不足、収穫までの超長期性、木材価格の低迷等先行不安材料が重なり、昭和41年を境に造林事業は、大幅に縮小していった。

減少傾向にある一般造林を刺激し、また育林の模範を示すことを目的として、東京都が契約により私有地に造林して伐採時の収益を分ける(分収という)「都行造林」を昭和35年から開始した。平成12年度までに213haの都行造林を実施した。しかし平成12年6月に端を発した一連の火山活動は、降灰による幹折れや枝折れ等の被害、火山ガスの影響による枯損等、島内の森林に甚大な被害を及ぼした。特にスギやヒノキなどの針葉樹において被害が顕著であり、島内の人工林は、一部地域を除いて全滅した。そのため、全ての都行造林の契約解除を実施した。

現時点でも、噴出が続く火山性ガスの影響により、火山性ガスに弱い針葉樹の植栽はできない状況にある。そのため、枯損木を伐採処理するとともに、三宅村が火山性ガスに強いヒサカキ・ヤブツバキ・ヤシャブシ等の先行植栽を実施し、森林の再生に努めている。

ア 造林実績の推移

(単位：ha)

樹種	年度	20	21	22	23	24	25
スギ		0.50	0	0	0	0	0
ヒノキ		0	0.30	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0
計		0.50	0.30	0	0	0	0

注) 御蔵島を除く。

(三宅支庁調べ)

イ 伐採の推移

(単位：ha)

樹種	年度	20	21	22	23	24	25
針葉樹		0	0	0	0	0	0
広葉樹		0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0

注) 御蔵島を除く。

(伐採及び伐採後の造林の届出書)

(3) 鳥獣保護と狩猟

管内における鳥類の特徴は、渡り鳥や旅鳥の種類が多いことその他、留鳥も含め個体数の多いことにあり、特にメジロ、アカコッコ、ウグイス、コマドリ等の留鳥、イイジマムシクイ、ホトトギス、アマツバメ等の夏鳥、ツグミ等の冬鳥がよく見られる。

三宅島には、我が国でも珍しいほど多くの野鳥が生息しており、これらの鳥獣の保護繁殖を図るため、鳥獣保護区が3箇所指定されている。また、三宅島の西方9kmに位置する大野原島は、国指定天然記念物カムリウミスズメの集団繁殖地となっていることから、平成22年に国指定鳥獣保護区（特別保護地区を含む）に指定されている。三宅島にはバードウォッチングを目的に訪れる人も多く、三宅村では、三宅島の優れた自然を生かし、自然とのふれあいを深め、自然保護、鳥獣保護等の環境教育拠点として三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館を平成5年より運営している。平成12年の雄山噴火による森林植生の被害が大きい地域では、鳥類の種数が3分の1から4分の1以下にまで激減した。さらに、種によっては、全く確認されないものもあった。しかし、森林植生の回復につれて、鳥類の種数も回復してきている。

御蔵島は、日露・日豪の「渡り鳥条約」の対象であるオオミズナギドリの繁殖地として有名で、この鳥の保護増殖を図るため、鳥獣保護区（特別保護地区を含む。）が設定されている。しかし、この鳥は営巣のため、地中に穴を掘るので、林地、林木に被害が出ており、一部について有害鳥獣として捕獲を行っている。

狩猟については、猟具の使用による危険の防止や静穏を保つことを目的とした特定猟具使用禁止区域が、三宅島の3箇所に設定されている。

ア 鳥獣保護区等区域図

(ア) 三宅島

伊豆特定猟具使用禁止区域（銃器）

105ha

自 H23. 11. 1

至 H43. 10. 31

大野原島鳥獣保護地区
546ha(うち特別保護地区8ha)

自 H22. 11. 1

至 H42. 10. 31

若宮特定猟具使用
禁止区域（銃器）

280ha

自 H12. 10. 1

至 H32. 9. 30

三宅島富賀山
鳥獣保護区

185ha

自 H8. 11. 1

至 H28. 10. 31

坪田大路池鳥獣保護区

82ha

自 H26. 11. 1

至 H46. 10. 31

三宅島雄山鳥獣保護区

317ha

自 H25. 11. 1

至 H45. 10. 31

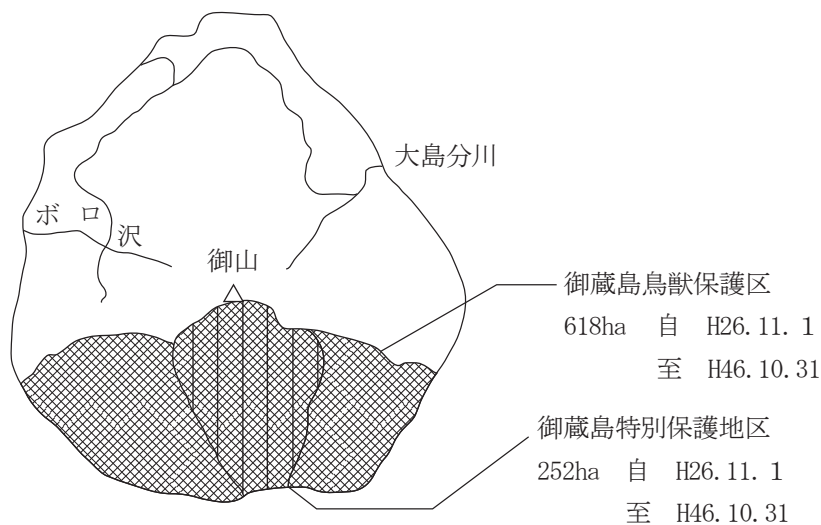
沖ヶ平特定猟具使用
禁止区域（銃器）

178ha

自 H12. 10. 1

至 H32. 9. 30

(イ) 御蔵島



注) 鳥獣保護区面積は、特別保護地区面積と重複する。

イ 狩猟免許試験及び狩猟免許更新状況

(単位：人)

種 別 \ 年 度	23		24		25	
	受 験 者	合 格 者	受 験 者	合 格 者	受 験 者	合 格 者
網 ・ わ な	0	0	0	0	0	0
第 一 種	0	0	2	2	0	0
第 二 種	0	0	0	0	0	0
計	0	0	2	2	0	0

(三宅支庁調べ)

ウ 狩猟者登録数

(単位：件)

種 別 \ 年	20	21	22	23	24	25
網 ・ わ な	0	0	0	0	0	0
第 一 種	3	3	3	3	2	1
第 二 種	0	0	0	0	0	0
計	3	3	3	3	2	1

(三宅支庁調べ)

エ 狩猟免許による鳥獣捕獲数

(単位：羽)

年 度	コジュケイ	ヤマシギ	キ	ジ	カラス	スズメ	キジバト	カモ類	計
21	0	0	0	0	6	0	1	1	8
22	0	0	0	0	3	0	1	0	4
23	0	0	0	0	7	0	2	0	9
24	0	0	0	0	5	0	2	1	8
25	0	0	0	0	3	0	2	0	5

(三宅支庁調べ)

オ 特別許可状況

○学術研究

年 度	鳥 獣 名 ・ 捕 獲 員 数	区 域
21	オオミズナギドリ・1名	御蔵島南郷
22	オオミズナギドリ・4名	御蔵島南郷
23	オオミズナギドリ・1名	御蔵島南郷
24	オオミズナギドリ・1名	御蔵島南郷
25	(なし)	—

(三宅支庁調べ)

○有害捕獲

年 度	鳥 獣 名 ・ 捕 獲 員 数	許可区分	区域
21	オオミズナギドリ 719羽	都 知 事	御 蔵 島 村
22	オオミズナギドリ 680羽	都 知 事	御 蔵 島 村
23	オオミズナギドリ 700羽、カラス 62羽	都 知 事	御蔵島村、三宅村
24	オオミズナギドリ 700羽、カラス 48羽	都 知 事	御 蔵 島 村
25	オオミズナギドリ 700羽、カラス 50羽	都 知 事	御蔵島村、三宅村

(三宅支庁調べ)

カ 飼養許可状況

年 度	鳥 獣 名	件 数
21	メ ジ ロ	2
22	メ ジ ロ	2
23	メ ジ ロ	1
24	メ ジ ロ	1
25	メ ジ ロ	1

(三宅支庁調べ)

(4) 林産物の生産状況

ア 三宅村

生産品	年度別 区分	19~25		備 考
		数 量	金 額	
木 材		— m ³	— 千円	平成12年噴火災害後は、個人で少量生産及び出荷しているが、数量等は把握できない状況にある。
木 炭		— 俵	—	
薪		— m ³	—	
椿 油		— kg	—	
生シイタケ		— kg	—	
サカキ・シキミ		— 千本	—	
計			—	

(三宅支庁調べ)

イ 御蔵島村

生産品	年度別 区分	23		24		25		備 考
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
木 材		— m ³	— 千円	— m ³	— 千円	— m ³	— 千円	
柘 材		20m ³	4,000千円	18m ³	3,600千円	12m ³	2,360千円	
桑 材		10m ³	2,160千円	48m ³	10,368千円	1m ³	293千円	
生シイタケ		32kg	27千円	13kg	11千円	11kg	9千円	
計			6,187千円		13,979千円		2,662千円	

(御蔵島村役場調べ)

三宅村 御蔵島村	合計	6,187千円		13,979千円		2,662千円	
-------------	----	---------	--	----------	--	---------	--

ウ 製材工場の状況

村 別	工 場 数	整 備 状 況	備 考
三 宅 村	0		
御 蔵 島 村	0		
計	0		

(三宅支庁調べ)

(5) 治山事業

治山事業により土砂を安定させ、森林を維持造成することを通じて、山地に起因する山崩れなどの災害から住民の生命・財産を守るとともに、森林が持つ水源かん養機能、保健休養機能などを高め、緑豊かな生活環境の保全・形成を図っている。

治山事業実施状況

事業区分	23 年 度			事業区分	24 年 度			事業区分	25 年 度		
	施工箇所	数 量	工事費		施工箇所	数 量	工事費		施工箇所	数 量	工事費
復旧治山	三宅村 (金曾沢)	山腹基礎工 3基	千円 69,812	復旧治山	三宅村 (金曾沢)	山腹緑化工 4,161㎡	千円 33,855	復旧治山	御蔵島村 (卯辰川)	航空実播工 2.2ha	千円 12,600 (繰越 26,232)
	御蔵島村 (卯辰川)	鋼製谷止工 1基	30,187		御蔵島村 (卯辰川)	鋼製谷止工 1基 鋼製土留工 2基	38,955		三宅村 (三池)	法面工 1,251㎡	64,974
					三宅村 (三池)	法面工 1,673㎡	71,190				
都単林地 荒廃復旧	三宅村 (大 路)	土留工 6基 伏工2,981㎡ 植栽工	54,442	都単林地 荒廃復旧	三宅村 (大 路)	鋼製土留工 3基 伏工2,713㎡ 植栽工	31,395	都単林地 荒廃復旧	三宅村 (大 路)	鋼製土留工 2基 伏工1,066㎡ 植栽工	24,780
	三宅村 (伊ヶ谷)	谷留工 1基	15,592		三宅村 (伊ヶ谷)	木製床固工 2基	14,966		三宅村 (金曾沢)	木製土留工 7基 水路工 山腹緑化工	28,585
	三宅村 (伊 豆)	防風柵工 保安林改良工	2,493		三宅村 (伊 豆)	防風柵工 保安林改良工	5,828		三宅村 (伊 豆)	防風柵工	4,935
	三宅村 (坪 田)	脱硫宿舍解体工 跡地造成工	繰越 31,200								
都単委託 (災害)	三宅村 (金曾沢)	測量・設計	2,331	都単委託 (災害)	三宅村 (金曾沢)	全体計画	9,597	都単委託 (災害)	三宅村 (金曾沢)	測量・設計	8,540
	三宅村 (三池)	測量・設計	2,509		三宅村 (三池)	測量・設計	2,184		三宅村 (伊ヶ谷)	測量・設計	2,625
	三宅村 (島 内)	緑化試験区 2区	3,646		三宅村 (角屋敷)	緑化試験区	2,930		御蔵島村 (卯辰川)	測量・設計	2,310
	三宅支庁	建設資材 価格調査	152		御蔵島村 (島 内)	緑化用種子 8.6kg	935		三宅村 (角屋敷)	緑化試験区	698
					三宅支庁	建設資材 価格調査	221		御蔵島村 (島 内)	緑化用種子 3.6kg	617
									三宅支庁	建設資材 価格調査	190

(三宅支庁調べ)

(6) 林道事業

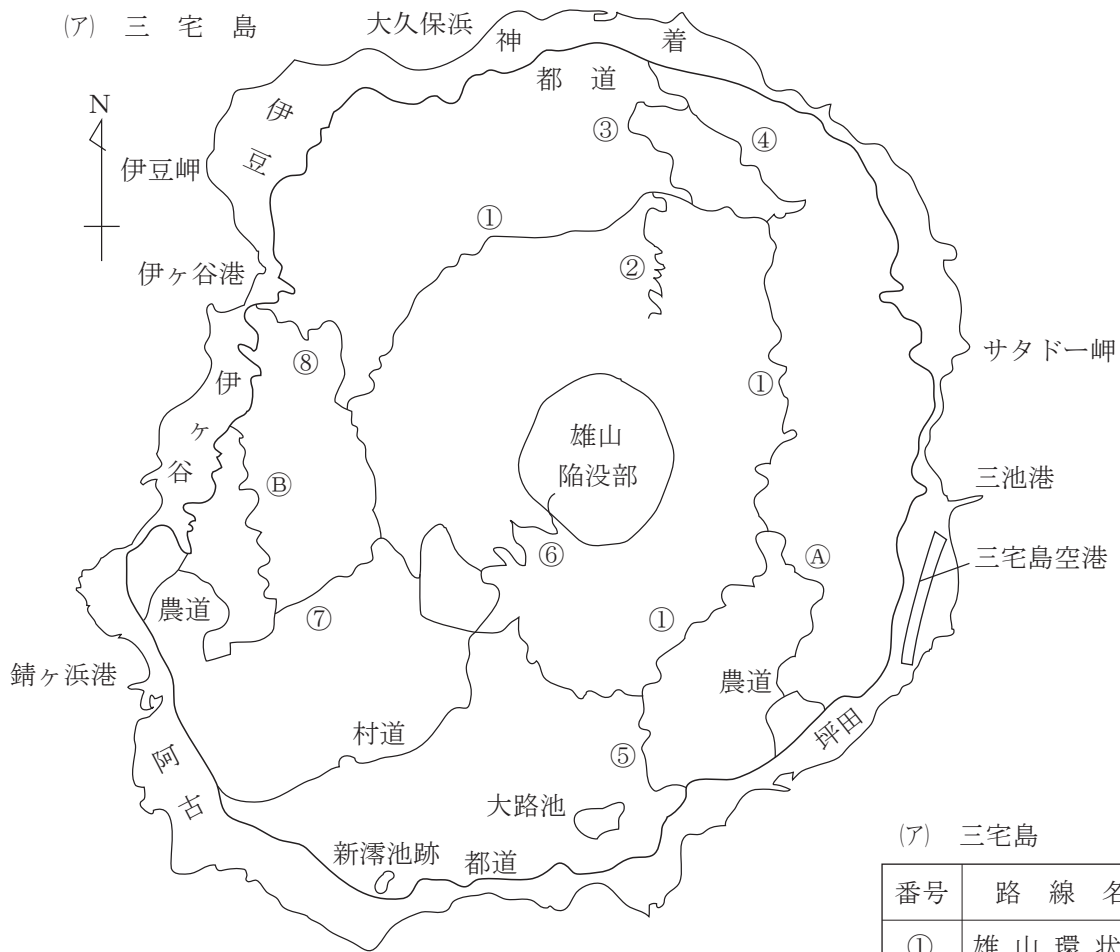
三宅島については、雄山環状線を幹線として、他に下表のとおり縦線が9路線ある。御蔵島では、黒崎高尾線を幹線として、鳥の尾線がある。林道は、適切な森林の維持管理に必要な施設であり、また、地域産業振興や森林浴、森林レクリエーションなど多目的に活用されて重要な役割を果たしている。今後も災害対応、通行の安全対策に努め、事業を進めていく必要がある。

ア 林道の現状

(平成25年度末現在：三宅支庁調べ)

路線名	既 設			年度別工事費(千円)				備 考
	延長(m)	幅員(m)	利用区域 (ha)	22	23	24	25	
三宅村内								
雄山環状線	20,809	3.6/4.0	1,042	34,487	33,033	32,182	21,875	一部通行止
三の宮線	1,900	4.0	120				5,520	
土佐線	3,180	3.6/4.0	202					
坪田線	1,347	4.0	41					
南戸線	3,077	3.6/4.0	140				9,448	
伊ヶ谷線	2,539	3.6/4.0	86		9,203	5,303	7,503	
上記6路線				10,000	10,000	7,512	19,139	維持管理工事
神着線	2,965	3.6/4.0	264	30,890	33,585	46,004	57,015	全面通行止
阿古線	2,377	3.6/4.0	317					全面通行止
上山線	1,977	4.0	56					村営
清水線	4,528	4.0	116					村営
調査・設計委託				7,854	2,499	14,952	5,246	
三宅村計	44,699		2,384	90,303	88,320	105,952	125,746	
御蔵島村内								
黒崎高尾線	5,582	3.0/4.0	576	25,095	25,979	25,741	30,755	
鳥の尾線	1,675	3.0	78					
上記2路線				3,000	2,521	4,259	5,835	維持管理工事
調査・設計委託				2,520	8,956		1,522	
御蔵島村計	7,257		654	30,615	37,456	30,000	38,112	
三宅支庁管内								
計	51,956		3,038	120,918	125,776	135,952	163,858	

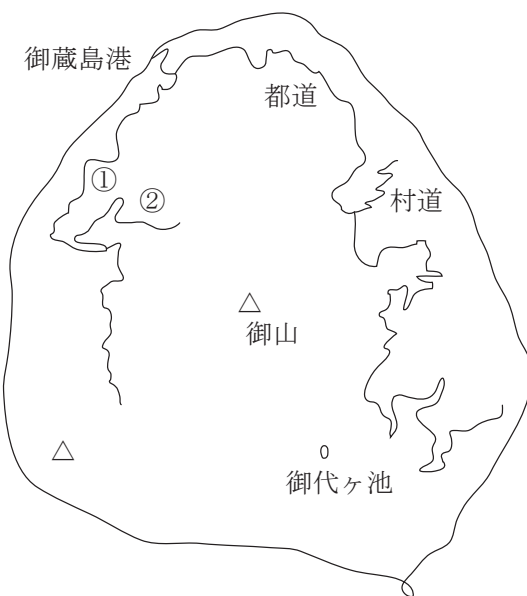
イ 林道位置図



(ア) 三宅島

番号	路線名	管理
①	雄山環状線	都
②	神着線	〃
③	三の宮線	〃
④	土佐線	〃
⑤	坪田線	〃
⑥	阿古線	〃
⑦	南戸線	〃
⑧	伊ヶ谷線	〃
A	上山線	村
B	清水線	〃
計	10 路線	

(イ) 御蔵島



(イ) 御蔵島

①	黒崎高尾線	都
②	鳥の尾線	〃
計	2 路線	

(7) 森林組合の概要

ア 現 況

平成25年末現在

組合別	設立認可 年月日	所在地	出資金	組合員数	役 員 数			
					常 勤		非 常 勤	
					理 事	監 事	理 事	監 事
三宅村 森林組合	S 27. 7. 1	三宅村 役場内	千円 1,447	人 84	人 0	人 0	人 7	人 2

(三宅支庁調べ)

イ 事業実績

事業内容	年 度	21	22	23	24	25
	造林事業受託	千円	28,329	0	0	0
苗木斡旋事業	本	0	0	0	0	0
造林補助金取扱	千円	301	171	132	143	173
購買品取扱(林業機械)	千円	0	0	0	0	0
造林地被害対策補助金 (枯損木伐採)	千円	—	41,900	41,897	38,749	45,026

(三宅支庁調べ)

3. 水産業

(1) 概要

三宅支庁の管轄する海域は、三宅島、御蔵島のほか大野原島、イナンバ島を含む広い範囲にわたっている。この海域は、黒潮の流路となっているため、黒潮の蛇行の影響を受けるとともに起伏のある複雑な海底地形を有しており、魚類や藻類、貝類などの優良な漁場となっている。

三宅島では、カツオ、マグロなどを対象としたひき縄漁業、キンメダイなどの底魚を対象とした一本釣り漁業、タカベ刺し網漁業などが営まれている。特にテングサについては、品質・量ともに全国でも有数の産地として知られてきた。

平成12年の雄山の噴火と全島避難により、火山灰や泥流の流入による磯根漁場の荒廃、漁業生産基盤施設の被災、さらに漁業者数の減少により、漁業生産は大幅な縮小を余儀なくされた。平成17年の帰島後、水産物鮮度保持施設などの共同利用施設の復旧・整備や漁場造成等が進められ、生産基盤施設は一定の復旧・整備が完了した。これにより、漁業生産は、カツオ、マグロ、キンメダイなど魚類の水揚げが噴火災害前と同水準に戻りつつあるものの、テングサや貝類などの磯根資源については、依然として、回復には至っていない。

三宅島の平成25年の漁獲量は、174トンであるが、避難前の平成11年の漁獲量513トンに対して、平成18年～平成25年の漁獲量の平均は約185トンであり、4割に満たない状況が続いている。

御蔵島ではタカベ、イセエビの刺し網漁業、カツオ、マグロなどを対象としたひき縄漁業、キンメダイ、シマアジなどの一本釣り漁業が行われている。平成25年度の漁獲量は8トンであった。今後、港湾整備の進捗により漁業生産の向上が期待されている。

(2) 漁業協同組合の概要

組合員等の状況

(単位：人)

区分	項目 設立	組合員数			役員数		職員数
		正	准	計	理事	監事	
三宅島漁業協同組合	45. 12. 16	36	403	439	5	2	8
御蔵島村漁業協同組合	25. 2. 6	25	59	84	5	2	3

(平成25年度三宅島、御蔵島村漁協業務報告書)

(3) 漁業調整

管内の漁業を制度的に分類すると、磯根資源を対象とした共同漁業権漁業、とびうお流し刺し網漁業等の知事許可漁業及びひき縄、底魚一本釣り等の自由漁業に大別される。

ア 漁業権の免許内容

平成25年12月31日現在

免許 番号	漁業権の 種類	権利者の 名称	漁場の位置	漁業の種類	存続期間
共 15 号	第1種 共同漁業	三宅島 漁協	三宅島地先 距岸 1,500m	いせえび、とこぶし、さざえ、 あわび、くぼがい、ばていら、ひ ろせがい、てんぐさ、いわのり、 はばのり、とさかのり漁業	自平成25年9月1日 至平成35年8月31日
共 16 号	第2種 共同漁業	三宅島 御蔵島村 漁協	〃	たかべ建切網漁業 たかべ刺網漁業 いそ魚底刺網漁業	〃
共 17 号	第1種 共同漁業	三宅島 漁協	大野原島地先 距岸 1,500m	いせえび、とこぶし、さざえ、 あわび、くぼがい、ばていら、ひ ろせがい、てんぐさ、いわのり、 はばのり、とさかのり漁業	〃
共 18 号	第2種 共同漁業	三宅島 御蔵島村 漁協	〃	たかべ建切網漁業 たかべ刺網漁業 いそ魚底刺網漁業	〃
共 19 号	第1種 共同漁業	御蔵島村 漁協	御蔵島村地先 距岸 1,000m	いせえび、とこぶし、さざえ、 くぼがい、ばていら、てんぐさ、 いわのり、はばのり、とさかのり 漁業	〃
共 20 号	第2種 共同漁業	三宅島 御蔵島村 漁協	〃	たかべ建切網漁業 たかべ刺網漁業 いそ魚底刺網漁業	〃

イ 許可漁業及び海区漁業調整委員会指示（承認）実績

平成25年12月31日現在（単位：件）

漁業種類 地区	許可漁業						海区漁業調整委員会指示（承認）						合計
	底立て はえ縄	底魚一 本釣り	ひき縄	かつお まぐろ	とびうお 流刺網	計	いかつり	浮きは 縄	はごつり	火光利用 とびうお	うみがめ	計	
三宅村	1	1	1	1	4	8	29	4	38	30	1	102	110
御蔵島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	4	8	29	4	38	30	1	102	110

（三宅支庁調べ）

※許可漁業 水産動植物の保護繁殖または漁業調整上の理由により知事の許可が必要な漁業。

※委員会指示(承認) 漁業の操業等に際し、海区漁業調整委員会の承認を必要とするもの。

(4) 漁船の概要

ア 登録漁船の推移

各年12月31日現在

年 度	三 宅 管 内			平 均	
	隻 数	ト ン 数	馬力数	ト ン 数	馬力数
21	172	526.08	11,966	3.06	70
22	165	517.75	11,965	3.14	73
23	163	517.74	11,870	3.18	73
24	160	499.81	11,958	3.12	74
25	161	511.81	12,435	3.17	77

（三宅支庁調べ）

イ 地区別トン数ランク別—登録漁船の数構成

平成25年12月31日現在（単位：隻）

地 区	トン数ランク	1トン未満	1～3トン	3～5トン	5～10トン	10トン以上	計
		三宅村	阿古	5	7	7	13
	伊ヶ谷	4	4	2	0	0	10
	伊豆	8	7	0	0	1	16
	神着	17	14	4	1	0	36
	坪田	4	9	3	7	4	27
	計	38	41	16	21	11	127
御蔵島村		13	21	0	0	0	34
計		51	62	16	21	11	161

（三宅支庁調べ）

(5) 漁業取締実績

平成25年度の漁業取締実績

回数 \ 種類	海上	陸上	やしお	みやこ	合計
計	1	32	28	12	73

(6) 漁業近代化資金（利子補給）貸付実績

(単位：千円)

種類 \ 年度	21	22	23	24	25
漁船	2,800	0	0	0	2,150
その他	0	0	0	0	0
合計	2,800	0	0	0	2,150

(7) 沿岸漁業改善資金（無利子）貸付実績

(単位：千円)

種類	種目	年度				
		21	22	23	24	25
経営改善資金	操船作業省力化機器等設置資金	0	0	0	0	0
	漁労作業省力化機器等設置資金	1,040	0	0	0	0
	補助機関等駆動等機器設置資金	0	0	0	0	0
	漁船衝突防止機器等購入等資金	0	0	0	0	0
	特認資金	0	0	788	0	0

(8) 漁獲量

ア 主要魚種別漁獲量、生産額の推移

(単位：漁獲量：kg
金額：千円)

種別	年	21	22	23	24	25
	さば	漁獲量	1,049	357	688	199
	金額	215	69	160	51	27
とびうお	漁獲量	8,858	6,057	2,894	1,108	1,819
	金額	2,684	1,782	991	342	780
むろあじ	漁獲量	9,379	14,846	16,540	12,408	11,766
	金額	1,910	3,125	3,486	2,546	2,685
まあじ	漁獲量	143	5	23	15	33
	金額	48	8	7	5	10
しまあじ	漁獲量	976	2,842	1,445	1,051	2,291
	金額	3,595	6,966	4,460	3,047	8,327
たかべ	漁獲量	2,868	5,480	4,503	3,378	2,979
	金額	3,523	5,695	5,572	4,238	4,604
いさき	漁獲量	73	182	179	164	91
	金額	74	164	172	143	71
かつお類	漁獲量	10,013	46,103	31,964	17,469	33,911
	金額	7,615	32,648	21,802	11,794	21,500
まぐろ類	漁獲量	19,910	52,647	73,439	63,848	31,881
	金額	16,785	39,553	62,157	50,058	33,314
かじき類	漁獲量	2,051	3,513	3,765	3,965	2,961
	金額	1,374	3,202	3,972	4,838	2,629
きんめだい	漁獲量	27,676	11,162	15,934	21,465	19,717
	金額	28,248	12,068	17,099	25,535	24,052
ひめだい	漁獲量	722	203	115	139	441
	金額	622	195	94	135	429
はまだい	漁獲量	224	475	60	250	384
	金額	356	810	113	478	666
あおだい	漁獲量	762	765	318	545	3,211
	金額	771	883	365	562	3,073
めだい	漁獲量	7,875	8,066	7,891	30,673	19,789
	金額	4,014	4,772	4,371	16,047	10,929
あこうだい	漁獲量	463	62	150	34	79
	金額	486	78	197	40	107
まだい	漁獲量	124	110	119	161	179
	金額	101	87	98	123	142
ひらまさ	漁獲量	1,271	1,167	1,545	2,599	1,756
	金額	847	828	1,039	2,062	1,300
かんばち	漁獲量	8,061	8,606	6,890	10,355	8,328
	金額	7,300	9,097	6,742	9,710	5,505

次ページに続く

前ページから続く

(単位：漁獲量：kg
金額：千円)

種 別		年				
		21	22	23	24	25
さ わ ら	漁獲量	3,509	1,224	579	1,468	1,048
	金 額	1,173	470	258	558	377
む つ	漁獲量	635	122	170	408	105
	金 額	409	71	221	627	164
さ め 類	漁獲量	0	0	0	0	0
	金 額	0	0	0	0	0
ぶ り 類	漁獲量	5,527	1,988	1,169	1,280	291
	金 額	2,176	706	487	605	87
ひ ら め	漁獲量	43	10	30	102	22
	金 額	44	14	35	101	27
ぼ ら 類	漁獲量	0	0	0	0	0
	金 額	0	0	0	0	0
その他の魚類	漁獲量	9,728	11,806	11,117	13,824	11,993
	金 額	5,940	6,969	5,304	9,406	9,080
魚 類 計	漁獲量	121,940	177,798	181,527	186,906	155,192
	金 額	90,310	130,260	139,202	143,053	129,887
か め	漁獲量	0	0	0	0	0
	金 額	0	0	0	0	0
い か 類	漁獲量	2,929	5,000	2,430	4,515	2,183
	金 額	4,458	7,013	3,435	5,442	2,089
い せ え び	漁獲量	5,385	4,439	2,651	2,702	1,694
	金 額	22,572	18,287	11,392	11,215	9,940
と こ ぶ し	漁獲量	458	967	447	618	422
	金 額	1,610	3,615	1,570	2,168	1,486
そ の 他	漁獲量	2,712	2,496	493	535	813
	金 額	3,438	3,037	821	734	991
水生動物計	漁獲量	11,484	12,902	6,021	8,370	5,111
	金 額	32,078	31,952	17,218	19,559	14,506
て ん ぐ さ	漁獲量	11,944	18,452	14,798	11,242	13,983
	金 額	5,454	9,582	7,968	5,863	6,229
と さ か の り	漁獲量	0	0	11,012	0	8,112
	金 額	0	0	6,977	0	1,022
※ その他の藻類	漁獲量	501	319	286	435	38
	金 額	1,112	694	640	1,044	715
藻 類 計	漁獲量	12,445	18,771	26,096	11,676	22,133
	金 額	6,566	10,276	15,585	6,907	7,965
合 計	漁獲量	145,869	209,471	213,644	206,952	182,436
	金 額	128,954	172,488	172,005	169,519	152,358

※ 漁獲量、生産額の数値は、毎年1月1日から12月31日までの三宅島、御蔵島の合算である。

※ 藻類のうち、てんぐさ、とさかのりは湿重量、その他の藻類は乾燥重量。

イ 地区別魚種別漁獲量（平成25年）

種別	地区		三宅島		御蔵島		合計	
	漁獲量	kg	生産額	千円	漁獲量	kg	生産額	千円
さば	110		25		7		1	27
とびうお	1,819		780		0		0	780
むろあじ	11,766		2,685		0		0	2,685
まあじ	33		10		0		0	10
しまあじ	1,740		6,510		551		1,817	8,327
たかべ	2,029		3,359		949		1,245	4,604
いさき	84		67		7		4	71
かつお類	31,684		19,542		2,227		1,958	21,500
まぐろ類	31,438		33,025		443		290	33,314
かじき類	2,910		2,525		51		104	2,629
きんめだい	18,496		22,895		1,221		1,157	24,052
ひめだい	390		394		51		35	429
はまだい	384		666		0		0	666
あおだい	2,854		2,715		358		358	3,073
めだい	19,473		10,780		316		149	10,929
あこうだい	65		88		14		19	107
まだい	134		100		45		42	142
ひらまさ	1,617		1,174		139		127	1,300
かんばち	8,007		5,259		320		246	5,505
さわら	992		355		56		22	377
むつ	105		164		0		0	164
さめ類	0		0		0		0	0
ぶり類	288		85		3		2	87
ひらめ	22		27		0		0	0
ぼら類	0		0		0		0	0
その他の魚類	10,838		7,957		1,155		1,123	9,080
計	147,278		121,189		7,914		8,698	129,887
かめ	0		0		0		0	0
いか	2,177		2,079		6		9	2,089
いせえび	1,596		9,647		98		294	9,940
とこぶし	422		1,486		0		0	1,486
その他	807		984		6		7	991
計	5,001		14,197		110		310	14,506
てんぐさ	13,983		6,229		0		0	6,229
とさかのり	8,112		1,022		0		0	1,022
その他	24		423		15		292	715
計	22,119		7,674		15		292	7,965
合計	174,398		143,059		8,038		9,299	152,358

ウ 地区別漁業種別漁獲量（平成25年）

種別	地区		三宅島		御蔵島		合計	
	漁獲量	kg	生産額	千円	漁獲量	kg	生産額	千円
とびうお流し刺網	1,140		520		0		0	520
たかべ刺し網	564		904		949		1,245	2,149
建て切り網	0		0		0		0	0
あじ・さば棒受け	0		0		0		0	0
底魚一本釣り	46,999		43,346		3,512		4,619	47,965
いか釣り	39		38		6		9	48
ひき縄	48,624		29,435		3,391		2,782	32,218
その他の釣り	1,145		1,036		61		51	1,088
はえ縄	18,424		25,928		0		0	25,928
突ん棒	69		45		0		0	45
いせえび刺し網	1,596		9,647		98		294	9,940
その他刺し網	0		0		0		0	0
定置網	31,775		21,756		0		0	21,756
採貝	1,228		2,471		6		7	2,477
採藻	22,119		7,674		15		292	7,965
その他の漁業	0		0		0		0	260
計	174,398		143,059		8,038		9,299	152,358

4. 商 工 業

(1) 中小企業、商工業者経営指導

三宅支庁管内では、三宅村に事業所を置く三宅村商工会が、三宅村及び御蔵島村両村の総合経済団体として、商工業の振興を担っている。

島内商工業が島の経済に与える影響は極めて大きく、島民生活の安定に大きく影響するため、商工会を中心として経営相談、金融斡旋、企業診断等の相談・指導、事業再開相談等を行い、島内商工業者の振興を図っている。

東京都は商工会等を通じて利子補給などの金融対策事業を行っており、商工業者の経営改善や事業再開を支援している。

両村の経済状況についてであるが、三宅村は、平成12年の大規模噴火から4年半に及ぶ全島民の避難によって、経済活動は停止状態となり、島内の経済に甚大な被害をもたらした。

避難指示解除から9年が経過した現在、島民の生活環境は落ち着きを取り戻しつつある。平成25年7月には三池・沖ヶ平地区が高濃度地区から準居住地区に規制緩和、12月には三池地区の準居住地区規制が解除となった。

一方で、火山ガスの噴出が続いているため、未だに事業再開できない商工業者もあり、人口減少・高齢化とあいまって商工業者数が減少傾向にある。このような苦境を脱するため、平成25年度から都の補助事業として商工会が商業便利度向上事業を実施し、商業活動の推進と地域経済の活性化を図ろうとしている。

御蔵島村は、平成12年の三宅島噴火後、御蔵島への定期船が毎日就航することとなり、東京竹芝桟橋から島へのアクセスが改善された。その後、主要産業である観光業の中でも主軸であるイルカウォッチング関連のサービス業者が数を伸ばしている。

また、水資源が豊富であり、ミネラルウォーターの採取を行っている。

ア 業種別商工業者数

業種別 地区別	建設業	製造業	卸・ 小売業	金 融 保険業	運 輸 通信業	電気・ガス 水道業	サービ ス 業	その他	計
神 着	5	5	17	2	3	0	18	1	51
伊 豆	3	2	6	0	4	1	7	0	23
伊ヶ谷	1	1	3	0	0	0	5	0	10
阿 古	21	3	35	0	4	0	47	2	112
坪 田	12	4	22	0	2	0	33	0	73
三宅村計	42	15	83	2	13	1	110	3	269
御蔵島村	2	1	6	0	0	0	27	0	36
合 計	44	16	89	2	13	1	137	3	305

平成26年4月1日現在（三宅村商工会調べ）

イ 商工会の概況

平成26年4月1日現在

設 立	設立総会 昭和46. 1. 18 認可 昭和46. 4. 15 登記 昭和46. 6. 3					
会 員 数	設立時 108 現在 250 組織率 82.0% (会員数/商工業者数)					
役員、職員数	役員30名 $\left(\begin{array}{cccc} \text{会長} & \text{副会長} & \text{理事} & \text{監事} \\ 1 & 2 & 25 & 2 \end{array} \right)$ 職員5名 $\left(\begin{array}{cccc} \text{事務局長} & \text{経営指導員} & \text{補助員} & \text{記帳相談員} \\ 1 & 2 & 1 & 1 \end{array} \right)$					
平成25年度 一般会計総額	60,677千円	都補助金 31,534千円	村補助金 4,685千円	会費 3,063千円	特別会計繰入金 1,000千円	その他 20,395千円
平成25年度 特別会計総額	12,446千円					
商 工 会 館	146千円	使用料収入 0千円	繰越金 146千円	その他 0千円		
受 託 事 業	12,300千円	三宅村受託事業費 9,282千円	繰越金 3,018千円	その他 0千円		

ウ 融資あっせん状況

東京都や日本政策金融公庫は、商工会等を通じて金融対策事業を行っており、商工業者の経営改善や事業再開を支援している。

(単位：件、千円)

種 別	年度別	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度	
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
東京都	あっせん	6	57,000	12	250,200	6	48,100	8	69,200	3	11,200
	貸付決定	6	57,000	8	222,600	6	42,100	5	36,300	3	11,200
日本政策金融公庫	あっせん	12	36,400	9	51,700	7	39,400	10	38,200	15	76,400
	貸付決定	12	36,400	9	48,700	7	39,400	10	38,200	15	76,400
そ の 他	あっせん	4	20,800	3	22,500	2	7,900	6	60,000	0	0
	貸付決定	3	10,800	2	12,500	1	6,500	3	37,000	0	0

(三宅村商工会調べ)

エ 三宅島火山活動災害に係る災害復旧資金の相談・受付状況

(平成12年7月5日より受付開始)

平成12年6月に起きた三宅島火山活動及び平成23年3月に発生した東日本大震災に係る被害復旧資金について、被災者の利子負担を軽減するため、都で利子補給を行っている。

(単位：件、千円)

年 度 区 分	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		合 計					
	相談 件数	申込受付 金額	相談 件数	申込受付 金額	相談 件数	申込受付 金額	相談 件数	申込受付 金額	相談 件数	申込受付 金額	相談 件数	申込受付 金額				
													相談	申込受付	相談	申込受付
三宅支庁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	50,000	
三宅村商工会	2	2	42,000	1	1	1,000	0	0	0	0	0	0	0	613	163	2,116,100
産業労働局金融部金融課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	4	117,000
東京信用保証協会	2	53,000	0	0	1	900	0	0	0	0	0	0	64	17	345,900	
合 計	2	4	95,000	1	1	1,000	0	1	900	0	0	0	0	729	185	2,629,000

※合計は、平成12年7月から受付開始した累計の数値 (産業労働局金融部金融課調べ)

※東京信用保証協会の21年度以降の相談件数は専用窓口が一般窓口と統合したため、個別件数が不明。

(2) 火薬類の消費許可状況 (平成25年度)

自然環境の破壊や汚染等から、住民の健康で安全な生活を確保するため、工場設置や採石の採取計画、火薬類の保安に関する許認可等、環境に関する指導と調整を行っている。

管内の火薬類の保安に関する消費許可状況として、煙火(花火)が2件(1,600発)ある。三宅村においては、三宅村商工会主催の「ふれあいランド三宅島マリンスコーレ21フェスティバル」において、600発の花火を打ち上げた。また、御蔵島村においては、御蔵島村主催の「御蔵島花火大会」において1,000発の花火を打ち上げた。

5. 観 光

(1) 概 要

ア 三 宅 島

三宅島は、周囲を流れる黒潮の影響を受け、四季を通じて温暖多湿な海洋性気候となっている。三宅島中央の雄山は我が国の火山史上に類を見ない活火山といわれ、その噴火に伴う溶岩の痕跡が様々な場所で見られる。溶岩樹型や荒波に浸食されてできた奇岩があるだけでなく、過去の噴火による広大な溶岩原も広がっている。また、他島に比べ野鳥の種類が豊富であり、絶滅危惧種の鳥も多く生息しているため、バードウォッチングを目的とする来島者数も多い。周辺海域は良好な漁場であるとともに海底に広がるテーブルサンゴの景観もよく、一年を通して釣り客やダイバー客が来島している。

しかし、平成12年6月に始まった噴火活動により、島民は4年半に及ぶ全島避難を余儀なくされた。また、主要観光基盤であった牧場公園や八丁平が噴火被害により復旧不可能な状態になった他、看板標識の腐食や観光設備の破損も著しく、三宅島の観光業は大きなダメージを受けた。平成17年2月1日の避難解除により帰島が開始され、住民活動は再開されたが、火山ガスの噴出は規模を縮小しながらも継続しており、山頂付近は立入禁止になるなど様々な制約が発生している。

現在三宅島では、「野鳥観察」「釣り」「ダイビング」に続く観光の柱として、「火山」を位置づけており、三宅島の新たな魅力としてジオスポットエリアの整備に注力している。これらの整備には三宅島観光資源開発事業が活用されており、ジオスポットエリア内のトイレや遊歩道の整備などが進められている。

平成26年4月より空路がANA（1日1便）から新中央航空（1日3便）に切り替わり、海路は6月末からは東海汽船の新船「橘丸」が就航し、三宅島へのアクセスが改善され観光客の増加が期待されている。

イ 御 蔵 島

御蔵島は、鐘状火山島で中央に御山があり、山頂より急峻な山峡が海岸線まで続く複雑な地形である。温暖多雨な海洋性気候の影響で豊富な水資源に恵まれ、スダジイの巨樹やツゲの天然木が全島を覆い、至るところに小河川が存在している。降雨期になると高い落差から飛瀑となって海に落下する滝は、壮観な自然美である。また、国際保護鳥であるオオミズナギドリ群生地としても有名である。

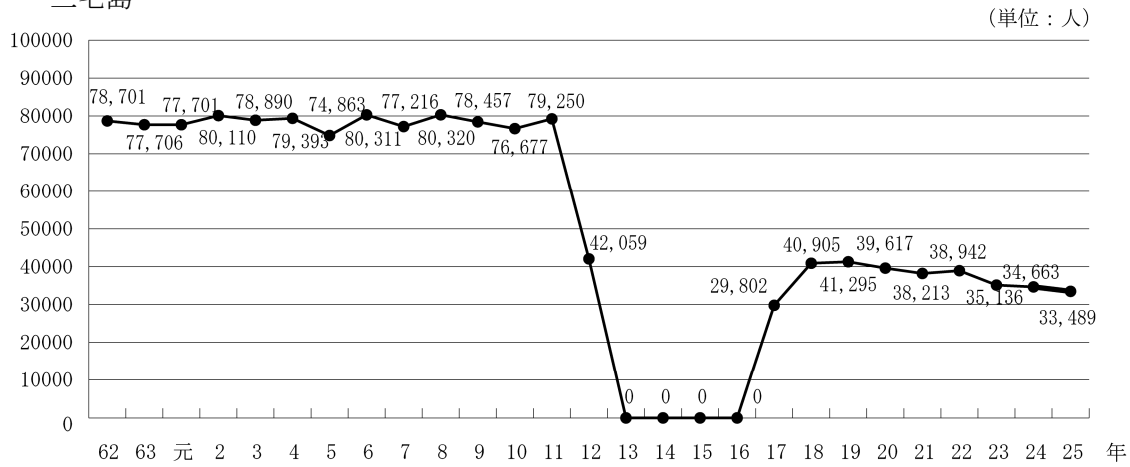
御蔵島の周辺海域では、個体観測されているミナミハンドウイルカが100頭程度おり、イルカの繁殖地となっている。定住しているので通年で観察することができ、イルカウォッチングは御蔵島の観光の基盤となっている。

イルカウォッチングが人気を集める中で、御蔵島村は平成14年に東京都の島しょ地域では初の自然保護条例を制定した。さらに、平成16年1月に、東京都と御蔵島村は「御蔵島における自然環境保全促進地域の適正な利用に関する協定書」を締結し、小笠原に次いで2番目に東京都版エコツーリズムを開始した。

御蔵島におけるエコツーリズムはイルカウォッチングだけでなく、豊かな巨樹の森にも適用されている。そのため、御蔵の山に入るには、ほとんどのハイキングコースでガイドの同行が必要である。また、御蔵島村観光施設整備事業を活用したコース整備も行われている。

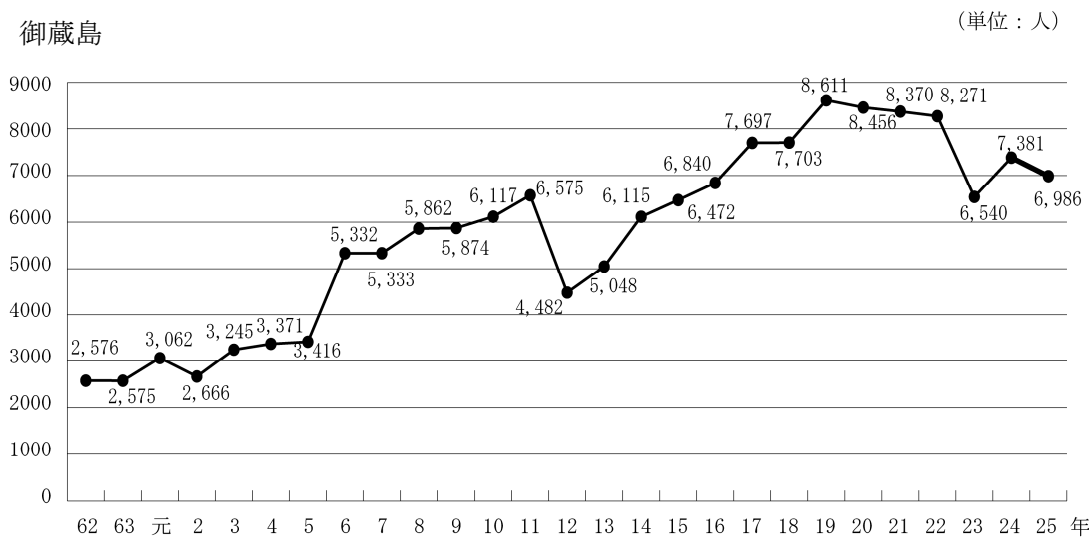
(2) 来島者の状況

ア 観光人口の推移
三宅島



注) 平成12年9月以降平成17年1月末まで、三宅島は全島民島外避難指示により、渡島不可。

御蔵島



(平成25年伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査報告書)

イ 年別、交通機関別来島者の状況 (1月～12月)

(単位：人)

交通機関		年		
		平成23年	平成24年	平成25年
航空機	三宅島	2,608 (5.9%)	2,506 (5.8%)	2,360 (5.7%)
	御蔵島	2,587 (27.7%)	2,575 (25.0%)	2,603 (26.3%)
船舶	三宅島	41,320 (94.1%)	40,830 (94.2%)	39,506 (94.3%)
	御蔵島	6,754 (72.3%)	7,745 (75.0%)	7,277 (73.7%)
計	三宅島	43,928 (100.0%)	43,336 (100.0%)	41,866 (100.0%)
	御蔵島	9,341 (100.0%)	10,320 (100.0%)	9,880 (100.0%)

(平成25年伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査報告書)

ウ 月別訪島者の数

(単位：人)

三宅島	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成23年	2,808	2,337	2,544	2,766	3,544	4,226	4,176	6,524	3,868	4,796	3,357	2,982	43,928
平成24年	2,606	2,589	2,974	3,124	4,090	3,526	4,501	6,353	3,766	3,841	3,356	2,610	43,336
平成25年	2,800	2,203	3,115	2,997	4,019	3,325	4,407	6,212	3,329	3,207	3,630	2,622	41,866

(単位：人)

御蔵島	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成23年	340	318	349	425	728	757	1,436	1,826	1,165	1,120	573	304	9,341
平成24年	359	302	407	654	813	983	1,588	2,033	1,513	878	477	313	10,320
平成25年	369	320	363	484	1,018	1,027	1,382	2,037	1,306	689	591	294	9,880

(平成25年伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査報告書)

(3) 宿泊施設の状況

種別宿泊施設と収容人員

(単位：軒数=軒、定員=人)

年度	種別 地区		旅館・ ホテル	民 宿		バンガロー		キャンプ場		合 計
				通年	季節	公営	民営	公営	民営	
23	三宅	軒数	13	28	0	1	0	1	0	43
		定員	430	624	0	8	0	12	0	1,074
	御蔵	軒数	0	10	0	5	0	0	0	15
		定員	0	160	0	20	0	0	0	180
24	三宅	軒数	2	37	0	1	0	1	0	41
		定員	82	835	0	8	0	12	0	937
	御蔵	軒数	0	14	0	5	0	0	0	19
		定員	0	203	0	20	0	0	0	223
25	三宅	軒数	2	34	0	1	0	1	0	38
		定員	82	687	0	8	0	12	0	789
	御蔵	軒数	0	14	0	5	5	0	0	24
		定員	0	203	0	20	20	0	0	243

(平成25年伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査報告書)

(4) 三宅島観光資源開発事業補助金

(単位：千円)

年度	内 容	事業費	負担区分	
			三宅村	東京都
H23	平成23年度観光案内板および休憩施設整備工事 (木柵・ジオスポット看板等整備)	20,527	6,843	13,684
H24	平成24年度火山観光整備事業 (トイレ・火山体験遊歩道等整備)	37,695	18,848	18,847
H25	平成25年度火山観光整備事業 (野鳥観察小屋・観察池・火山体験遊歩道手摺 等整備)	32,335	16,118	16,117

(5) 御蔵島村観光施設整備業補助金

(単位：千円)

年度	内 容	事業費	負担区分	
			御蔵島村	東京都
H23	ふれあい広場内施設整備工事第4期 (公衆トイレ整備)	26,250	16,250	10,000
H24	ふれあい広場内施設整備工事第5期 (バーベキュー施設整備)	26,985	16,985	10,000
H25	ふれあい広場内施設整備工事第6期 (防火水槽・休憩施設等整備)	26,250	16,250	10,000

第 7 土 木

港 湾 · 空 港

第7 土木・港湾・空港

1. 概 況

三宅島、御蔵島島民の生活及び社会、経済活動の基盤となる道路（橋梁）、公園、港湾（漁港、空港）、自然災害から島民の生活を守る砂防、海岸保全施設の整備並びに維持管理を行っている。

(1) 道路事業

管内の道路は全般的に屈曲、急勾配箇所が多いうえ、集落内道路は幅員狭小、歩車道未分離、視距不良、海側路肩及び山側法面崩壊の恐れなど、多くの課題を抱えている。これらの対策として、道路拡幅や勾配緩和等の道路整備事業、歩道設置や視距改良等の交通安全施設事業及び法面崩壊等を未然に防止する道路災害防除事業を進めている。更に、道路清掃や沿道及び植樹帯の除草等、道路の適正な維持管理に努めている。

(2) 公園事業

三宅島、御蔵島では、海岸から沖合い1キロメートルまでを国立公園に指定（集落地を除く）し、島の優れた自然環境の保全を図っている。公園事業では、自然公園の適正な利用のもと、来訪者に憩いと安らぎを与え、レクリエーションの場としての利用を進めるため、園地内にトイレ、休憩施設等を整備し、適切な維持管理に努めている。

(3) 港湾事業

島の玄関口である港・空港の就航率向上、島の主要産業の一つである漁業の活動拠点となる漁港の機能向上を図るため、港湾、空港及び漁港の整備を進めると共に各施設の適切な維持管理に努めている。

(4) 砂防事業

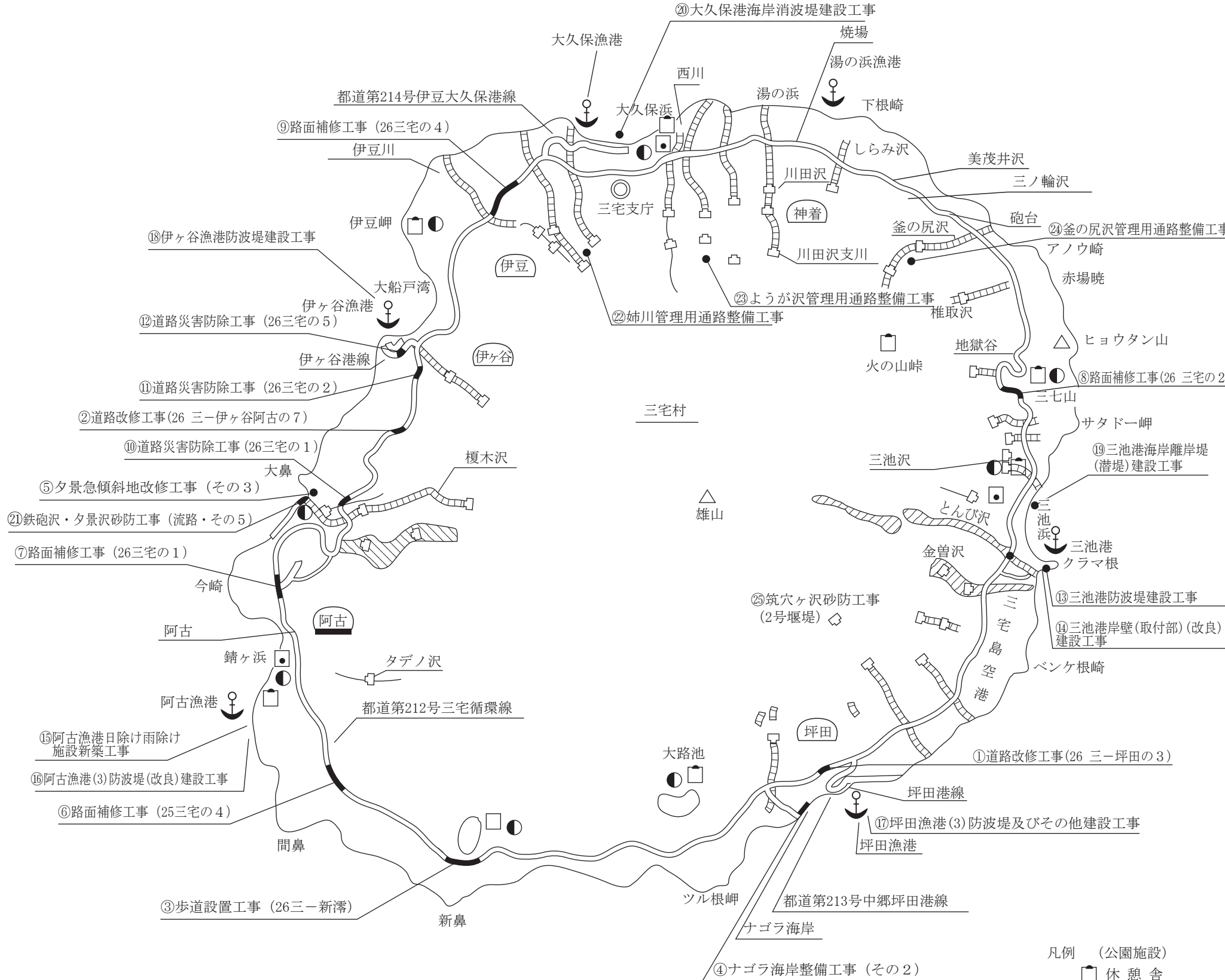
大雨時の水害や土石流から集落や公共施設を守るため、砂防堰堤^{えんてい}や流路等の整備及び除石等の維持管理を行っている。特に平成12年の雄山の大規模な噴火に伴い、緊急対策として「災害関連緊急砂防事業」（平成12～17年度）や「三宅島激甚災害対策緊急事業」（平成13～17年度）を実施し、37溪流、計51基の砂防堰堤を整備することにより、土砂整備率50%を達成した。さらに、平成17年度からは恒久対策として「離島火山砂防事業」を実施しており、土砂整備率60%以上を目標に整備を進めるとともに、比較的流域の小さな溪流についても整備を進めている。

(5) 海岸事業

海岸部では、波浪による侵食から生活環境を保全するため、護岸の整備を進めている。また、平成21年度から老朽化対策工事など、大規模な維持工事を実施しており、海岸保全施設の適切な維持・管理に努めている。

2. 平成26年度主要事業一覧

三宅島

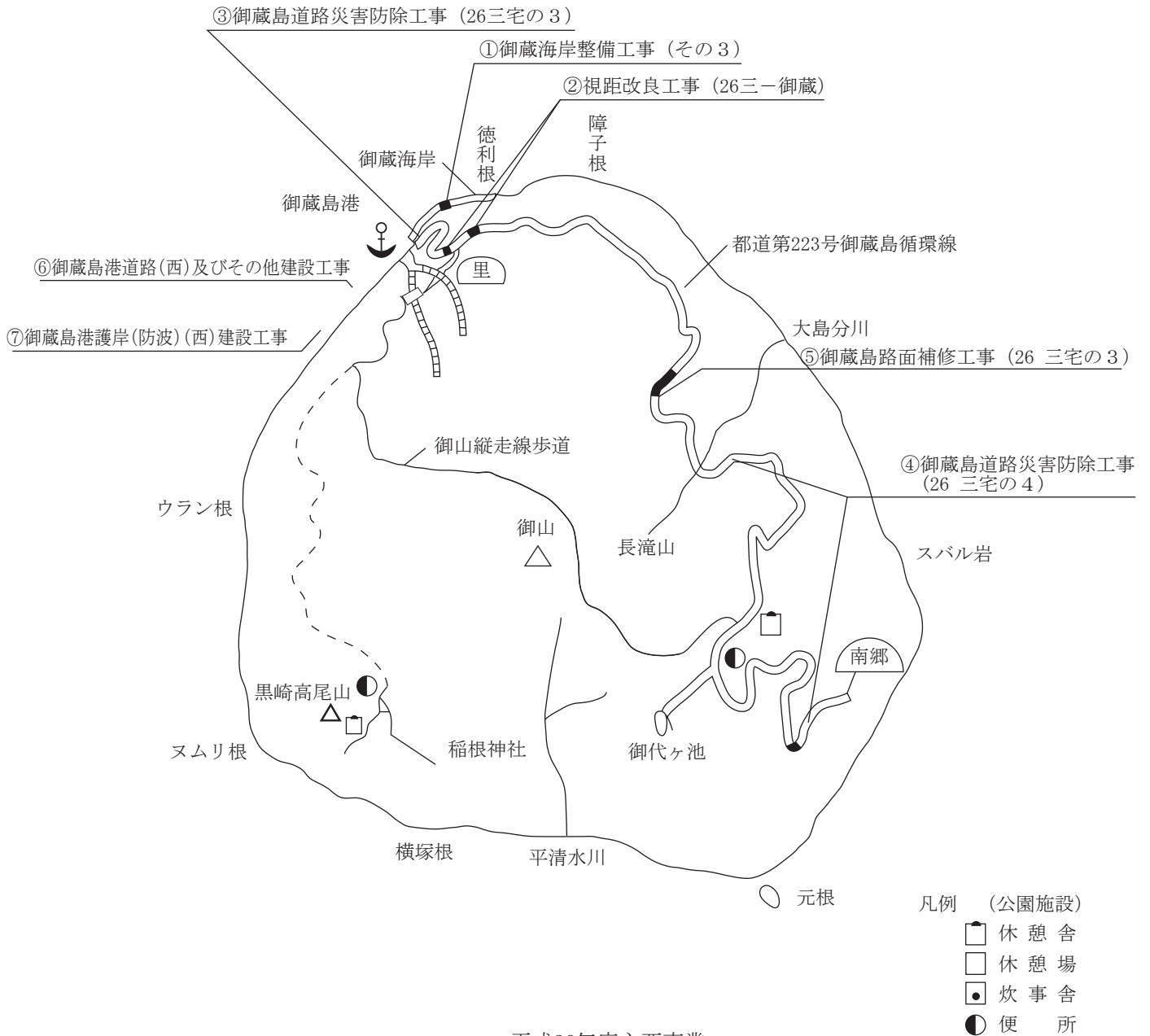


- 凡例 (公園施設)
- 休憩舎
 - 休憩場
 - 炊事舎
 - 便所

平成26年度 主要事業

図面番号	工事名	事業内容
道路・海岸	① 道路改修工事 (26 三-坪田の3)	道路改修工
	② 道路改修工事 (26 三-伊ヶ谷阿古の7)	道路改修工
	③ 歩道設置工事 (26 三-新濤)	歩道設置工
	④ ナゴラ海岸整備工事 (その2)	老朽化対策
	⑤ 夕景急傾斜地改修工事 (その3)	急傾斜地改修工
	⑥ 路面補修工事 (25 三宅の4)	舗装・排水工
	⑦ 路面補修工事 (26 三宅の1)	舗装・排水工
	⑧ 路面補修工事 (26 三宅の2)	舗装・排水工
	⑨ 路面補修工事 (26 三宅の4)	舗装・排水工
	⑩ 道路災害防除工事 (26 三宅の1)	グラウンドアンカー工
	⑪ 道路災害防除工事 (26 三宅の2)	グラウンドアンカー工
	⑫ 道路災害防除工事 (26 三宅の5)	法枠工
港湾・漁港・空港	⑬ 三池港防波堤建設工事	ケーソン据付・上部工
	⑭ 三池港岸壁(取付部)(改良)建設工事	消波ブロック製作・据付
	⑮ 阿古漁港日除け雨除け施設新築工事	鉄骨造・平屋建て
	⑯ 阿古漁港(3)防波堤(改良)建設工事	消波ブロック製作・据付
	⑰ 坪田漁港(3)防波堤及びその他建設工事	鋼枠据付、上部工
	⑱ 伊ヶ谷漁港防波堤建設工事	ケーソン据付・上部工
	⑲ 三池港海岸離岸堤(潜堤)建設工事	基礎工、本体工
砂防	⑳ 大久保港海岸消波堤建設工事	消波ブロック製作・据付
	㉑ 鉄砲沢・夕景沢砂防工事(流路・その5-2)	溪流保全工
	㉒ 姉川管理用通路整備工事	管理用通路工
	㉓ ようが沢管理用通路整備工事	管理用通路工
	㉔ 釜の尻沢管理用通路整備工事	管理用通路工
㉕ 筑穴ヶ沢砂防工事 (2号堰堤)	堰堤工	

御 蔵 島



平成26年度主要事業

	図面 番号	工 事 名	事 業 内 容
道路・砂防	①	御蔵海岸整備工事 (その 3)	落石防止網工
	②	視距改良工事 (26三-御蔵)	擁壁工・舗装工
	③	御蔵島道路災害防除工事 (26三宅の 3)	擁壁改修工
	④	御蔵島道路災害防除工事 (26三宅の 4)	落石防止網工・法枠工
	⑤	御蔵島路面補修工事 (26三宅の 3)	舗装・排水工
港湾・漁港	⑥	御蔵島港道路 (西) 及びその他建設工事	舗装・排水工
	⑦	御蔵島港護岸 (防波) (西) 建設工事	消波ブロック製作・据付、上部工

3. 道 路

(1) 路線及び延長

(平成26年4月1日現在)

整理番号	路線名	起終点	延長
都道第212号	三宅循環線 (通称 三宅一周道路)	三宅村伊豆～伊豆	32,748m
都道第213号	中郷坪田港線	三宅村坪田中郷 三宅循環線交差点～坪田漁港	867m
都道第214号	伊豆大久保港線	三宅村伊豆 三宅循環線交差点～大久保港	1,205m
小計			34,820m
都道第223号	御蔵島環状線	御蔵島港～御蔵島村仲町	(認定延長) 26,000m

- 注 1 三宅循環線(伊豆～伊豆)は一周道路で100m間隔で距離標を設置してある。
 2 三宅循環線には伊ヶ谷漁港に通じる枝線793.68m及び、三池港に至る枝線319.02mを含む。

(2) 道路状況

ア 三宅島

三宅島の都道は、都道第212号(三宅循環線)を軸として、坪田漁港に通じる都道第213号(中郷坪田港線)、大久保港に通じる都道第214号(伊豆・大久保港線)からなっている。

都道の総延長は34.8kmであり、局所部分を除いて、幅員5.5m以上で概成している。舗装率は100%である。

従来より歩道の設置工事とともに拡幅整備工事を進めており、これに伴って道路改良率も年々向上している。

現在は、歩道未整備区間における道路拡幅工事や局所的な危険箇所における道路改修工事を進めている。

イ 御蔵島

都道第223号(御蔵島環状線)の認定延長は26kmである。このうち、幅員3.5m以上の都道延長は約15.0kmである。

御蔵島の道路の整備は、島内の森林資源の開発、産業の発展に資するため、急峻な地形、厳しい気象条件の下で進められている。

また、平成21年度から、里集落内において、都道の交通安全性の向上を図るため、視距改良工事を実施している。

(3) 道路の管理

ア 道路台帳

道路台帳については、昭和47年度に整備し、道路台帳、平面図（地下埋設物台帳を含む。）、道路台帳調書、橋りょう調書を備え、改修事業の進捗に伴って補正を加えている。

また、平成17年帰島以降、道路台帳の電子化を進めている。

イ 道路監察

道路をとおして生活圏が形成され、公的又は私的な諸活動が展開される結果、道路を交通以外の目的に使用し、道路管理者の許可を受けずに、他の目的に使用する等の事例があるため、道路監察を行い、道路機能の保持に努めている。

ウ 道路の維持補修

平成26年4月現在三宅島内の都道の総延長は約34.8km、御蔵島内の都道延長は約15.0kmである。

道路の維持補修事業としては、応急補修を中心とした道路維持と、路面及び道路施設の損傷、機能低下の回復を図る道路補修を行っている。

(4) 交通安全施設の整備

交通安全施設の整備としては、歩行者と自動車を分離する歩道の設置、視距の改良及び歩行者の安全を確保する歩行帯の設置、その他防護柵、街路灯、道路標識類の整備を行っている。

交通安全施設現況

(平成26年4月1日現在)

区 分	三 宅 島	御 蔵 島
歩 道	19,933m	0 m
防 護 柵	20,060m	9,825m
街 路 灯	994灯	90灯
反 射 鏡	112本	66本
道 路 標 識	531基	21基

(5) 橋の現況

(平成26年4月1日現在)

区 分	橋 の 数 (ヶ)	延 長 (m)	面 積 (㎡)
三 宅 島	40	869.5	8,703.7
御 蔵 島	35	433.4	2,893.3
計	75	1,302.9	11,597.0

(6) 交通量

(平成22年11月15日調査)

種類 観測地点	歩行者 人	自転車 台	動力付 二輪車 台	自動車		
				大型車類 台	その他 台	自動車類計 台
伊豆642 (都道212号)	34 (37)	3 (5)	40 (21)	109 (111)	1,348 (1,294)	1,457 (1,405)
坪田963 (都道212号)	38 (0)	11 (0)	75 (9)	125 (250)	1,054 (849)	1,179 (1,099)
坪田3069 (都道213号)	10 (40)	1 (4)	25 (7)	17 (32)	201 (332)	218 (364)
伊ヶ谷338 (都道212号)	7 (8)	0 (0)	12 (8)	43 (26)	220 (176)	263 (202)
阿古512 (都道212号)	37 (85)	20 (3)	62 (28)	146 (239)	1,669 (1,653)	1,815 (1,892)

- 注 1 下段 () 内は平成17年11月14日調査である。
 2 午前7時から午後7時までの12時間交通量である。
 3 全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)は5年ごとである。

4. 砂防及び海岸

(1) 砂防

ア 砂防現況

三宅島、御蔵島の両島で砂防指定を受けている溪流は、42溪流である。御蔵島の西川を除き晴天時の流水はないが、降雨時の土砂の流出による災害を防止するため、堰堤や流路工などの整備事業を実施している。

イ 砂防事業(緊急対策)

三宅島では、平成12年7月の噴火以降、山体に堆積した火山灰や溪流の土砂等が降雨時に流出し、泥流・土石流が頻発した。この緊急対策として、平成12年度より災害関連緊急砂防事業ならびに平成13年度には火山砂防激甚災害対策特別緊急事業の採択を受け、平成17年度までの5ヶ年で37溪流において砂防堰堤51基が完成した。

平成26年度までにさらに砂防堰堤9基が完成したことにより、砂防堰堤60基ほか流路工等関連施設が完成し、平成12年噴火に伴う緊急対策の概ねの整備目標は達成された。

ウ 砂防事業(恒久対策)

平成12年噴火以降、長期にわたり噴出している火山ガスの影響により、現在においても土砂災害等が発生する危険性は依然として残っており、島民の安全を確保するために、懸案箇所については恒久対策として引き続き砂防施設の整備を継続する。

<主な事業予定>

平成26年度 築穴ヶ沢 2号堰堤、鉄砲沢・夕景沢流路

平成27年度 築穴ヶ沢 3号堰堤、田ヶ沢堰堤

平成28年度 西川西支川堰堤、タデノ沢北支川堰堤、榎木沢北支川堰堤

エ 砂防指定地

平成26年 4月 1日

区分	指定河川の名称	規 模	告示年月日	所 在 地
1	と ん び 沢	2,477m	昭和25. 6. 1	三宅村 坪 田
	〃	1号堰堤区域	平成14. 9. 24	〃 〃
	〃	2号堰堤区域	平成17. 3. 22	〃 〃
	〃	管理用通路	平成22. 6. 15	〃 〃
	〃	30m	平成26. 3. 18	〃 〃
2	金 曾 沢	1,150m	昭和25. 6. 1	〃 〃
	〃	1号・2号堰堤区域	平成15. 12. 16	〃 〃
	〃	645m	平成16. 3. 17	〃 〃
	〃	管理用通路	平成25. 3. 15	〃 〃
3	西 川	594m	昭和33. 3. 3	〃 神 着
	〃	1号堰堤区域	平成15. 1. 10	〃 〃
	〃	2号堰堤区域	平成17. 3. 22	〃 〃
4	間 川	750m	昭和33. 3. 3	〃 〃
	〃	堰堤区域	平成 7. 2. 22	〃 〃
	〃	堰堤区域	平成17. 3. 22	〃 〃
	〃	3号堰堤区域	平成19. 5. 22	〃 〃
5	卯辰川及西川	1,380m	昭和34. 5. 20	御蔵島村
	〃 (西川)	堰堤区域	平成14. 9. 24	御蔵島村
6	榎木沢及支川	1,500m	昭和37. 11. 13	三宅村 阿 古
	〃 (ヤナボ沢)	沈砂地	平成15. 3. 14	〃 〃
	〃	31m	平成17. 8. 3	〃 〃
7	姉 川	2,000m	昭和37. 11. 13	三宅村 伊 豆
	〃	堰堤区域	平成 4. 7. 24	〃 〃
	〃	堰堤区域	平成17. 4. 26	〃 〃
8	伊 豆 川	1,320m	昭和41. 8. 16	〃 〃
	〃	1号堰堤区域	平成15. 1. 10	〃 〃
	〃	3号堰堤区域	平成17. 3. 22	〃 〃
9	釜 の 尻 沢	183m	昭和41. 8. 16	三宅村 神 着
	〃	堰堤区域	平成14. 9. 24	〃 〃
	〃	堰堤区域	平成17. 3. 22	〃 〃
	〃	170m	平成17. 4. 26	〃 〃
10	坊 田 沢	940m	昭和45. 10. 7	三宅村 伊 豆
	〃	1号堰堤区域、163m	平成15. 3. 14	〃 〃
	〃	2号堰堤区域	平成16. 3. 17	〃 〃
11	よ う が 沢	堰堤区域、1,500m	昭和47. 11. 24	三宅村 神 着
	〃	堰堤区域	平成16. 3. 17	〃 〃
12	道 の 沢	109m	昭和59. 1. 28	〃 〃
	〃	108m	昭和60. 12. 21	〃 坪 田
	〃	706m	昭和62. 1. 26	〃 〃
	〃	230m	平成15. 3. 14	〃 〃
	〃	堰堤区域	平成17. 3. 22	〃 〃
13	田ヶ沢 (坪田沢)	200m	昭和59. 1. 28	〃 〃
14	筑 穴 ヶ 沢	160m	昭和59. 1. 28	〃 〃
	〃	堰堤区域	平成16. 3. 17	〃 〃
15	川 田 沢	1号堰堤区域	平成14. 9. 24	三宅村 神 着
	〃	2号堰堤区域、612m	平成16. 12. 2	〃 〃
16	三 池 沢	1号堰堤区域	平成14. 9. 24	三宅村 坪 田
	〃	2号堰堤区域	平成16. 3. 17	〃 〃

区 分	指定河川の名称	規 模	告示年月日	所 在 地
	伊ヶ谷沢	650m	平成16. 12. 2	三宅村 伊ヶ谷
17	伊ヶ谷沢	堰堤区域、840m	平成12. 5. 10	三宅村 伊ヶ谷
	伊ヶ谷沢	1号堰堤区域、574m	平成15. 3. 14	三宅村 伊ヶ谷
	伊ヶ谷沢	2号堰堤区域	平成15. 12. 16	三宅村 伊ヶ谷
	伊ヶ谷沢	管理用通路	平成25. 3. 15	三宅村 伊ヶ谷
18	カニガ沢	1号堰堤区域、116.5m	平成15. 1. 10	三宅村 坪田
	カニガ沢	管理用通路	平成25. 3. 15	三宅村 坪田
19	仏沢	1号堰堤区域	平成15. 1. 10	三宅村 坪田
	仏沢	2号堰堤区域	平成17. 8. 3	三宅村 坪田
20	御子敷沢	堰堤区域	平成15. 1. 10	三宅村 坪田
	御子敷沢	135m	平成17. 4. 26	三宅村 坪田
	御子敷沢	2号堰堤区域	平成17. 8. 3	三宅村 坪田
	仏沢・御子敷沢	256m	平成26. 3. 18	三宅村 坪田
21	大沢	1号堰堤区域、158m	平成15. 1. 10	三宅村 坪田
	大沢	管理用通路	平成22. 6. 15	三宅村 坪田
	大沢	25m	平成26. 3. 18	三宅村 坪田
22	タデノ沢	1号堰堤区域	平成15. 1. 10	三宅村 阿古
	タデノ沢	2号堰堤区域	平成17. 4. 26	三宅村 阿古
23	榎木沢	1号堰堤工	平成15. 3. 14	三宅村 阿古・伊ヶ谷
	榎木沢	2号堰堤工	平成17. 3. 22	三宅村 阿古・伊ヶ谷
	榎木沢	290m	平成17. 8. 3	三宅村 阿古・伊ヶ谷
	榎木沢	290m	平成20. 3. 5	三宅村 阿古・伊ヶ谷
24	清水沢	堰堤区域	平成16. 1. 28	三宅村 伊ヶ谷
25	大久保沢	堰堤区域	平成15. 12. 16	三宅村 伊豆
	大久保沢	床固工、導流堤	平成16. 3. 17	三宅村 伊豆
	大久保沢	管理用通路	平成25. 3. 15	三宅村 伊豆
26	厚木沢	堰堤区域	平成15. 12. 16	三宅村 坪田
	厚木沢	2号堰堤区域	平成23. 1. 4	三宅村 坪田
27	川田沢支川	1号堰堤区域	平成15. 12. 16	三宅村 神着
	川田沢支川	2号堰堤区域	平成18. 8. 11	三宅村 神着
	川田沢支川	2号堰堤区域	平成19. 3. 13	三宅村 神着
28	赤場暁沢	堰堤区域	平成15. 12. 16	三宅村 坪田
	赤場暁沢	流向制御工	平成17. 3. 22	三宅村 坪田
29	釜方沢	堰堤区域、導流堤453m	平成16. 3. 17	三宅村 坪田
30	大穴沢	堰堤区域	平成16. 1. 28	三宅村 阿古
	大穴沢	2号堰堤区域	平成23. 10. 21	三宅村 阿古
31	岡堀沢	堰堤区域	平成16. 1. 28	三宅村 阿古
32	鉄砲沢・夕景沢	1号2号堰堤区域、流向制御工	平成16. 1. 28	三宅村 阿古
	鉄砲沢・夕景沢	3号堰堤区域	平成19. 10. 26	三宅村 阿古
33	湯舟沢・土佐沢	堰堤区域、流向制御工	平成16. 1. 28	三宅村 神着
34	権取沢	堰堤区域	平成16. 1. 28	三宅村 神着
	権取沢	流向制御工	平成17. 3. 22	三宅村 神着
35	しらみ沢	堰堤区域、380m	平成16. 3. 17	三宅村 神着
36	空栗沢	床固工	平成17. 8. 3	三宅村 伊ヶ谷
37	芦穴沢	床固工	平成17. 8. 3	三宅村 阿古
38	立根	床固工	平成17. 8. 3	三宅村 阿古
39	角屋敷	堰堤区域、150m	平成17. 4. 26	三宅村 阿古
40	美茂井沢	堰堤区域、250m	平成18. 8. 11	三宅村 神着
41	三ノ輪沢	堰堤区域、173m	平成18. 8. 11	三宅村 神着
42	ハルゲ沢	堰堤区域、125m	平成19. 5. 22	三宅村 神着

(2) 海岸保全

ア 海岸保全区域として指定されている箇所は、三宅島6箇所、御蔵島2箇所計8箇所であり、波浪や海岸浸食から生活環境を保全するため、コンクリート護岸、消波堤等の整備事業を実施している。

横まま海岸は昭和59年度、御蔵海岸は平成9年度、ナゴラ海岸は平成10年度に事業を完了している。なお、阿古海岸（夕景）は、平成12年度の噴火活動に伴う地殻変動により沈下した護岸の嵩上げ工事を平成13年度に実施している。同様にナゴラ海岸も護岸の嵩上げ工事を平成14年度に実施している。また、阿古海岸（釜庭）は、平成14年7月の台風で、ナゴラ海岸は平成14年8月及び10月の台風で被災したため、復旧工事を平成14年度に実施している。さらに、平成21年度からは、老朽化対策工事（横まま海岸）、破堤防止工事（阿古海岸）など大規模な維持管理工事を実施している。

イ 海岸保全区域指定地

区分	指定海岸の名称	延長 m	告示年月日	指定庁
1	阿古海岸	900	昭和34.11.10	東京都（建設局）
2	横まま海岸	500	昭和41.12.12	東京都（ 〃 ）
3	ナゴラ海岸	420	平成3.2.22	東京都（ 〃 ）
4	御蔵海岸	300	昭和34.11.10	東京都（ 〃 ）
	〃	380	昭和61.7.28	東京都（ 〃 ）
	〃		平成24.8.3	東京都（ 〃 ）
5	三池港海岸	1,740	昭和37.9.15	東京都（港湾局）
	〃		平成14.1.16(一部変更)	東京都（ 〃 ）
6	大久保港海岸	630	昭和34.7.2	東京都（ 〃 ）
7	阿古漁港海岸	750	昭和51.10.30	東京都（ 〃 ）
	〃		平成9.6.2(一部変更)	東京都（ 〃 ）
8	御蔵島港海岸	330	昭和37.9.15	東京都（ 〃 ）

5. 自然公園

三宅島、御蔵島の両島は、すぐれた自然環境を持つことから、富士箱根伊豆国立公園に指定され、これら自然環境の保護とその利用の増進が図られている。

(1) 指 定

昭和30年4月1日 国定公園指定（伊豆七島国定公園）
 昭和32年10月 特別地域指定
 昭和39年7月7日 国立公園指定（富士箱根伊豆国立公園に編入）
 昭和59年5月25日 御蔵島の公園計画を変更
 平成5年7月19日 御蔵島の公園計画を変更
 平成6年11月7日 三宅島の公園計画を変更

三宅島の公園計画の変更は、再検討中の昭和58年10月に島の南西部で火山爆発が生じ、島内の自然及び社会状況に著しい変化をもたらしたため、再検討の対象から除外されたが、社会経済情勢の変化に対応して、適正な保護と利用を図るため平成6年11月、三宅島に係る公園計画の変更が行われた。

(2) 公園区域の現況

公園計画に基づいて、公園区域内（海面を除く。）に特別地域（特別保護地区を含む。）を指定し、国立公園の風致の維持と適切な利用を図っている。また、公園区域内の優れた海域景観の保護を図るため、伊豆諸島地域では初の海域公園地区を三宅島に指定している。

〔陸域部分、単位：面積(ha)、比率(%)〕

区 分		三 宅 島		御 蔵 島	
		面 積	構 成 比	面 積	構 成 比
特別地域	特別保護地区	371	6.7	342	17.4
	第1種特別地域	560	10.1	182	9.3
	第2種特別地域	1,288	23.4	361	18.3
	第3種特別地域	2,520	45.7	1,022	51.9
	小 計	4,739	85.9	1,907	96.9
普通地域		444	8.1	46	2.3
公園区域総面積		5,183	94.0	1,953	99.2
公園区域外面積		331	6.0	16	0.8
総 面 積		5,514	100.0	1,969	100.0

〔陸域の公園区域の地先海面、単位：面積(ha)〕

海域公園地区	51.6	(2地区)	—	—
--------	------	-------	---	---

(3) ア 自然公園の許可届出等に関する事務

- (ア) 特別地域内における行為の申請を許可し、これに必要な条件を付すこと。
- (イ) 普通地域内における行為の届出を受理し、これに係る必要な措置をとること。
- (ウ) 上記事項に係る現状回復命令等を行うこと。

(以上、東京都支庁長委任規則に定める範囲内の事務に限る。)

- (エ) 知事、環境大臣の権限に属する申請書、届出書に係る調査及び副申に関すること。
- (オ) その他、各種行為、届出に係る申請書、届出書の作成指導及び各種相談に関すること。

イ 公園施設の維持管理業務

26年4月1日現在、休憩舎7棟、炊事場3棟、公衆便所10棟他の公園施設を設置している。
また、これら施設の快適な利用を図るため、清掃等の維持管理業務を年間を通じて行っている。

区 分	三 宅 島								御蔵島			計
	大久保浜	錆が浜	三池浜	新濤池	大路池	三七山	火の山峠	伊豆岬	黒崎高尾山	御山縦走線歩道		
休憩舎	○	○	○		○	○	○	○				7棟
炊事場	○	○	使用禁止									3棟
便 所	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	10棟
備 考									エビネ公園	御代ヶ池入口	鈴原湿原入口	

6. 用地取得補償関係

(1) 事業別用地買収状況

25年度における用地取得面積は7,053.54㎡、物件補償は4件である。

事業名	用地取得	取得面積	物件移転補償
道路整備事業	7件 8筆	1,250.92㎡	2件
交通安全施設事業	0件 0筆	0㎡	0件
砂防整備事業	19件 18筆	5,802.62㎡	2件
計	26件 26筆	7,053.54㎡	4件

7. 港湾空港関係

港湾・漁港・空港一覧表

種類 島名	港湾	漁港			空港
	地方港湾	第1種	第2種	第4種	地方管理空港
三宅島	三池、大久保	湯の浜、伊ヶ谷 大久保	坪田	阿古	三宅島
御蔵島	御蔵島				

- (注) 1 第1種漁港は利用範囲が地元漁業を主とするもの。
 第2種漁港は利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの。
 第4種漁港は離島その他辺地にあつて漁場の開発、又は漁船の避難上特に必要なもの。
 2 地方管理空港は地方的な航空運送を確保するために必要な飛行場。

港湾施設の概要

(平成26年4月1日現在)

島名	種別	港名	管理者設立 年月日	対象船舶	主要港湾施設
三宅島	港	三池	昭和32. 11. 5	500~5,000トン —————	岸壁 230m 船客待合所 1棟
		大久保	昭和28. 3. 31	小型船 —————	物揚場 30m
御蔵島		御蔵島	昭和32. 11. 5	5,000トン 小型船 —————	岸壁(両岸接岸) 300m 物揚場 182m 船揚場 2,335㎡

(注) 大久保港は、昭和37年以降、整備を中止している。

都 営 漁 港 施 設 一 覧

(平成26年 4 月 1 日現在)

島 名	港 名	種 類	指 定 日	主 要 漁 港 施 設
三宅島	湯の浜	1	昭和30. 10. 21 " 46. 8. 31	防波堤 252m 岸壁 210m 船揚場 2,317㎡
	伊ヶ谷	1	" 27. 6. 23 " 53. 4. 1	防波堤 240m 岸壁・物揚場 298m 船揚場 2,137㎡
	大久保	1	" 27. 7. 29 " 58. 4. 26	防波堤 357m 物揚場 101m 船揚場 1,580㎡
	坪 田	2	" 26. 7. 10 " 28. 1. 6	防波堤 638m 岸壁・物揚場 435m 船揚場 2,390㎡
	阿 古	4	" 26. 7. 10 " 27. 6. 9	防波堤 202m 岸壁・物揚場 1,060m 船揚場 3,090㎡

空 港 の 概 要

概 要	規 模
開 港	昭和41. 3. 1 (R/W=1,100m)
拡張供用開始	昭和51. 11. 15 (エプロン新設 R/W=1,200m)
標 高	19.9m
運 用 時 間	① 4月21日から5月10日まで及び7月16日から 8月31日までの期間 9:00~17:15 ② ①の期間を除く期間 9:00~17:00
飛 行 場 面 積	280,868㎡

(平成26年 4 月 1 日現在)

施 設 の 現 況

施 設 名	規 模
滑 走 路	1,200m×30m
着 陸 帯	1,320m×120m
誘 導 路	80m×18m
エ プ ロ ン	11,357㎡ スポット数 6
暫定ターミナルビル	鉄骨造平屋建 延491㎡
駐 車 場	960㎡ 53台

(平成26年 4 月 1 日現在)

平成25年度乗船客数

三宅島

御蔵島

月	東京⇒三宅				三宅⇒東京				東京⇒三宅⇒御蔵				御蔵⇒三宅⇒東京				合計					
	入	出	予定	実績	就航率	入	出	予定	実績	就航率	入	出	予定	実績	就航率	入	出					
4	2,618	114	30	26	87	189	2,271	30	23	77	165	40	30	15	50	99	178	30	17	57	264	218
5	3,695	125	31	31	100	136	3,379	31	30	97	825	37	31	25	90	18	698	31	27	87	843	735
6	2,936	172	30	30	100	167	2,584	30	27	90	889	53	30	25	83	21	810	30	23	77	910	863
7	4,045	225	31	31	100	197	3,601	31	31	100	908	56	31	22	71	268	1,010	31	27	87	1,176	1,066
8	5,804	162	31	31	100	180	5,518	31	31	100	1,799	71	31	28	90	107	1,768	31	29	94	1,906	1,839
9	2,912	84	30	27	90	87	2,367	30	24	80	979	21	30	21	70	124	971	30	10	33	1,103	992
10	2,855	76	31	26	84	92	2,315	31	23	74	417	17	31	17	55	63	421	31	17	55	480	438
11	3,359	95	30	30	100	97	2,880	30	29	97	274	28	30	14	47	17	197	30	17	57	291	225
12	2,275	82	31	26	84	175	2,389	31	25	81	71	10	31	13	42	1	50	31	11	35	72	60
1	2,411	50	31	31	100	46	2,051	31	28	90	83	10	31	14	45	10	30	31	15	48	93	40
2	1,850	40	28	24	86	36	1,443	28	21	75	54	5	28	13	46	3	29	28	12	43	57	34
3	2,398	53	31	27	87	224	2,552	31	25	81	64	19	31	12	39	18	83	31	13	42	82	102
計	37,158	1,278	365	340	93	1,626	33,350	365	317	87	6,528	367	365	222	61	749	6,245	365	218	60	7,277	6,612
24	38,584	1,603	365	334	92	2,134	34,674	365	316	87	7,253	537	365	218	60	506	6,403	365	211	58	7,759	6,940
23	39,489	1,457	366	326	89	2,227	35,967	366	320	87	6,394	444	366	210	57	408	5,603	366	320	60	6,802	6,047
22	43,002	1,889	365	337	92	2,317	38,287	365	326	89	8,135	509	365	225	62	766	7,546	365	242	66	8,901	8,055
21	43,105	2,137	365	334	92	2,205	39,127	365	318	87	8,606	551	365	232	64	593	7,420	365	226	62	9,199	7,971
20	40,496	2,169	365	323	88	3,271	36,636	365	325	89	8,615	515	365	239	65	605	7,905	365	249	68	9,220	8,420
19	45,969	2,619	366	336	92	3,043	45,565	366	341	93	9,101	405	366	249	68	381	7,668	366	250	71	9,482	8,073
18	46,540	2,834	365	338	93	2,921	46,558	365	305	92	8,010	458	365	240	65	526	7,145	365	244	67	8,536	7,603

平成25年度港別岸壁利用状況

月	三池港						阿古漁港						伊ヶ谷漁港					
	定期船		臨時船		計		定期船		臨時船		計		定期船		臨時船		計	
	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数
4	32	122,784	10	4,495	42	127,279	14	61,803	12	3,810	26	65,613	4	17,658	6	2,717	10	20,375
5	22	99,429	5	1,952	27	101,381	34	165,108	15	6,002	49	171,110	5	21,495	6	2,898	11	24,393
6	12	59,904	8	3,527	20	63,431	37	180,084	20	7,128	57	187,212	10	47,610	8	2,622	18	50,232
7	37	141,969	17	7,226	54	149,195	23	88,251	14	4,872	37	93,123	2	7,674	4	1,733	6	9,407
8	37	141,969	19	8,325	56	150,294	22	84,414	8	2,248	30	86,662	3	11,511	4	1,860	7	13,371
9	11	42,207	6	2,651	17	44,858	35	134,295	18	6,653	53	140,948	6	23,022	3	1,368	9	24,390
10	5	24,960	4	1,721	9	26,681	28	134,001	10	3,716	38	137,717	19	93,693	9	3,904	28	97,597
11	28	132,846	16	6,785	44	139,631	25	124,800	19	7,092	44	131,892	6	29,952	6	2,609	12	32,561
12	29	136,683	10	4,317	39	141,000	10	48,765	12	3,713	22	52,478	12	59,904	9	3,796	21	63,700
1	33	163,581	11	4,751	44	168,332	10	49,920	9	3,204	19	53,124	16	76,407	10	4,269	26	80,676
2	6	29,952	4	2,105	10	32,057	24	119,808	8	3,027	32	122,047	15	74,880	9	4,212	24	79,092
3	26	129,792	13	6,170	39	135,962	11	54,912	11	4,476	22	59,388	16	79,872	12	5,329	28	85,201
合計	278	1,226,076	123	54,025	401	1,280,101	273	1,246,161	156	55,941	429	1,301,314	114	543,678	86	37,317	200	580,995

月	御蔵島港					
	定期船		臨時船		計	
	回数	トン数	回数	トン数	回数	トン数
4	32	129,714	7	2,353	39	132,067
5	56	261,072	6	2,406	62	263,478
6	48	232,686	7	2,219	55	234,905
7	49	188,013	8	2,852	57	190,865
8	56	214,872	6	1,854	62	216,726
9	41	157,317	8	2,852	49	160,169
10	34	167,418	7	2,555	41	169,973
11	31	153,597	5	1,489	36	155,086
12	24	117,498	9	2,915	33	120,413
1	19	92,538	8	2,584	27	95,122
2	25	124,800	7	2,353	32	127,153
3	25	124,800	6	2,260	31	127,060
合計	440	1,964,325	84	28,692	524	1,993,017

24	265	1,139,301	126	55,361	391	1,194,662	291	1,299,057	150	51,885	441	1,350,942	104	482,991	97	42,004	201	524,995
23	290	1,311,006	136	63,269	426	1,374,275	256	1,164,762	148	50,143	404	1,214,905	105	474,495	107	52,925	212	527,420
22	288	1,281,873	139	59,974	427	1,341,847	296	1,352,092	147	48,971	443	1,401,063	81	390,222	108	47,413	189	437,635
21	259	1,168,623	139	59,765	398	1,228,388	342	1,540,120	175	66,041	517	1,606,161	60	287,748	82	34,568	142	322,316
20	192	868,680	122	54,197	314	922,877	412	1,834,644	206	68,927	618	1,903,571	44	210,564	93	40,961	135	251,532
19	325	1,465,857	193	81,983	518	1,547,840	343	1,594,707	258	97,511	601	1,692,218	9	42,429	15	6,085	24	48,514
	431	1,885,902	87	29,646	518	1,915,548												
	429	1,909,413	91	32,393	520	1,941,806												
	467	2,085,819	96	31,567	563	2,117,386												
	469	2,088,321	94	32,267	563	2,120,588												
	488	2,166,864	93	31,209	581	2,198,073												
	504	2,267,736	80	26,777	584	2,294,513												

平成25年（度）定期便使用実績一覧表

(ANA)

三宅島空港

項目	就航数		欠航数						就航率		東京 → 三宅島		三宅島 → 東京		合計		
	予定 便数 機	就航 機	強風		機		視界		機		ガソ		機		その他		機
			着	発	着	発	着	発	着	発	着	発	着	発	着	発	
1	11	0.5	0	0	0	0	10	11	0	0	0	56	8.93	0	0	56	8.93
2	28	4	5	5	0	0	19	19	0	0	224	6.25	155	224	448	37.72	
3	31	9	4	4	0	0	18	18	0	0	504	10.7	364	504	1008	41.5	
4	30	11	3	3	0	0	15	15	1	1	616	9.25	349	616	1,232	32.95	
5	31	12	0	0	2	2	14	14	3	3	672	9.82	444	672	1,344	37.95	
6	26	14	0	0	7	7	4	4	1	1	784	7.27	393	784	1,568	28.7	
7	28	6	2	2	1	1	19	19	0	0	336	7.74	194	336	672	32.7	
8	31	13	1	1	0	0	17	17	0	0	728	16.76	563	728	1,456	47.05	
9	30	24	1	1	0	0	4	4	1	1	1344	15.55	783	1344	2,688	36.9	
10	31	19	0	0	1	1	6	6	5	5	1,064	13.82	682	1,064	2,128	38.96	
11	23	7	1	1	0	0	15	15	0	0	392	12.76	266	392	784	40.31	
12	31	6	9	9	1	1	15	15	0	0	336	7.14	227	336	672	37.35	
年計	331	125.5	26	26	12	12	156	157	11	11	7,056	11.78	4,420	7,000	14,056	37.36	
1	31	6	6	6	0	0	16	16	3	3	336	7.14	150	336	672	25.89	
2	28	11	2	2	1	1	13	13	1	1	616	9.42	383	616	1232	35.8	
3	31	5	8	8	3	3	15	15	0	0	280	24.64	158	280	560	40.54	
年度計	351	134	33	33	16	16	153	153	15	15	7,504	12.11	4,592	7,504	15,008	36.65	
24	345	132.5	13	13	12	12	181	182	269	26	7,448	13.78	5,070	7,392	14,840	41.08	
23	354	120	6	6	12	12	212	212	4	4	6,720	14.644	5,336	6,720	12,440	40.4	
22	365	117	3	3	11	11	231	231	3	3	6,552	13.61	4,786	6,552	13,104	43.3	
21	342	123	4	4	25	25	182	182	8	8	6,888	19.25	4,847	6,888	13,776	44.3	
20	320.5	166	3	3	16	16	132	134	4	3	2,897	31.3	7,257	9,240	18,480	54.9	

※ 臨時便は、就航率には含まない。

第 8 教 育

第 8 教 育

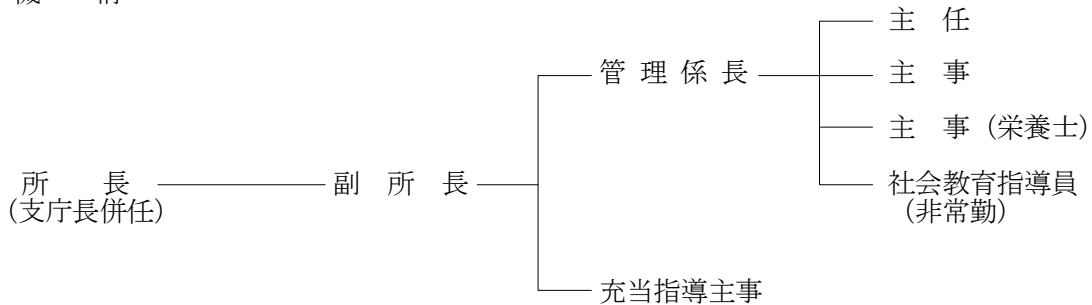
1. 教育庁三宅出張所の概要

(1) 沿 革

昭和23年教育委員会法施行、同年11月東京都教育庁が設置され、これに伴い三宅支庁内に教育庁三宅出張所が開設された。所長、副所長、その他職員計4名が配置されたが、何れも三宅支庁職員の兼務であった。

昭和26年1月	一般職員専任となる。
昭和31年4月	専任副所長（係長）配置
昭和34年4月	充当指導主事配置
昭和35年5月	大字伊豆友地所在の経済局所管建物の一部を庁舎とする。
昭和41年4月	栄養士配置
昭和42年4月	所長（支庁長併任）、副所長、主査の体制となる。
昭和44年4月	社会教育指導員（非常勤）配置
昭和47年12月	三宅支庁舎の完成に伴い、その一部を借用し移転する。
平成12年8月	噴火災害に伴い、都立秋川高等学校に避難し、臨時出張所を設置する。
平成17年3月	避難指示解除に伴い、臨時出張所を閉鎖し、三宅島にて業務を再開。
平成24年3月	支庁舎改築に伴い、その一部を借用し移転する。

(2) 機 構



(3) 職 員

区分	職名	所 長	副所長	係 長	指導主事	主 任	主 事	主 事 (栄養士)	社会教育 指 導 員	計
専 任			1	1	1	1	1	1	1	7
併 任		1								1

- 所 長 三宅支庁長が併任。
- 充当指導主事 学校職員で三宅村立三宅小学校所属。
- 社会教育指導員 非常勤職員で1か月16日勤務、任期は1年。

(4) 決 算 (都 費)

(単位：千円)

科目		年度		
		23	24	25
教 育 費		26,064	23,522	27,683
	教 育 管 理 費	4,804	4,698	5,155
	小 中 学 校 費	11,423	9,381	11,596
	小 学 校 管 理 費	5,875	5,068	6,186
		中 学 校 管 理 費	5,548	4,313
	高 等 学 校 費	51	95	99
	福 利 厚 生 費	6,992	6,190	7,135
	教 育 指 導 奨 励 費	2,037	2,329	2,885
	社 会 教 育 費	757	829	813

2. 村教育委員会

(1) 委員数

(平成26年9月1日現在)

区分		村別		
		三 宅 村	御 蔵 島 村	合 計
委 員 数		5	3	8

(2) 事務局職員

(平成26年9月1日現在)

村別	職種別							
	教育長	課 長	係 長	主 任	主事(補)	調理員	用務員	計
三 宅 村	1	1	2	1	2	(6)	(2)	7(8)
御 蔵 島 村	1				1	1	(1)	3(1)

() は、臨時職員で外書。

(3) 村別教育関係予算

平成25年度決算額（歳出）

（単位：千円）

科目		三宅村		御蔵島村	
		金額	比率	金額	比率
一般会計決算額		3,821,261	100.0	1,167,116	100.0
教育費		445,563	11.7	79,827	6.8
教育費の内訳	教育総務費	103,360	23.2	8,568	10.7
	小学校費	41,544	9.3	1,365	1.7
	中学校費	106,081	23.8	5,004	6.3
	社会教育費	21,000	4.7	10,178	12.8
	保健体育費	136,975	30.8	607	0.8
	校舎管理費	0	0	41,307	51.7
	学校給食費	36,603	8.2	12,798	16.0

平成26年度予算額（歳出）

（単位：千円）

科目		三宅村		御蔵島村	
		金額	比率	金額	比率
一般会計予算額		4,041,113	100.0	1,080,700	100.0
教育費		325,519	8.1	89,139	8.2
教育費の内訳	教育総務費	138,496	42.5	26,175	29.4
	小学校費	39,614	12.2	1,290	1.4
	中学校費	39,152	12.0	2,457	2.8
	社会教育費	61,735	19.0	8,465	9.5
	保健体育費	10,536	3.2	636	0.7
	校舎管理費	0	0	37,474	42.0
	学校給食費	35,986	11.1	12,642	14.2

3. 学校教育

(1) 小中学校

ア 学校別児童・生徒数

(ア) 小学校

(平成26年9月1日現在)

学校名	創立・開校	学級数	児 童 数							
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
小 学 校	三 宅	平成19年4月	7	15	21	17	9	11	13	86
	御 蔵 島	明治7年	3	3	5	1	2	1	0	12

※三宅小学校の学級数は、特別支援学級（固定級）1クラスを含む。

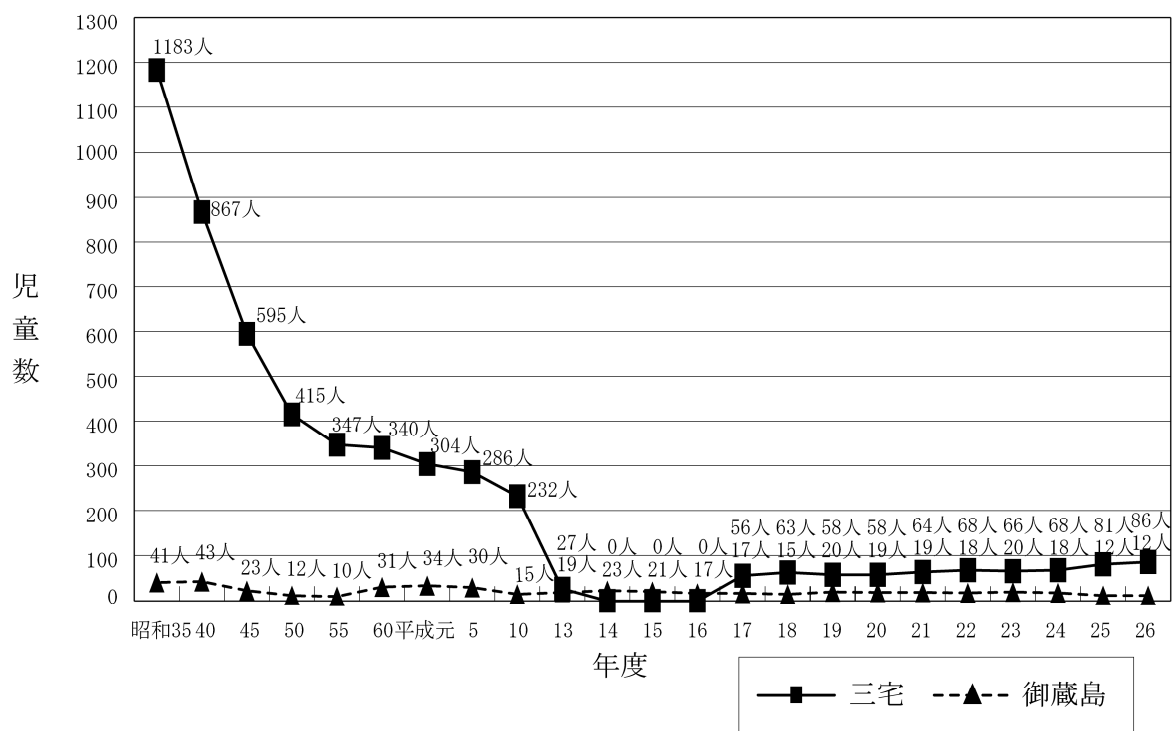
(イ) 中学校

(平成26年9月1日現在)

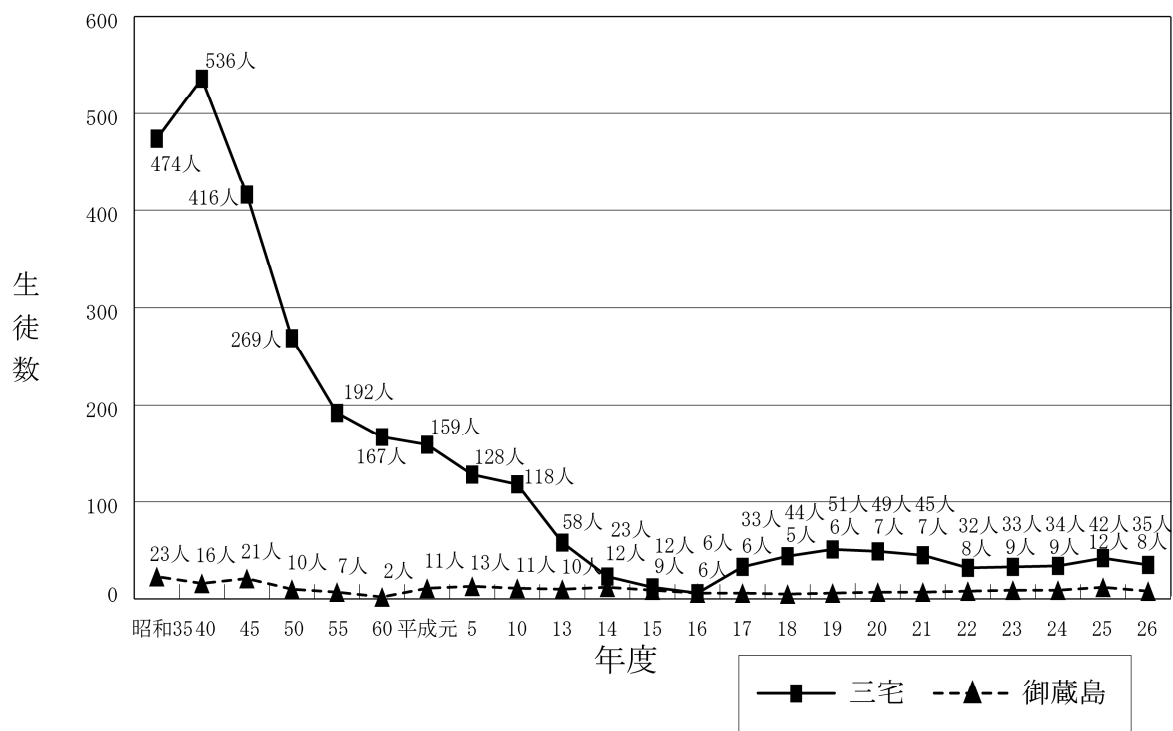
学校名	創立・開校	学級数	生 徒 数				
			1年	2年	3年	計	
中 学 校	三 宅	平成19年4月	3	8	14	13	35
	御 蔵 島	昭和22年4月	3	1	6	1	8

イ 児童・生徒数の推移

小学校



中学校



ウ 学校別教職員数

種別	学校名	校長	副校長	主幹教諭	主任教諭	教諭	主任養護教諭	養護教諭	事務栄養士	計	その他
											指導主事
小学校	三宅	1	1	0	7	4	1	0	2	16	1
	御蔵島	1	1	1	3	1	0	1	1	9	0
	計	2	2	1	10	5	1	1	3	25	1
中学校	三宅	1	1	1	1	9	0	1	1	15	0
	御蔵島	(1)	1	2	0	8	0	(1)	1(1)	12	0
	計	1	2	3	1	17	0	1	2	27	0
合計		3	4	4	11	22	1	2	5	52	1

() : 兼務

エ 学校施設

※は、小・中共用

学校名		事項					
		普通教室	特別教室	体育館	プール	運動場	備考
小学校	三宅	6室	9(1)室	797㎡	25m×10m	6,868㎡	() : 総合相談室
	御蔵島	6室	3室	768㎡※	25m×12m※	3,751㎡※	サブプール 5m×8m
中学校	三宅	3室	8室	872㎡	25m×11m	15,624㎡	
	御蔵島	3室	5室	768㎡※	25m×12m※	3,751㎡※	サブプール 5m×8m

[御蔵島小・中学校は、併設校であり、校舎、体育館、プール、運動場は一つの施設を共用している。]

(2) 学校給食

ア 概 要

三宅島における給食は、昭和10年頃から神着小学校内においてミルク給食が開始されている。その後、戦争により7年間中断されたが、昭和25年、伊ヶ谷小学校を皮切りに再開、33年には全小学校がミルク給食を始めた。昭和41年には、三宅村学校給食共同調理場が設置され、同年9月から完全給食を開始した。

昭和58年の噴火災害による調理場の埋没時も学校給食は中断されることなく、昭和60年には新施設が完成し、いっそうの内容充実に努めていた。

平成12年9月からは三宅島雄山噴火災害により全島避難となり、児童・生徒の避難先である、東京都あきる野市の都立三宅高校秋川校舎（都立秋川高校内）にて、まかない食を実施した。平成17年2月に全島避難が解除され、同年4月より三宅島での教育活動再開と同時に学校給食も再開された。平成18年4月にはドライ方式の給食共同調理場が完成した。平成23年4月には栄養職員が配置され、より充実した給食を実施している。

御蔵島においては、昭和50年に給食調理室を整備し、翌年9月から小中学校合同での完全給食が開始された。昭和59年5月には栄養職員が配置され、一層の充実が図られた。

平成6年にはこれまでの実績が認められ、「東京都学校給食優良校」として表彰された。さらに給食開始20周年を迎えた平成8年には、学校給食優良校として文部大臣賞を受賞した。

平成12年には新校舎が完成し、給食調理室は完全ドライシステムとなり、ランチルーム（多目的室）にて、小・中学校一斉の給食を実施している。

イ 給食状況（平成26年度）

	三宅村	御蔵島村
1日給食数	153食	43食
米飯給食(週)	3.4回	2.5回

※ 米飯給食回数は、平成25年度実績による。

月額平均給食費

区 分	三宅村	御蔵島村
小学校低学年	4,000円	4,862円
小学校中学年	4,300円	—
小学校高学年	4,500円	5,209円
中 学 生	4,700円	5,556円

※ 御蔵島村は給食費の全額が村より補助されるため、保護者負担なし。

4. 中学卒業者の動向（平成25年度）

進路別 学校別	進 学 者		そ の 他		卒業者数	進 学 率 %
	都立三宅 高等学校	島 外	島 内	島 外		
三 宅	10	2	0	0	12	100
御 蔵 島	0	3	0	0	3	100
計	10	5	0	0	15	100

5. 都立三宅高等学校

(1) 生徒在籍数

（平成26年9月1日）

学科	学年 性別	1 学 年			2 学 年			3 学 年			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
普 通 科		4	2	6	2	1	3	1	3	4	7	6	13
併 合 科	農 業	4	1	5	1	0	1	0	0	0	5	1	6
	家 政	0	0	0	0	2	2	2	3	5	2	5	7
計		8	3	11	3	3	6	3	6	9	14	12	26

(2) 進路状況

卒業年度	島 内		島 外		合 計
	自営・その他	就 職	進 学	就職・その他	
16	0	5	2	4	11
17	0	3	8	3	14
18	0	1	11	2	14
19	4	2	7	4	17
20	4	1	13	1	19
21	2	1	7	3	13
22	0	0	12	2	14
23	0	1	12	3	16
24	0	0	17	2	19
25	0	0	6	2	8

6. 社会教育

(1) 概要

教育庁三宅出張所では、社会教育指導員を1名配置し、三宅村・御蔵島村との連携を図りながら、社会教育の振興、文化財の保存・公開に取り組んでいる。引き続き、社会教育情報の収集と提供を通じて、住民の学習、文化活動等を支援していく。

(2) 社会教育事業

三宅村では、住民の学習、文化・スポーツ等の活動に対する関心が噴火活動以前の状態に回復してきた。

御蔵島村では、村・都との連携で小規模ながらも活動は盛んに行なわれている。

[三宅村における社会教育事業に関する計画]

事業名	場所	開催予定日
成人式	島内	平成27年1月3日
島しょ芸術文化振興事業(寄席)	島内	平成26年11月

[御蔵島村における社会教育事業に関する計画]

事業名	場所	開催予定日
島しょ芸術文化振興事業(コンサート)	小・中体育館	平成26年11月
御蔵島村運動会	小・中グラウンド	平成26年10月

(3) 社会教育施設

地区名	公民館 総合開発センター	図書館	体育館	郷土資料館 観光資料館	テニス・ゲート ボールコート
三宅村	—	○	○	○	○
御蔵島村	○(総)	△	△	○	△

※ ○印は単独、△印は他の施設に併設。

(4) 社会教育団体

() 内は人数

団体名等	体育協会・体育会	青年団	婦人会	老人クラブ	体育指導員	青少年委員
三宅村	1	5	5	5	(10)	(5)
御蔵島村	1	0	1	—	(2)	—

(5) 16ミリフィルム貸出状況

都立多摩図書館から、16ミリ映画フィルムの貸出しを受け、三宅村・御蔵島村の幼児、小中学生の教材として、また一般住民の鑑賞用として利用可能である。

7. 文化財

(1) 国指定文化財

区分	文化財名	指 定 年 月 日	所 在	備 考
重要文化財 (工芸品)	銅造観音菩薩立像	S32. 2. 19	三宅村	坪田(海蔵寺)
天然記念物	カラスバト	S46. 5. 19	地域を定めず指定	
	アカコッコ	S50. 2. 13		
	カンムリウミスズメ	S50. 6. 26		
	イイジママシクイ	S50. 6. 26		

(2) 東京都指定文化財

区 分		文 化 財 名	指 定 年 月 日	所 在	備 考
有 形 文 化 財	絵 画	板絵着色神馬図額 (多賀朝湖)	S32. 2. 21	御 蔵 島 村	稲根神社
		板絵着色大森彦七図額 (多賀朝湖)	S32. 2. 21	御 蔵 島 村	稲根神社
	工 芸 品	銅製鍍金銚子	S32. 2. 21	三 宅 村	神着 (御笏神社)
		銅製提子	S32. 2. 21	三 宅 村	神着 (御笏神社)
		陶製黒釉瓶子	S32. 2. 21	三 宅 村	神着 (御笏神社)
		銅鏡 (鸚鵡双綬鏡外10面)	S32. 2. 21	三 宅 村	神着 (御笏神社)
		銅鏡 (籬ニ菊花双鳥鏡外3面)	S32. 2. 21	三 宅 村	神着
		銅鏡 (菊花双鳥鏡外32面)	S32. 2. 21	三 宅 村	伊豆
		銅鏡 (菊花双鳥文)	S32. 2. 21	三 宅 村	伊ヶ谷 (后神社)
		銅鏡 (松喰鶴鏡外17面)	S32. 2. 21	三 宅 村	坪田 (二の宮神社)
		銅鏡 (蓬萊双鶴文外1面)	S32. 2. 21	三 宅 村	坪田
		銅鏡 (山吹双鳥文)	S32. 2. 21	三 宅 村	坪田
	銅鏡 (秋草双鳥文)	S32. 2. 21	御 蔵 島 村	成田市 (寄託中)	
	彫 刻	木造楽面 (2面)	S32. 2. 21	三 宅 村	伊豆 (御祭神社)
		木造薬師如来坐像	S51. 1. 16	三 宅 村	伊豆 (薬師堂)
	古 文 類	三宅島民政資料 (303冊、172通)	S32. 2. 21	三 宅 村	三宅支庁・都公文書館
三宅島民政資料 (107点)		S52. 4. 5	三 宅 村	神着	
有形民俗文化財	板絵着色島民生産労働図額	S52. 4. 5	御 蔵 島 村	稲根神社	
無 形 民 俗 文 化 財	御笏神社の神事	S32. 2. 21	三 宅 村	神着	
	御祭神社の神事	S32. 2. 21	三 宅 村	伊豆	
	三宅島の歌と踊り	S32. 2. 21	三 宅 村		
	御蔵島の歌と踊り	S32. 2. 21	御 蔵 島 村		
	三宅村坪田のヨミンチャラ	S53. 3. 16	三 宅 村	坪田	
富賀神社の巡り神輿	H24. 3. 21	三 宅 村			
史 跡	三宅島役所	S57. 3. 26	三 宅 村	神着	
	三宅島大里遺跡	S58. 5. 6	三 宅 村	坪田 (弥生中期)	
	三宅島ココマ遺跡	H元. 3. 24	三 宅 村	坪田 (弥生中期)	
旧 跡	ゾウ遺跡	S32. 2. 21	御 蔵 島 村	里 (縄文期)	
天 然 記 念 物	神着の大ザクラ	S11. 3. 4	三 宅 村	神着	
	ビヤクシン	S11. 3. 4	三 宅 村	神着	
	堂山のシイ	S11. 3. 4	三 宅 村	伊豆	
	御蔵島鈴原の湿原植物群落	S32. 2. 21	御 蔵 島 村	鈴原	
	三宅島椎取神社の樹叢と溶岩流	S60. 3. 18	三 宅 村	神着	
	御蔵島御代が池のツゲ	H19. 3. 15	御 蔵 島 村	御代が池	

(3) 村指定文化財

区 分		文 化 財 名	指 定 年 月 日	所 在	備 考
有 形 文 化 財	彫 刻	善光寺式阿弥陀如来像	S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）
	工 芸 品	バイキング号キャプスタンを台座にした灯籠と錨	H18. 2. 1	御 蔵 島 村	稲根神社境内
		普濟院銅鉦	S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）
		ヨイト船	S47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷
		刀劍	S47. 2. 20	三 宅 村	阿古
		御笏神社御刀	S47. 2. 20	三 宅 村	神着（御笏神社）
	古 書 文 類	小金井小次郎自筆証文（2通）	S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆
		井上正鉄の書	S47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷
	旧 跡	竹内式部の墓	S47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷（大林寺）
		不受不施派僧の墓	S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆、伊ヶ谷
小金井小次郎の首切り地蔵		S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）	
井上正鉄の墓		S47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷	
生島新五郎の墓		S47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷	
小金井小次郎建立の地蔵尊		S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（曾利川墓地）	
小金井小次郎井戸		S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆	
処刑場跡		S47. 2. 20	三 宅 村	伊ヶ谷	
天 然 記 念 物	大路藻	S47. 2. 20	三 宅 村	大路池	
	迷子椎	S47. 2. 20	三 宅 村	大路湖畔	
	普濟院の大桜	S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）	
	普濟院の蘇鉄	S47. 2. 20	三 宅 村	伊豆（普濟院）	
	ハコネコメツツジ	S47. 2. 20	三 宅 村	雄山山頂	
	リュウビンタイ	S47. 2. 20	三 宅 村	神着地区	
	オオシマハイネズ	S47. 2. 20	三 宅 村	阿古海岸地帯	
	ミヤケコゲラ	S47. 2. 20	三 宅 村	三宅島一円	
	オーストンヤマガラ	S47. 2. 20	三 宅 村	三宅島一円	
	タネコマドリ	S47. 2. 20	三 宅 村	三宅島一円	
	モスケミソサザイ	S47. 2. 20	三 宅 村	三宅島一円	
	ウチヤマセンニュウ	S47. 2. 20	三 宅 村	三宅島一円	
	シチトウメジロ	S47. 2. 20	三 宅 村	三宅島一円	
	御蔵の大ジイ	H24. 10. 31	御 蔵 島 村	南郷上原	

第 9 保 健 衛 生

第9 保 健 衛 生

1. 島しょ保健所三宅出張所の概要

(1) 沿 革

昭和23年1月保健所法の施行に伴い、同年10月1日発足した。島しょの地域は、中央保健所が管轄し、大島・三宅・八丈の3支庁管内にそれぞれ出張所が設置された。

当初、三宅支庁庁舎内で業務が行われていたが、昭和26年11月25日に三宅出張所庁舎が現在の場所三宅村伊豆に新築落成し、支庁から独立した庁舎で保健衛生活動が行われた。

昭和50年4月1日に中央保健所が都から中央区に移管されたため、島しょを管轄する保健所として新たに島しょ保健所が設置され、その出張所となった。

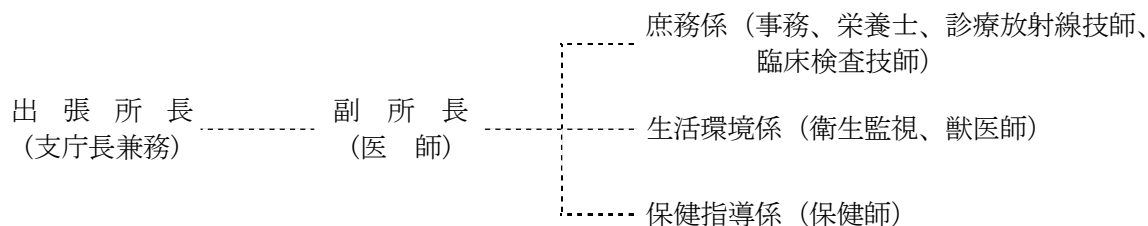
平成12年6月に端を発した三宅島雄山の噴火災害による全島民の島外避難に伴い、平成12年9月11日に臨時事務所を東京都公文書館に開設された。

その後、平成13年8月19日に三宅支庁のある都庁第一庁舎南41階に仮事務所を設置し保健所活動を行った。

避難後4年を経過して、平成16年11月1日より三宅島にて一部職員（庶務、衛生監視）による業務を再開した。

平成17年2月1日に全島避難が解除され、同年4月より全職員による業務を再開した。

(2) 組 織



(3) 職員

(平成26年4月1日現在)

区 分	総 数	事 務	医 師	保 健 師	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	管 理 栄 養 士	獣 医 師	衛 生 監 視	一 般 技 能
出張所長 (支庁長兼務)	(1)									
副 所 長										
庶 務 係	6	3			1	1	1			
生活環境係	3							1	2	
保健指導係	2			2						
(現 員)	11	3		2	1	1	1	1	2	

(4) 土地・建物

種 類	種 目	数 量	備 考
土 地	庁舎敷地	3,629.55m ²	
	計	3,629.55m ²	
建 物	庁 舎	1棟 405.49m ²	(延面積)
	計	1棟 405.49m ²	

(5) 平成25年度決算状況

表1 歳入 (単位:円)

科 目	金 額
総 額	5,082,950
使 用 料	3,632,350
手 数 料	1,450,600
財 産 収 入	0
諸 収 入	0

表2 歳出 (単位:円)

科 目	金 額
総 額	10,777,687
福 祉 保 健 管 理 費	66,475
保 健 政 策 費	9,200,372
保 健 政 策 費	9,094,225
健 康 推 進 費	87,760
特 殊 疾 病 対 策 費	18,387
障 害 者 施 策 推 進 費	246,836
精 神 保 健 福 祉 費	246,836
健 康 安 全 費	1,264,004
食 品 保 健 費	556,260
薬 務 費	0
生 活 環 境 費	298,702
感 染 症 対 策 費	409,042
施 設 整 備 費	2,935,275

人件費を含まない

2. 医 療

(1) 医療施設及び医療従事者

(平成25年12月31日現在)

区 分	医 療 施 設				医 療 関 係 者											
	診 療 所	歯 診 科 所	助 産 所	計	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	助 産 師	保 健 師	看 護 師	准 看 護 師	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	管 理 栄 養 士	歯 科 衛 生 士	計
神 着	1	1		2	3(1)	1	1			7	2	1	1		1	17
伊 豆	*1			1	1				2			1	1	1		6
阿 古	2(△1)			2						1	3					4
坪 田	1(△1)			1												0
御 蔵 島	1			1	1					1	1					3
計	6	1		7	5	1	1	0	2	9	6	2	2	1	1	30

*保健所 △休止中 ()内は非常勤

3. 環 境 衛 生

(1) 環境衛生関係施設数

(平成26年3月31日現在)

地区	業種	総 数	理 容 所	美 容 所	ク リ ー ニ ン グ 所	旅 館 業		公 衆 浴 場	温 泉 利 用 施 設	プ ー ル	コ イ ン ラ ン ド リ ー	簡 易 水 道	簡 易 専 用 水 道	小貯	規水	模槽	墓 地	火 葬 場
						旅 館	簡 易 宿 所							特 定	特 定 以 外			
神 着		16	1	1		4	4							3	1	1	2	
伊 豆		15		1			2			2			3	4	2	2	1	
伊ヶ谷		7					2							1	1	1	3	
阿 古		38	1	3	1	7	17	2	2				2		2	2		1
坪 田		43	1	4		6	23			1		1	1	2	2	2	2	
御 蔵 島		24		2		2	14	1		1		1	1		1	1	1	
合 計		143	3	11	1	19	62	3	2	4	0	2	7	10	9	9	9	1

※施設数には、噴火災害等に伴う再開施設も含まれる

(2) 食品衛生関係業態数

(平成26年3月31日現在)

区 分	神 着	伊 豆	伊 ヶ 谷	阿 古	坪 田	雄 山	小 計	御 蔵 島	合 計
総 数	51	20	13	69	49		202	45	247
飲食店営業(旅館・ホテル以外)	14	6	5	21	17		63	9	72
飲食店営業(旅館・ホテル)	7	2	2	19	11		41	11	52
喫茶店営業	1			1			2		2
菓子製造業	3	1	1	4	3		12	7	19
乳類販売業	5	2	1	4	3		15	3	18
食肉販売業	4	1	1	3	3		12	2	14
魚介類販売業	3	1	1	4	3		12	3	15
魚介類せり売営業				1			1		1
食品の冷蔵業							0	1	1
清涼飲料水製造業							0	1	1
氷雪製造業							0	1	1
氷雪販売業				2			2		2
酒類製造業	1						1		1
豆腐製造業					1		1	1	2
そうざい製造業	2			2	2		6		6
製菓材料等製造業							0	1	1
粉末食品製造業		2					2	1	3
調味料等製造業	1						1		1
魚介類加工業	3	1			1		5	1	6
食料品等販売業	5	2	2	7	4		20	2	22
卵選別包装業	2			1			3		3
給食施設(届出)		2			1		3	1	4

(3) 獣医衛生

動物保護管理件数

(平成25年度)

区 分	犬 捕 獲		こ う 傷 犬		畜犬苦情処理	
	回 数	頭 数	届出件数	検 診 数	放し飼い	その他
三 宅 島	1	1	0	0	0	1
御 蔵 島	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	0	0	0	1

4. 予防関係

(1) 結核健康診断実施状況

(平成25年度)

区 分	ツベルクリン 反応検査	B C G	X線検査		発見された 患者数
			間 接	直 接	
総 数	0	0	—	709	0
乳 児 数	0	0	—	0	0
学 校	0	0	—	84	0
事 業 所	0	0	—	610	0
住 民 検 診	0	0	—	1	0
業 態 者 検 診	0	0	—	0	0
患 者 家 族	0	0	—	9	3
管 理 検 診	0	0	—	2	0
接 触 者 検 診	0	0	—	3	0

(2) 衛生教育活動

(平成25年度)

種 目	総 数		対 象	開 講 方 式
	回 数	人 員		
精 神 関 係 講 演 会	5	88	一般、関係者	講 義
難 病 関 係 講 演 会	1	24	〃	〃
感 染 症 関 係 講 演 会	1	17	施設職員	講義、実習
成 人 ・ 老 人 関 係 講 演 会	1	40	一般	講 義

(3) 人口動態
ア 出生・死亡

(平成25年1月～12月)

区 分		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出 生	三宅村	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1
	御蔵島村	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
	計	8	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3	0	2
婚 姻	三宅村	13	1	0	3	1	1	0	0	1	1	1	2	2
	御蔵島村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	計	14	1	0	3	1	1	0	0	1	1	1	3	2
離 婚	三宅村	5	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0
	御蔵島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0
死 亡	三宅村	22	1	2	2	2	2	2	2	3	1	2	1	2
	御蔵島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	22	1	2	2	2	2	2	2	3	1	2	1	2
死 産	三宅村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御蔵島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		49	2	4	5	4	3	3	5	4	2	7	4	6

イ 主要死因別死亡数

(平成25年1月～12月)

区 分	総 数	悪 性 新 生 物	心疾患	脳血管 疾 患	肺 炎	不慮の 事 故	その他
三宅村	22	4	2	1	2	1	12
御蔵島村	0	0	0	0	0	0	0
計	22	4	2	1	2	1	12

5. 保健師業務

(1) 保健師業務等活動状況（家庭訪問を除く。）

（平成25年度）

総数	健康診断	集団検診	衛生教育	健康相談	計
実施回数	31	0	8	0	39
延件数	602	0	169	0	771

(2) 家庭訪問状況

（平成25年度）

訪問延件数	訪問世帯数	心身障害	結核	精神保健	生活習慣病	難病	その他の疾病	妊産婦	乳幼児	家族計画	その他
441	413	0	14	316	0	100	2	0	0	0	0

第10 東京都三宅農林合同庁舎

第10 東京都三宅農林合同庁舎

1. 東京都三宅農林合同庁舎の機構

(1) 沿革

昭和63年1月 東京都三宅農林合同庁舎を畜産試験場三宅分場敷地内に新築し、次の4場所が移転した。

東京都畜産試験場三宅分場

東京都家畜保健衛生所三宅支所

東京都中央農業改良普及センター三宅支所

東京都農業試験場三宅島園芸技術センター（平成2年8月、農業試験地を改称）

○畜産試験場三宅分場

昭和15年4月 東京府種畜場三宅分場を現在地に設置

昭和39年4月 東京都畜産試験場三宅分場と改称

○家畜保健衛生所三宅支所

昭和26年1月 東京都三宅島家畜保健衛生所を伊豆に設置

昭和46年4月 東京都家畜保健衛生所三宅支所と改称

○中央農業改良普及センター三宅支所

昭和24年6月 東京都三宅地区農業改良普及員駐在所を伊ヶ谷に設置

昭和33年10月 東京都三宅地区農業改良普及所と改称し神着に移転

昭和44年12月 東京都中央農業改良普及所三宅支所と改称

平成5年10月 東京都中央農業改良普及センター三宅支所と改称

○農業試験場三宅島園芸技術センター

昭和19年6月 東京都三宅支庁農業試験地を設置

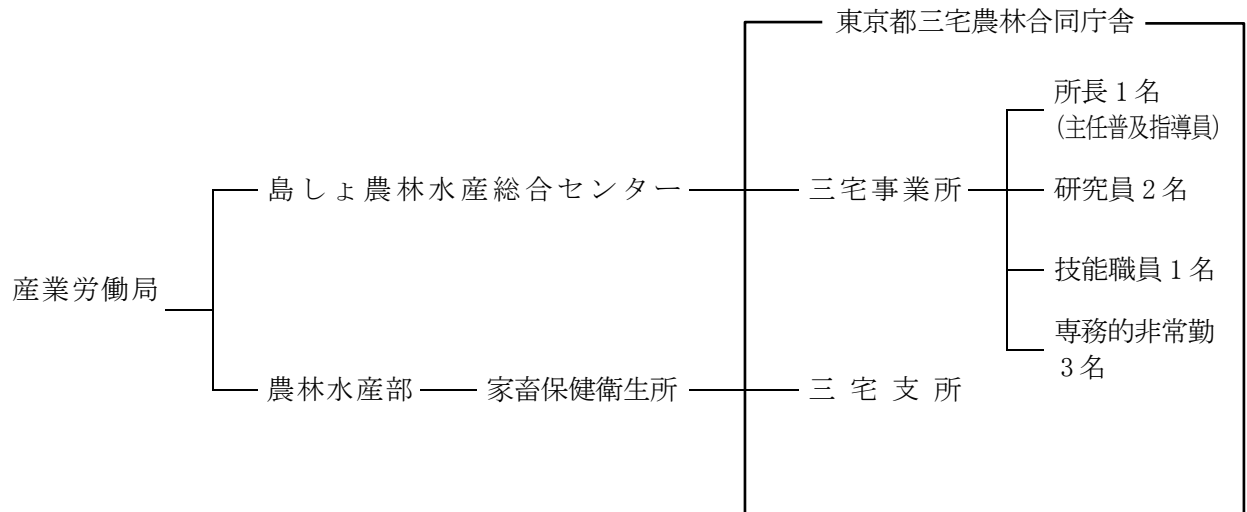
昭和63年12月 総務局所管から農業試験場へ一元化

平成2年8月 東京都農業試験場三宅島園芸技術センターと改称

○島しょ農林水産総合センター三宅事業所

平成17年4月 畜産試験場三宅分場、中央農業改良普及センター三宅支所、農業試験場三宅島園芸技術センターの3機関が統合し、東京都島しょ農林水産総合センター三宅事業所となる。

(2) 組織及び職員数



2 東京都島しょ農林水産総合センター三宅事業所

(1) 用地 (単位：㎡)

耕作地	採草地	雑木林	建物敷地	計
19,478.94	40,282.10	41,772.65	22,993.18	124,526.87

(2) 建物 (単位：㎡)

合同庁舎	車庫	牛舎	豚舎	収納舎	職員公舎	他	計
385.87	123.49	511.56	244.70	113.4	240.29	25.12	1,644.43

(3) 業務内容

事業所では、試験研究（園芸）、普及指導の2班で業務を運営している。
 なお、三宅島噴火災害により畜産試験研究（畜産）業務は休止中である。

① 試験研究

- ア キキョウラン等切葉類の安全生産技術の検討
- イ アシタバの高収量を維持する栽培技術の検討
- ウ パッションフルーツの安定生産技術の検討
- エ 特産作物（赤芽イモ・キヌサヤ）の栽培技術の向上

② 普及指導

- ア 三宅村
 - ㊦ 三宅島施設園芸の振興（火山ガスに強い園芸作物の生産安定等）
 - ㊧ アシタバの生産拡大支援、生産者組織の活性化
 - ㊨ 地場産野菜・パッションフルーツ等の安定生産及び流通促進

イ 御蔵島村

- ㊦ 長軸アシタバの生産振興
- ㊧ 島内流通野菜の生産技術の向上
- ㊨ 観光業と連携した農業の推進

3. 東京都家畜保健衛生所三宅支所

(1) 業務内容

ア 家畜防疫業務

家畜伝染性疾患の発生予防及び蔓延防止のための各種検査等の実施

イ 家畜衛生指導業務

家畜衛生、牧野衛生並びに畜舎環境衛生の指導等

ウ 家畜人工授精

エ 病性鑑定業務

各種疾病原因究明のための獣医学的検査（病理解剖、血液検査等）、診断

オ 家畜診療業務

家畜診療に関する緊急対応

なお、三宅島噴火災害により平成12年9月14日以降、三宅支所は閉鎖中である。当面、必要に応じ家畜保健衛生所（立川市）及び同八丈支所が上記業務に対応する。

第11 警 察 関 係

第11 警 察 関 係 (三宅島署)

1 管轄区域

三宅島・御蔵島・大野原島・イナンバ島の4島

2 拾得物の取扱件数

71件 71点 194,887円 (平成25年1月1日～12月31日)

3 交通事故発生件数 (手集計)

項 目	人 身 事 故				物損事故 の 件 数	計
	死 亡	重 傷	軽 傷	計		
数	0	0	1	1	30	31
人 数	0	0	1	1		

(平成25年1月1日～12月31日)

4. 免許証の更新件数 (手集計)

- ・ 三宅島 274件
- ・ 御蔵島 36件

(平成25年1月1日～12月31日)

5. 110番受理件数 (手集計)

項 目	交通事故関係	水難事故関係	そ の 他	計
件 数	31	3	87	121

(平成25年1月1日～12月31日)

6. 犯罪発生状況 (平成25年1月1日～12月31日)

種別 区分	刑 法 犯							特 別 法 犯	合 計
	凶 悪 犯	粗 暴 犯	侵 入	非 侵 入	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他		
発 生	1	1	2	4	1	0	1	3	13

7. 質屋・古物関係 (手集計)

古 物 商	古物市場	そ の 他	計
14	0	0	14

(平成25年1月1日～12月31日)

8. 風俗営業関係 (手集計)

深夜酒類提供店	バー	パチンコ	麻雀	計
10	2	3	3	18

(平成25年12月31日現在)

第12 電 力 関 係

第12 電 力 関 係

1. 事 業 所 (平成26年 3 月末現在)

名 称
東京電力株式会社 東京支店島嶼業務センター三宅島事務所

2. 発電設備 (平成26年 3 月末現在)

		三 宅 島	御 蔵 島
火 力 (内 燃 力)	認 可 出 力 (kW)	5,000 kW	(内燃力) 600kW (水 力) 50kW
	ユ ニ ッ ト	1,000kW×3 2,000kW×1	(内燃力) 120kW×3 240kW×1 (水 力) 50kW×1
	台 数	4	(内燃力) 4 (水 力) 1

3. 東京電力及び全国の発電設備 (26年 3 月末現在)

電源種別	東 京 電 力		全 国 (9 電 力)	
	認可出力(万kW)	構 成 比	認可出力(万kW)	構 成 比
水 力	(164) 945	14.5%	(1,028) 2,666	18.5%
火 力	(25) 4,294	66.0%	(135) 8,805	61.0%
原 子 力	(2) 1,261	19.4%	(12) 2,904	20.1%
新エネルギー等	(4) 3	0.1%	(32) 53	0.4%
合 計	(195) 6,503	100.0%	(1,207) 14,428	100.0%

() 内は設置ヶ所

4. 三宅島発電所沿革（その1）

年度別	変 革	発電設備	送電時間	備 考
昭和4年7月	ディーゼル発電機1台新設	60kW	日没より日の出	三宅島電気(株)経営
16. 9	三宅島各村組合にて買収	60kW	日没より5時間	三宅島各村組合経営
18. 4	関東配電(株)と統合	60kW	〃	関東配電(株)経営
23. 8	ディーゼル発電機取替	80kW	〃	
26. 5	発電、配電統合により改組	80kW	〃	東京電力(株)と名称変更
28. 8	ディーゼル発電機取替	120kW	〃	
31. 8	〃	240kW	〃	
32.10	早朝2時間追加送電	240kW	〃	左記に早朝2時間追加
33.10	ディーゼル発電機増設 240kW	480kW	〃	〃
33.12	昼夜送電実施	480kW	24時間	
34.12	ディーゼル発電機増設 240kW	720kW	〃	
40.12	〃 240kW	960kW	〃	
44. 6	〃 400kW	1,360kW	〃	
46. 6	〃 400kW	1,760kW	〃	
47. 4	ディーゼル発電機撤去 240kW	1,520kW	〃	
48. 4	ディーゼル発電機増設 1,000kW	2,520kW	〃	
48. 4	ディーゼル発電機撤去 240kW	2,280kW	〃	
49. 7	ディーゼル発電機増設 1,000kW	3,280kW	〃	
52. 9	〃 1,000kW	4,280kW	〃	
平成4.10	ディーゼル発電機撤去 240kW×2	3,800kW	〃	

5. 三宅島発電所沿革（その2）

年度別	変革	発電設備	送電時間	備考
平成8年5月	ディーゼル発電機増設 2,000kW	5,800kW	24時間	
8. 9	ディーゼル発電機撤去 400kW×2	5,000kW	〃	
12. 6	移動用発電機設置 500kW	5,500kW	〃	
	以上の経過で現在に至る			

6. 御蔵島発電所沿革

年度別	変革	発電設備	送電時間	備考
昭和32年7月	水力発電機新設	50kW	24時間	御蔵島農協経営
37. 10	東京電力(株)に移管	50kW	〃	東京電力(株)経営
51. 9	ディーゼル発電機新設 120kW	170kW	〃	
53. 6	〃 120kW	290kW	〃	
平成2. 10	移動用発電機設置 96kW	386kW	〃	
4. 3	水力発電所建替	386kW	〃	
9. 7	ディーゼル発電機増設 120kW	506kW	〃	
14. 3	ディーゼル発電機新設 240kW	746kW	〃	
	以上の経過で現在に至る			

第13 通信連絡施設

第13 通信連絡施設

(1) 郵便局現況

区分		局名						計
		三宅島	伊豆	伊ヶ谷	阿古	坪田	御蔵島	
郵便局(株)	局員数	5	2	2	4	3	4	20
郵便事業(株)	局員数	・三宅島配達センター 8名						8

(2) 島内郵便通送運行図

		時 分	時 分
三宅島局	坪田局	11:00 (取集)	15:00 (取集)
	御蔵島局	5:00	
	三宅島伊ヶ谷局	10:30 (取集)	14:30 (取集)
	三宅島阿古局	10:45 (取集)	14:45 (取集)
	三宅島伊豆局	10:25 (取集)	14:20 (取集)
御蔵島局	三宅島局 (水路)	12:00	

(3) 通信設備

NTT三宅島担当において、三宅島及び御蔵島一円の通信を島内外と行っている。

ア 沿革

- 昭和15. 6. 23 電話交換開始 (43加入)
- 23. 8. 6 三宅無線中継所開設 (東京～三宅間電話開通)
- 24. 6. 1 三宅電気通信施設区創設
- 29. 7. 1 三宅～御蔵間電話開通
- 46. 3. 26 三宅電報電話局開局 (ダイヤル方式)
- 54. 3. 1 御蔵島電話交換局開局 (ダイヤル式)
- 54. 3. 15 大島～三宅島～八丈島間海底同軸ケーブル開通
- 57. 3. 30 伊豆諸島海域自動船舶電話開通
- 60. 4. 1 日本電信電話公社から日本電信電話株式会社へ移行
- 61. 2. 10 三宅電報電話局と三宅無線中継所合併

- 平成元. 4. 1 三宅営業所と名称変更
7. 24 多摩中支店三宅営業所（組織改正による）
6. 5. テレコムエンジニアリング東京（以下TE東京）三宅サービスセンター発足
6. 9. 光ケーブル開通（三宅～坪田～阿古～三宅）
三宅局交換機形式変更（D70）
阿古局交換機形式変更（A/I-R T）
坪田局交換機形式変更（A/I-R T）
6. 10. 設備サービス部西品質サービスセンター（三宅担当）発足
7. 2. 御蔵島局交換機形式変更（R C S）
9. 7. NWC西品質サービスセンター、TE東京へ組織整備
9. 12. 携帯電話サービス開始（ドコモ社）
11. 4. TE東京、NTT-MEへ組織変更
11. 7. 株式会社NTT東日本発足（三宅営業所）
12. 6. 26 三宅島噴火活動に伴う「災害用伝言ダイヤル」提供開始
12. 9. 2 三宅島全島避難指示発令（三宅村）
12. 9. 2 三宅島通信設備維持業務開始
13. 1. 31 三宅島噴火活動に伴う「災害用伝言ダイヤル」提供終了
13. 4. 1 NTT-ME、NTT-ME東京へ組織変更
13. 12. 31 NTT東日本三宅営業所閉店
17. 2. 1 三宅島全島非難指示解除（三宅村）
17. 3. フレッツADSLサービス開始
17. 7. 1 (株)NTT東日本-東京西へ組織変更
19. 3. ドコモ基地局増設3局（伊ヶ谷・伊豆・神着）
19. 11. 伊豆諸島6G無線方式サービス開始
21. 12. 海底光ケーブル2ルート化（八丈島経由）
22. 7. 株式会社NTT東日本-東京へ組織変更
23. 3. 光NGNサービス開始（H23. 3. 1～）
26. 7. 株式会社NTT東日本-南関東へ組織変更

イ 概 要

(ア) NTT三宅島ビル

所在地	東京都三宅島三宅村伊豆627-2
敷地面積	14,489.28m ²
局舎面積	2,052.08m ²

(イ) 施設	NTT三宅島ビル	(2局) 新ノード交換機
	NTT阿古ビル	(5局) 新ノード交換機
	NTT坪田ビル	(6局) 新ノード交換機

NTT御蔵島ビル (8局) 新ノード交換機

ウ 組 織

(株)NTT東日本-南関東

東京事業部

東京西支店設備部門 三宅島サービスセンタ

エ 加入電話等施設

平成26年9月

種別・回線数 局 別			加 入 数			公 衆 電 話		
			アナログ 回 線	光 回 線	計	ボックス 公衆電話	卓 上 公衆電話	計
三 宅 島	2局	三宅島局	533	352	885	9	7	16
	5局	阿古局	425	230	655	5	3	8
	6局	坪田局	480	163	643	6	4	10
	計		1,438	745	2,183	20	14	34
御蔵島	8局	御蔵島局	225	0	225	2	1	3
合 計			1,663	745	2,408	22	15	37

第14 下田海上保安部（交通課）

（旧 三宅島航路標識事務所）

第14 下田海上保安部（交通課）

（旧 三宅島航路標識事務所）

1. 概 要

灯台、灯浮標、ロラン等の航路標識は、昔から島しょと本土間を行き来する船舶や同島周辺において漁労に従事する船舶の航海の指標として、船舶交通の安全を確保し、あわせて船舶の運航能率の増進を図る目的で設置されたものであるが、三宅島においては、明治42年に伊豆見崎灯台（伊豆岬灯台）が同島最初の航路標識として設置された。

その後、戦後復興期の海運の隆盛に伴い、昭和29年に風車による発電方式を用いたサタドー岬灯台（昭和34年商用電源を導入して風車を撤去）が設置され、また、港湾整備に併せて坪田港、阿古港などの防波堤の先端に順次灯台が設置されて、現在は御蔵島を含めて7基の航路標識がある。平成13年度末からは、これらの航路標識の電源全てが太陽電池化されている。

三宅島の航路標識の保守管理は、昭和28年に開所した三宅島航路標識事務所が行ってきたが、組織改正により同所が廃止され、平成6年6月24日以降、東京航路標識事務所、さらに平成17年4月1日以降は下田海上保安部において集約管理を行っている。

なお、下田海上保安部は、海上保安庁第三管区海上保安本部に所属し、海難の救助、海上犯罪の取締まり、海上交通の安全確保等に努めており、管轄区域は静岡県の伊豆半島（北西部を除く。）と東京都の伊豆諸島（大島支庁、三宅支庁、八丈支庁）で、担任水域は千葉県、静岡県、東京都の3都県沖合の東西約150海里、南北約170海里の海域となっている。また、この他にも他の海上保安部と共同で管轄する広大な海域がある。

航路標識については、管轄区域内にある65基の標識を保守管理しており、三宅島、御蔵島へも下田海上保安部の職員が巡回に訪れている。（ただし航路標識の定期保守点検については、平成22年4月から、一部標識を除き、民間委託化されており、三宅島、御蔵島にあっては、全標識7基すべての保守点検が島内請負業者により行われている。）

2. 沿 革

明治42年6月1日	伊豆見崎灯台設置（村営）
昭和24年6月1日	三宅島灯台と改称（当時休灯中）し、管理を海上保安庁に引継ぐ
昭和24年7月21日	三宅島灯台休灯中のところ運用開始
昭和28年8月1日	海上保安庁の行政機関として三宅島航路標識事務所設置、事務所所在地を三宅村大字伊豆とする
昭和28年8月21日	事務所所在地を三宅村大字坪田に移す
昭和29年11月1日	サタドー岬灯台設置
昭和38年4月10日	坪田港及び阿古港防波堤灯台設置
昭和41年6月1日	三宅島灯台を伊豆岬灯台と改称

昭和44年12月17日	伊豆三池港突堤灯台設置
昭和62年10月8日	阿古港突堤灯台設置
昭和63年11月17日	湯の浜港東防波堤灯台設置
平成4年11月16日	御蔵島港ふ頭灯台設置
平成6年6月24日	三宅島航路標識事務所廃止、東京航路標識事務所の所管となる
平成14年3月29日	平成12月9月5日雄山噴火により給電停止となり、仮灯により運用中のところ三宅島全灯台7基（サタドー岬灯台、伊豆岬灯台、阿古港突堤灯台、阿古港防波堤灯台、湯の浜港東防波堤灯台、坪田港防波堤灯台、伊豆三池港突堤灯台）は太陽電池化により本灯を点灯し復旧した。
平成17年4月1日	東京航路標識事務所廃止、下田海上保安部の所管となる。 所在地 静岡県下田市三丁目18番23号（電話0558-23-0145）
平成24年11月1日	阿古港防波堤灯台廃止

第15 官 公 署 そ の 他

第15 官公署その他

名 称	所 在 地	電 話	備 考
東京都三宅支庁 総務課	東京都三宅島三宅村 伊豆642	04994-2-1311	
産 業 課	〃	04994-2-1312	
土 木 港 湾 課	〃	04994-2-1313	
東京都三宅島港湾空港 管 理 事 務 所	東京都三宅島三宅村 坪田1378	04994-6-0203	
東京都島しょ保健所 三宅出張所	東京都三宅島三宅村 伊豆1004	04994-2-0181	
東京都教育庁 三宅出張所	東京都三宅島三宅村 伊豆642	04994-2-0191	
東京都島しょ農林 水産総合センター 三宅事業所	東京都三宅島三宅村 坪田4357	04994-6-1414	
東京都家畜保健衛生所 三宅支所	東京都三宅島三宅村 坪田4357	04994-6-1414	東京都立川市富士見町3-19-4 東京都畜産保健衛生所内 042-524-8001
東京都立三宅高等学校	東京都三宅島三宅村 坪田4586	04994-6-1136	
東京都島部海区漁業 調整委員会三宅分室	東京都三宅島三宅村 伊豆642	04994-2-1312(代)	
警視庁三宅島警察署	東京都三宅島三宅村 伊豆640	04994-2-0511	
三宅村役場 臨時庁舎	東京都三宅島三宅村 阿古497	04994-5-0981	東京都三宅島三宅村坪田1774
御蔵島村役場	東京都御蔵島村	04994-8-2121	
東京法務局	東京都千代田区九段南 1-1-15 九段第2合同庁舎内	03-5213-1234	

名 称	所 在 地	電 話	備 考
火山監視・情報センター 三宅島火山防災連絡事務所	東京都三宅島三宅村 阿古497 (三宅村役場臨時庁舎内)	04994-5-0980	
下田海上保安部 交 通 課 (旧三宅島航路標識事務所)	静岡県下田市 3-18-23	0558-23-0145	
三宅島郵便局	東京都三宅島三宅村 神着222	04994-2-0001	
坪田郵便局	東京都三宅島三宅村 坪田3007	04994-6-0001	
三宅島阿古郵便局	東京都三宅島三宅村 阿古700-6	04994-5-0001	
三宅島伊豆郵便局	東京都三宅島三宅村 伊豆1016	04994-2-0018	
三宅島伊ヶ谷郵便局	東京都三宅島三宅村 伊ヶ谷432	04994-2-0151	
御蔵島郵便局	東京都御蔵島村	04994-8-2201	
NTT東日本-東京	東京都三宅島三宅村 伊豆627-2	04994-2-0134	
東京島しょ農業協 同組合三宅島支店	東京都三宅島三宅村 神着313-1	04994-2-0003	
御蔵島村農業 協 同 組 合	東京都御蔵島村	04994-8-2212	
三宅村森林組合	東京都三宅島三宅村 坪田1774	04994-5-0899	
三宅島漁業協同組合	東京都三宅島三宅村 阿古680	04994-5-0011	
御蔵島村漁業 協 同 組 合	東京都御蔵島村	04994-8-2151	
東京電力株式会社 東京支店三宅島事務所	東京都三宅島三宅村 伊豆991	04994-2-0711	
七島信用組合 三宅島支店	東京都三宅島三宅村 神着239-1	04994-2-0081	

名 称	所 在 地	電 話	備 考
東海汽船株式会社 三宅島支店	東京都三宅島三宅村 阿古672-3	04994-5-0221	
三宅島観光協会	東京都三宅島三宅村 阿古672-3	04994-5-1144	
三宅村商工会	東京都三宅島三宅村 神着894	04994-2-1381	東京都三宅島三宅村 坪田1271-1
三宅村シルバー 人材センター	東京都三宅島三宅村 坪田3007	04994-6-1244	
三宅島あじさいの里	東京都三宅島三宅村 阿古807-1	04994-5-0248	
三宅島社会福祉 協議会	東京都三宅島三宅村 阿古497 (三宅村役場臨時庁舎内)	04994-5-7051	

管内概要

登録番号(26)1

平成26年版

平成26年11月発行

編集・発行 **東京都三宅支庁**

東京都三宅島三宅村伊豆642番地

電話 (04994) 2-1311 (代)

印刷 東京都新宿区高田馬場3-18-13

株式会社アイガー

電話 (03) 5332-7411 (代)

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

